



とんがり帽子の
アトリエ

ATELIER OF WITCH HAT

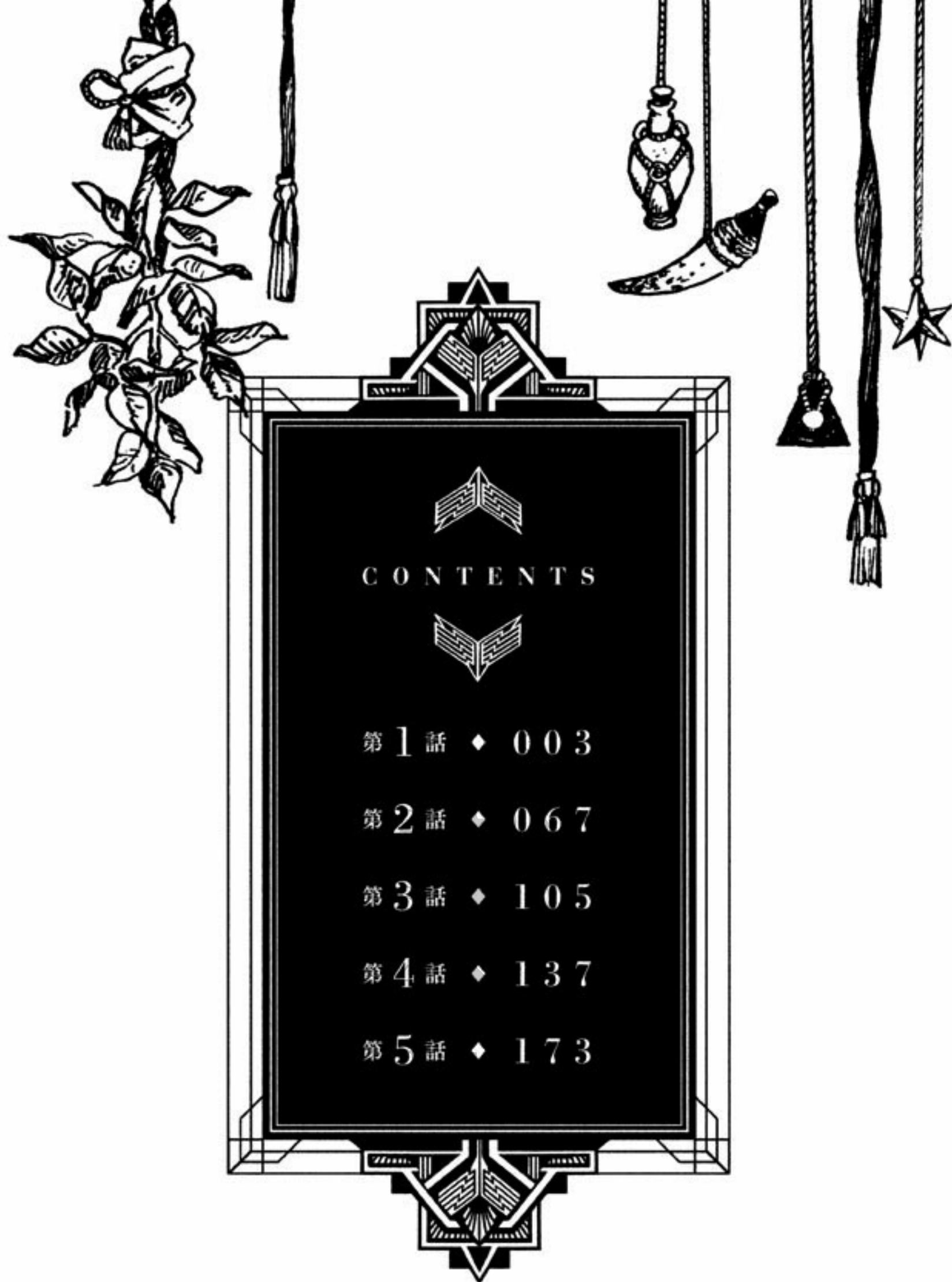
自浜 鷗

KAMOME SHIRAHAMA

1

MORNING KC





ATELIER OF WITCH HAT

◆
KAMOME
SHIRAHAMA

スポーツ選手は
生まれた時から
スポーツ選手？

宇宙飛行士や
アイドルは？

生まれた時は
わからない

でも
じゃあ

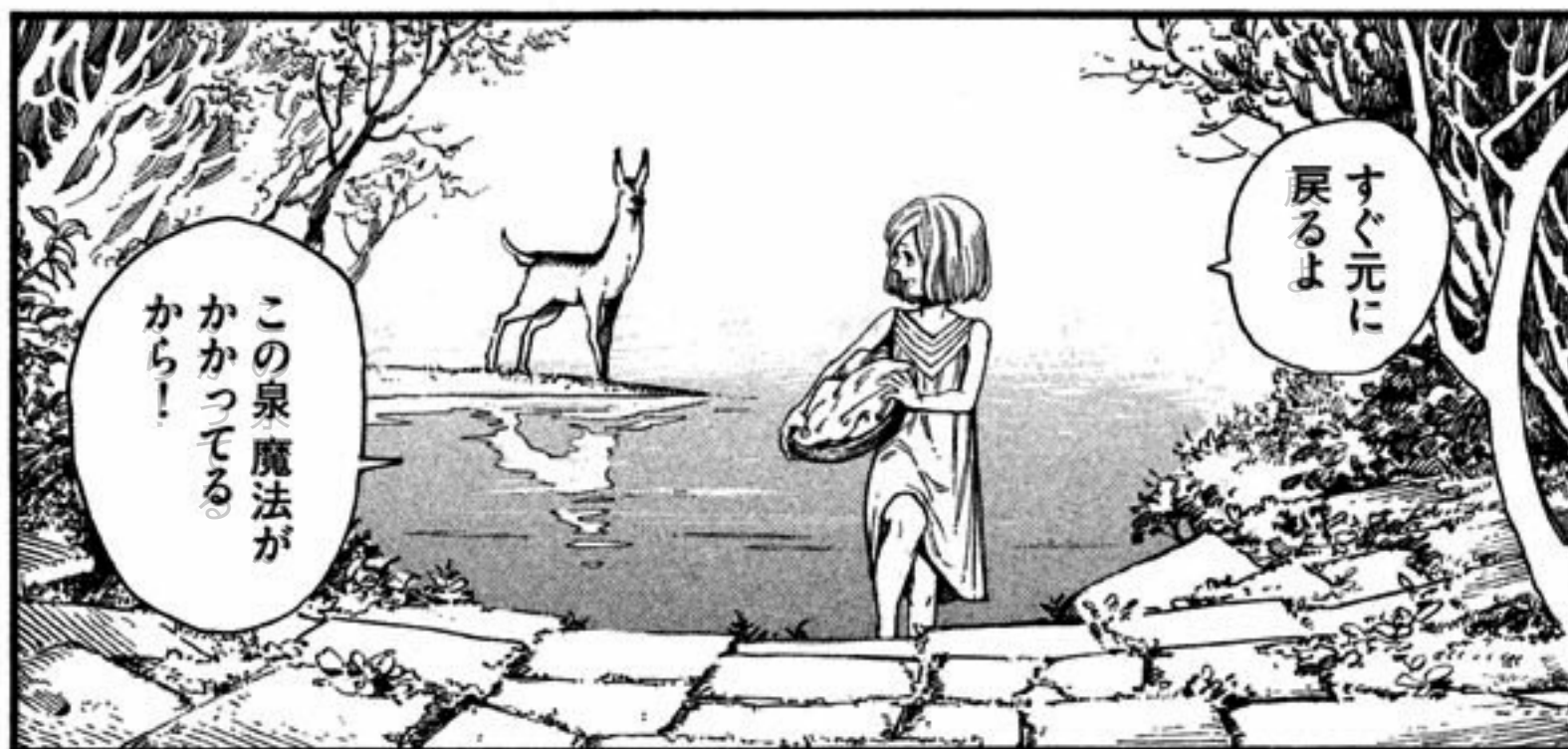
魔法使いは？

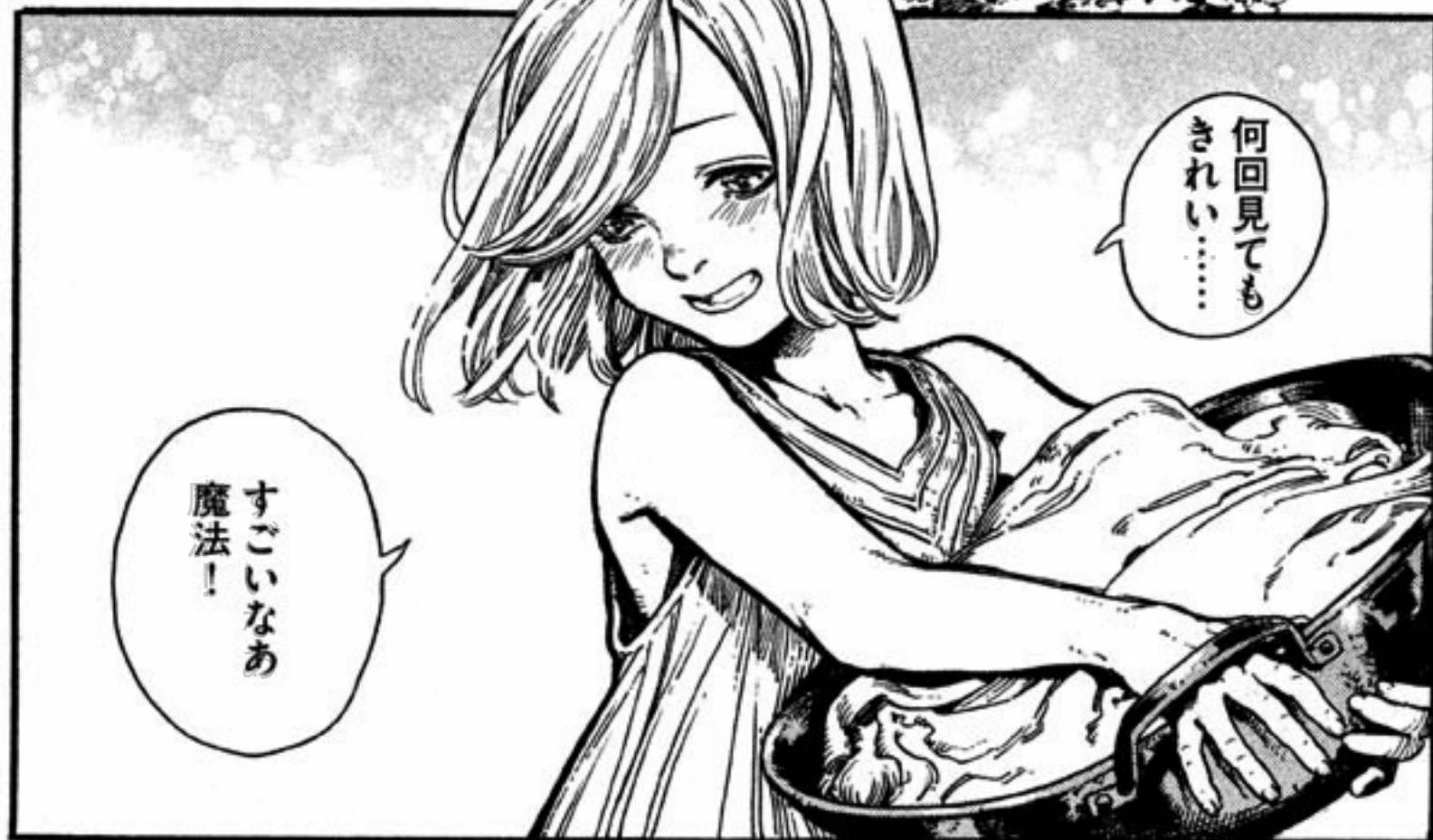












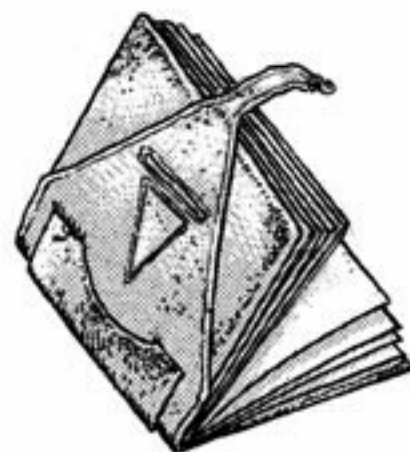


魔法は世界に
溢れていて
生活を豊かに
してくれる

なくては
ならない
便利な奇跡



でも
その
仕組みは？



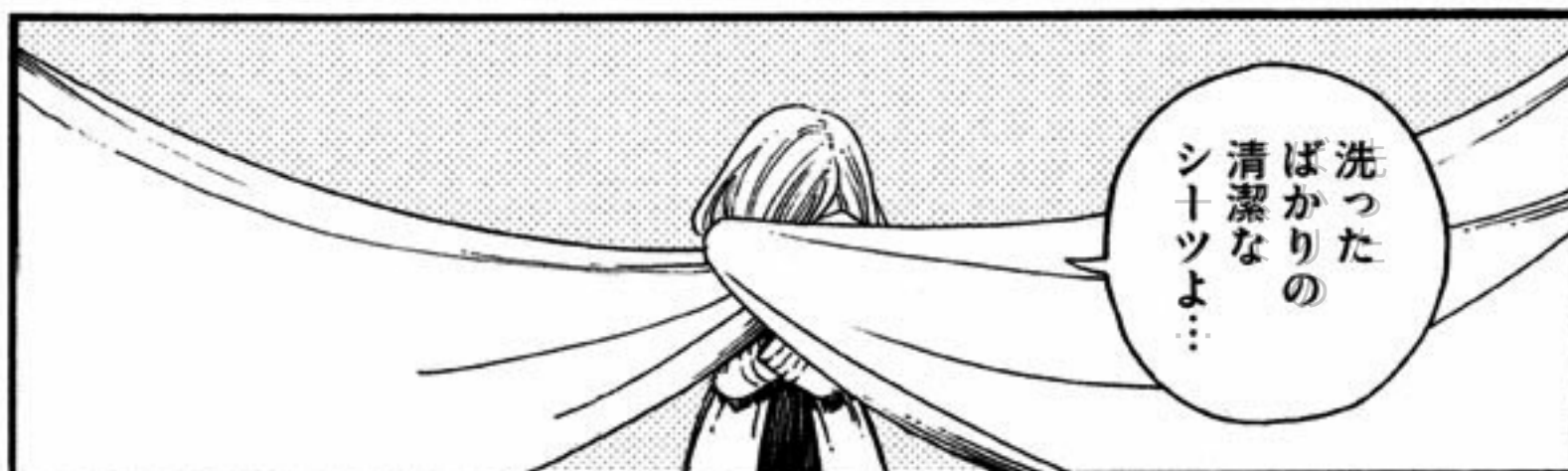
わから
ない……

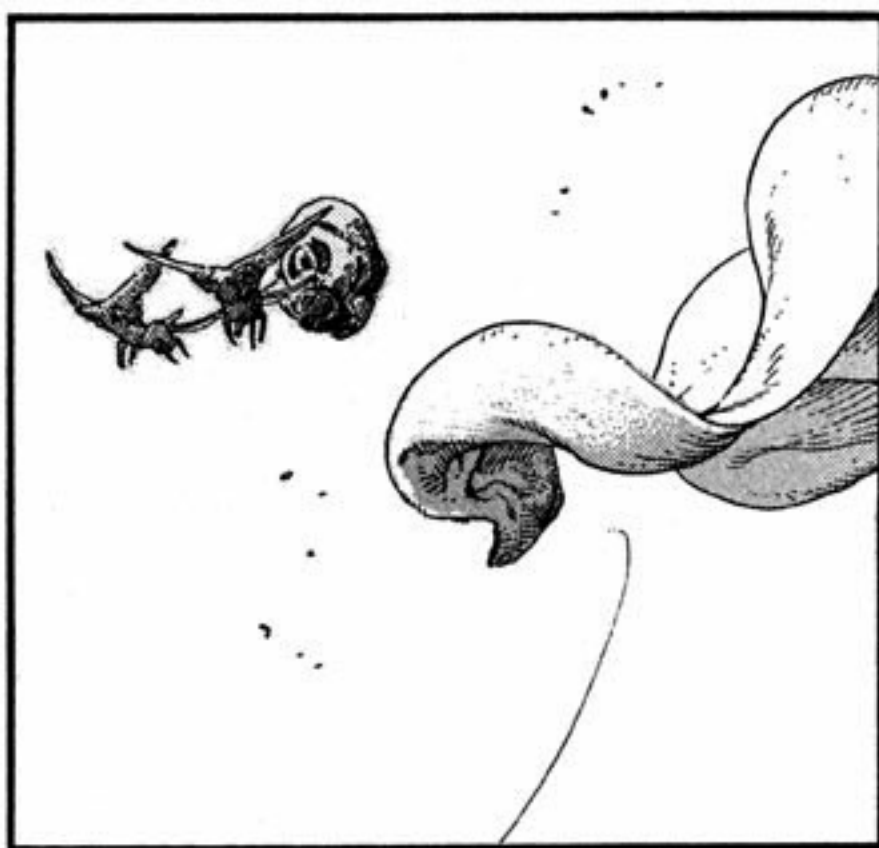
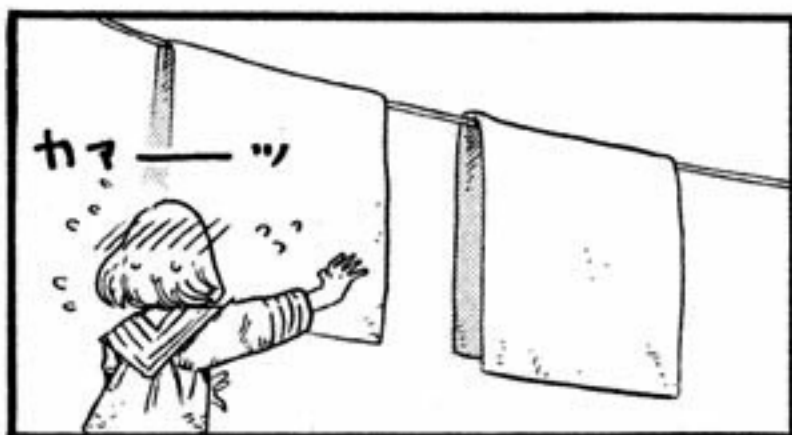


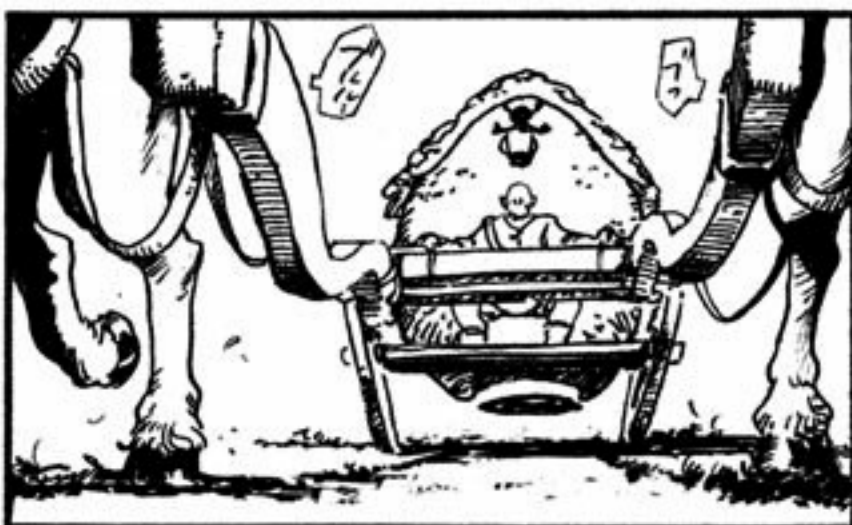
魔法を
かけられるのは
魔法使いだけ

ただの人間は
魔法を恵んで貰う
ことしかできない

魔法使いには
なれないのだ

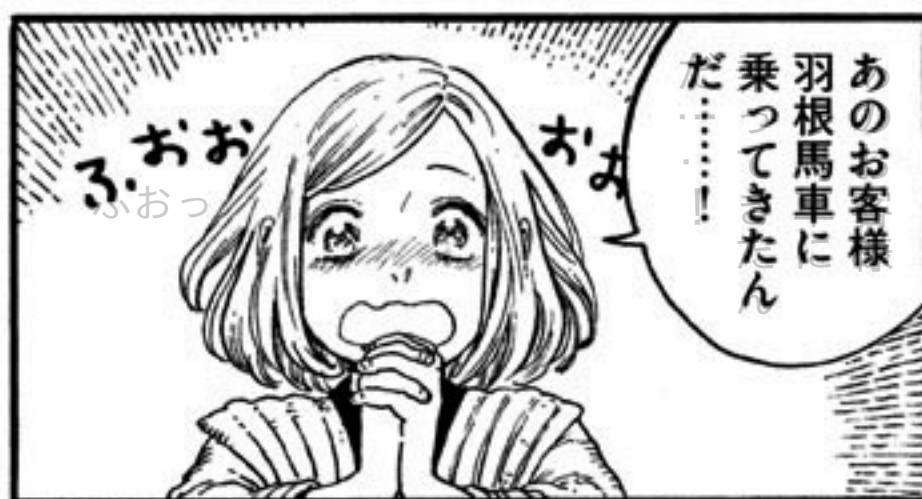


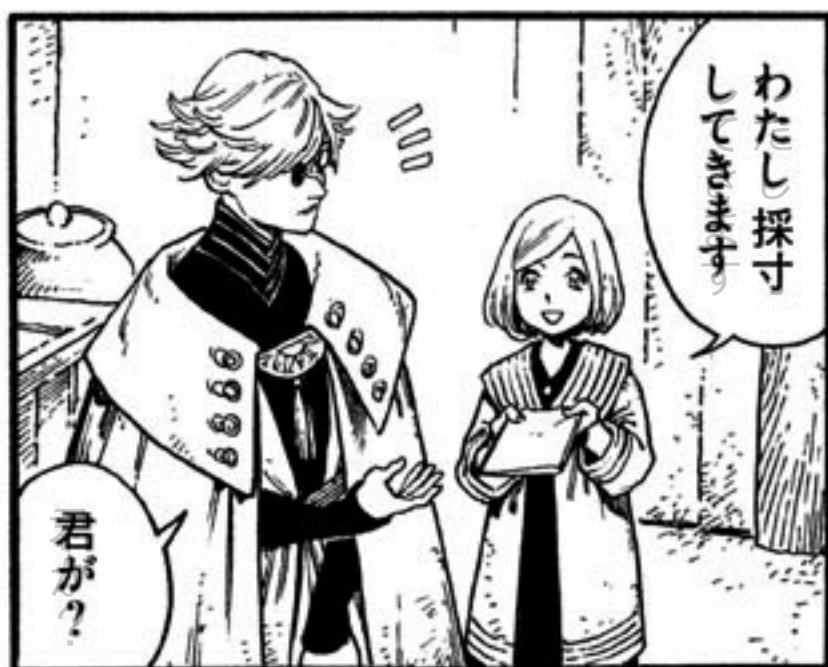
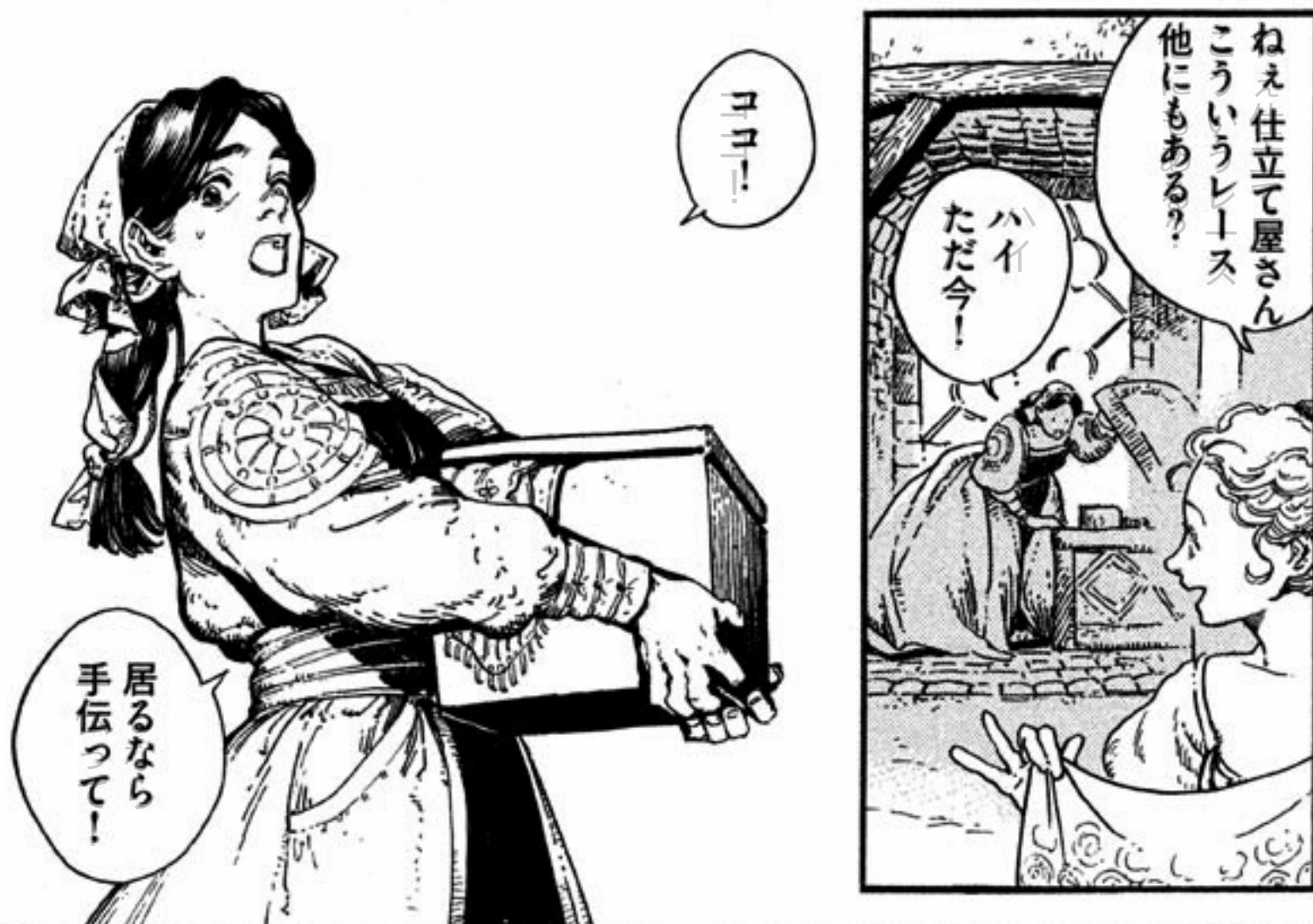




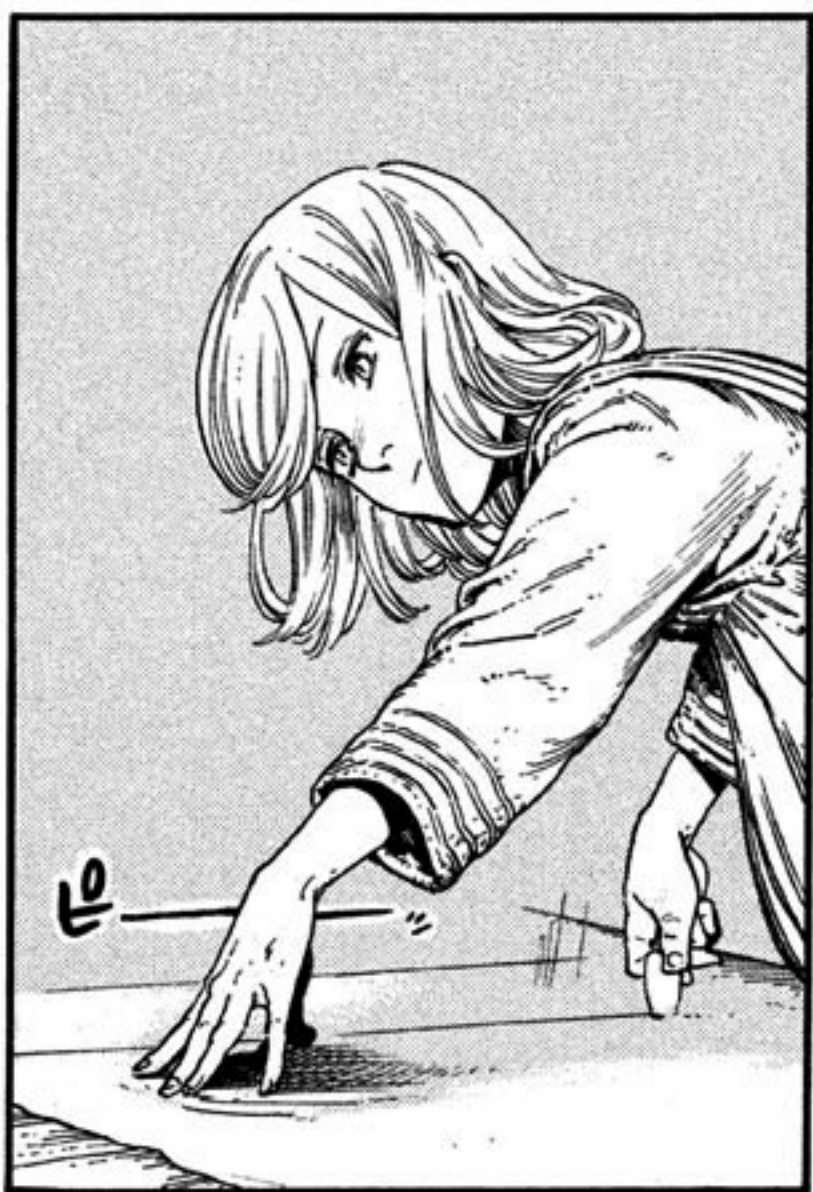
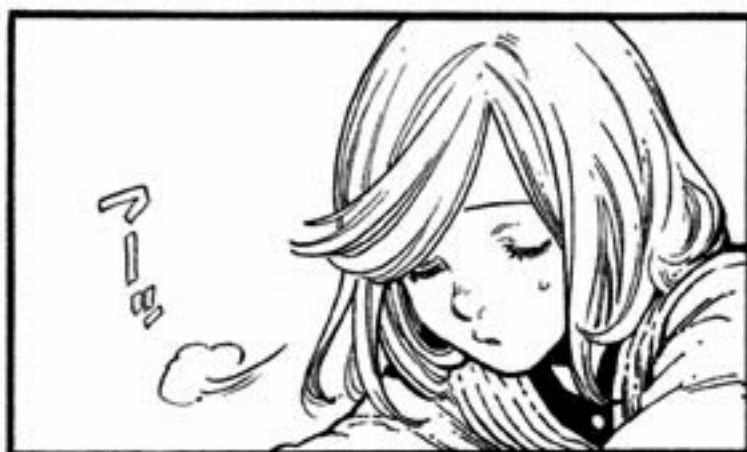
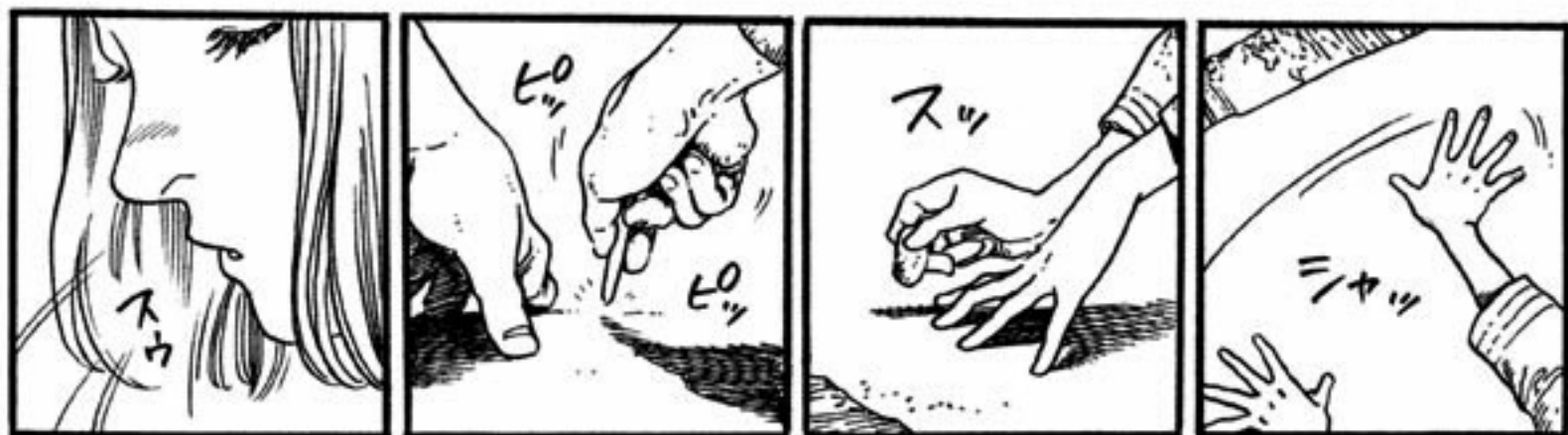
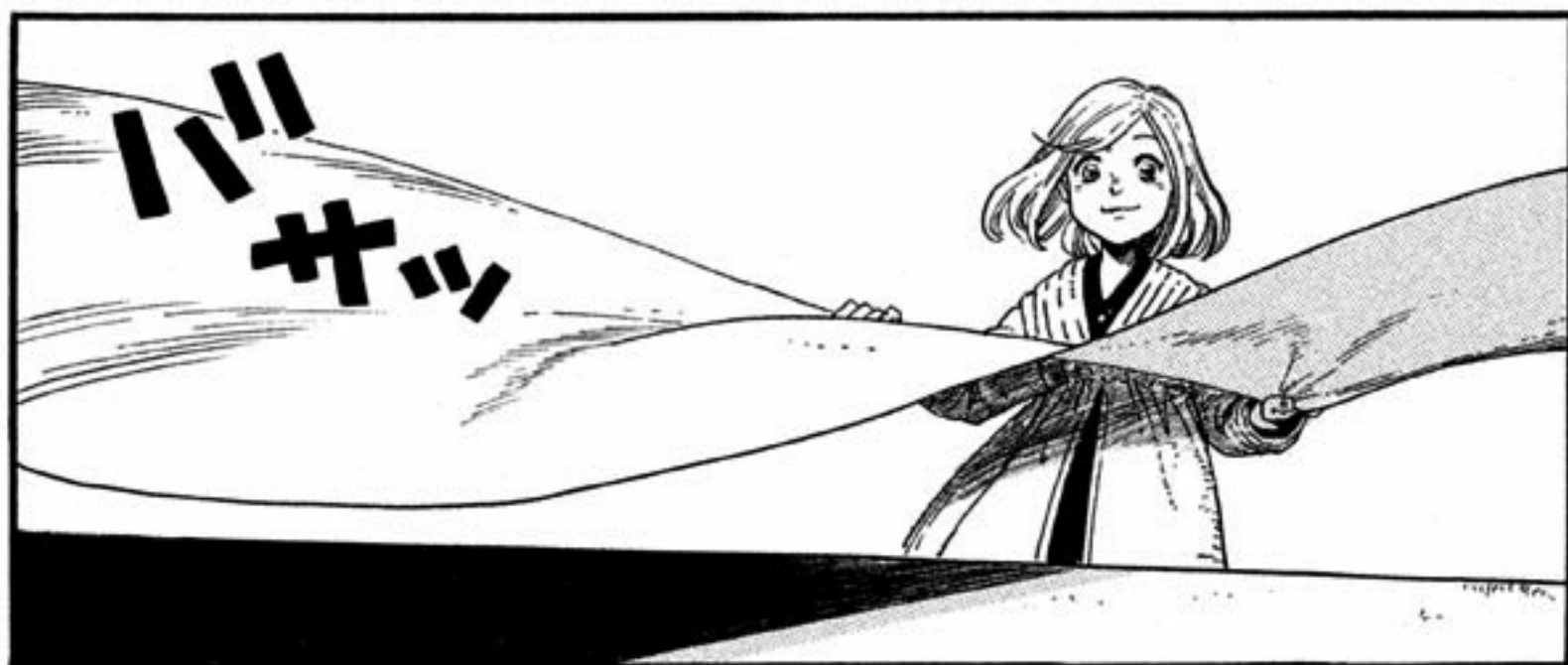
















小さい頃…
お城のお祭りに
連れて行って
もらった時…



仮面をつけた
魔法使いから

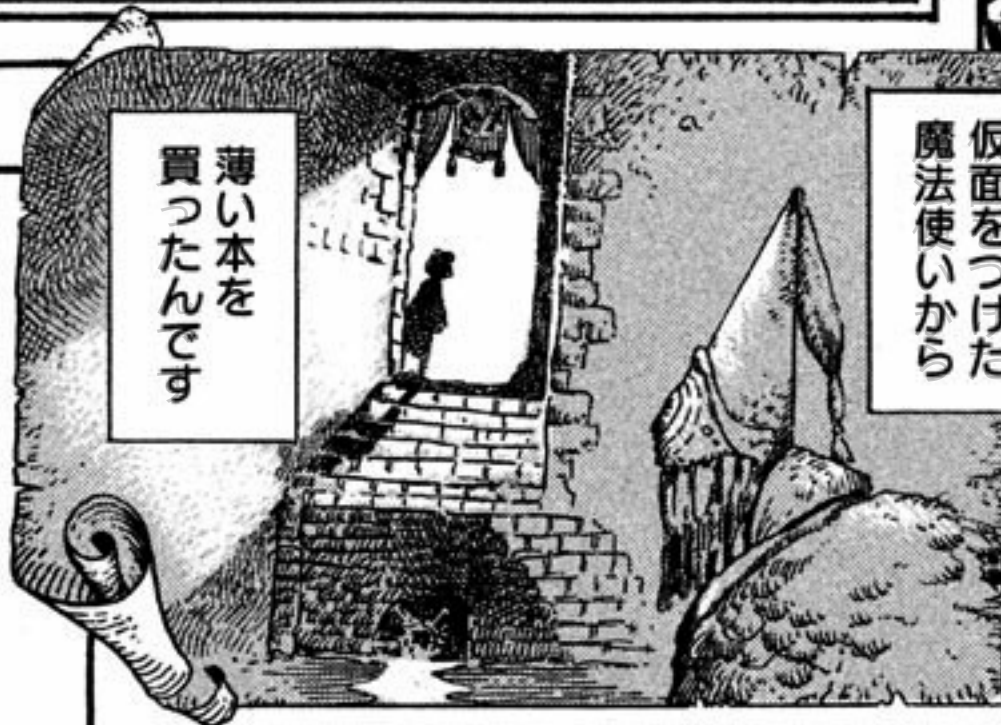
薄い本を
買ったんです

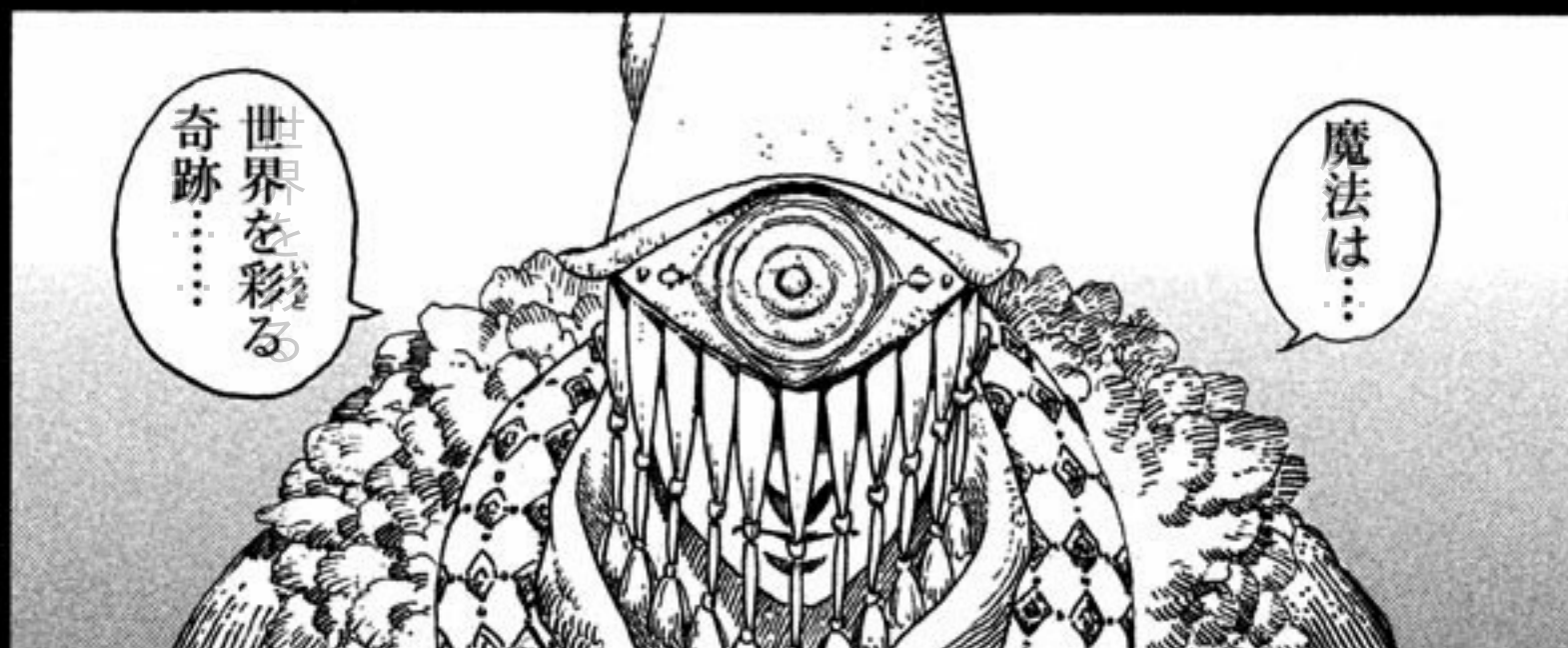
薄い本
？

はい

？

手作り、
ぽいヤツ







大空を翔ける
羽根馬車に

澄んだ水を保つ
久遠の泉

あなたの足元の
踏むと光る
ともしびの石畳も

すべて魔法
なのですよ



まほめごいね
しゅごいね

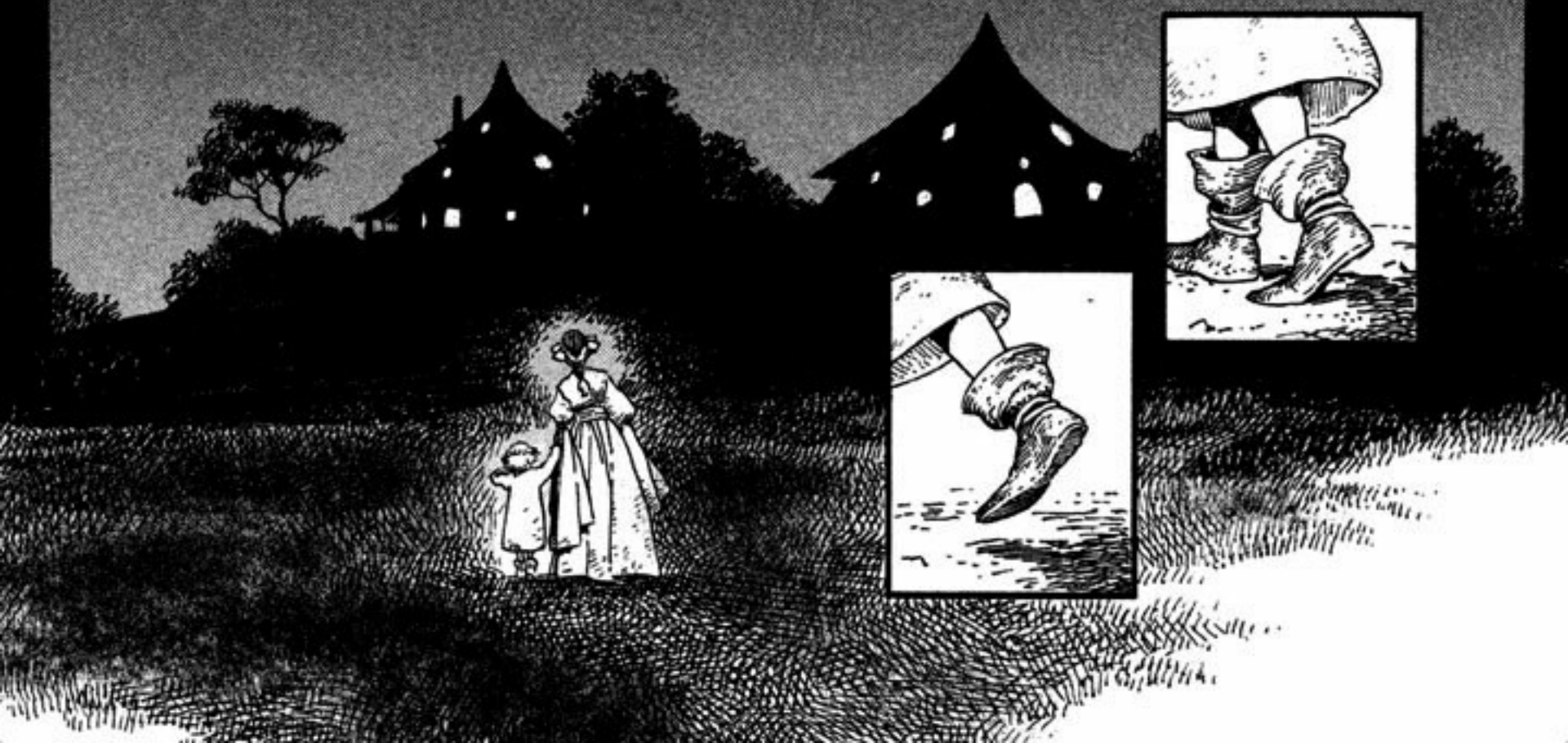
まほう
好き
まほう
好き

でしょでしょ
いまなら杖の
オマケ付き!

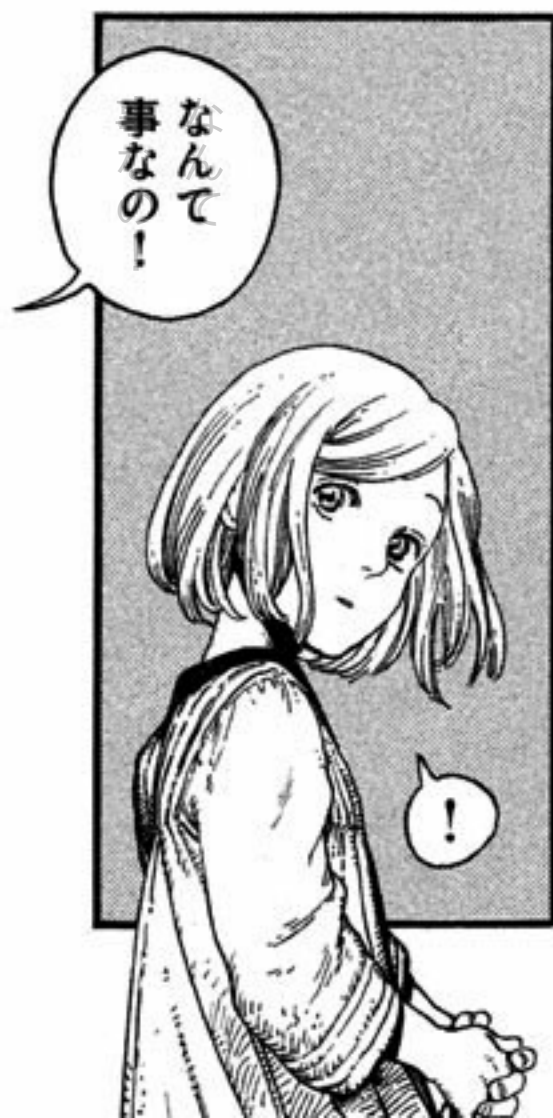
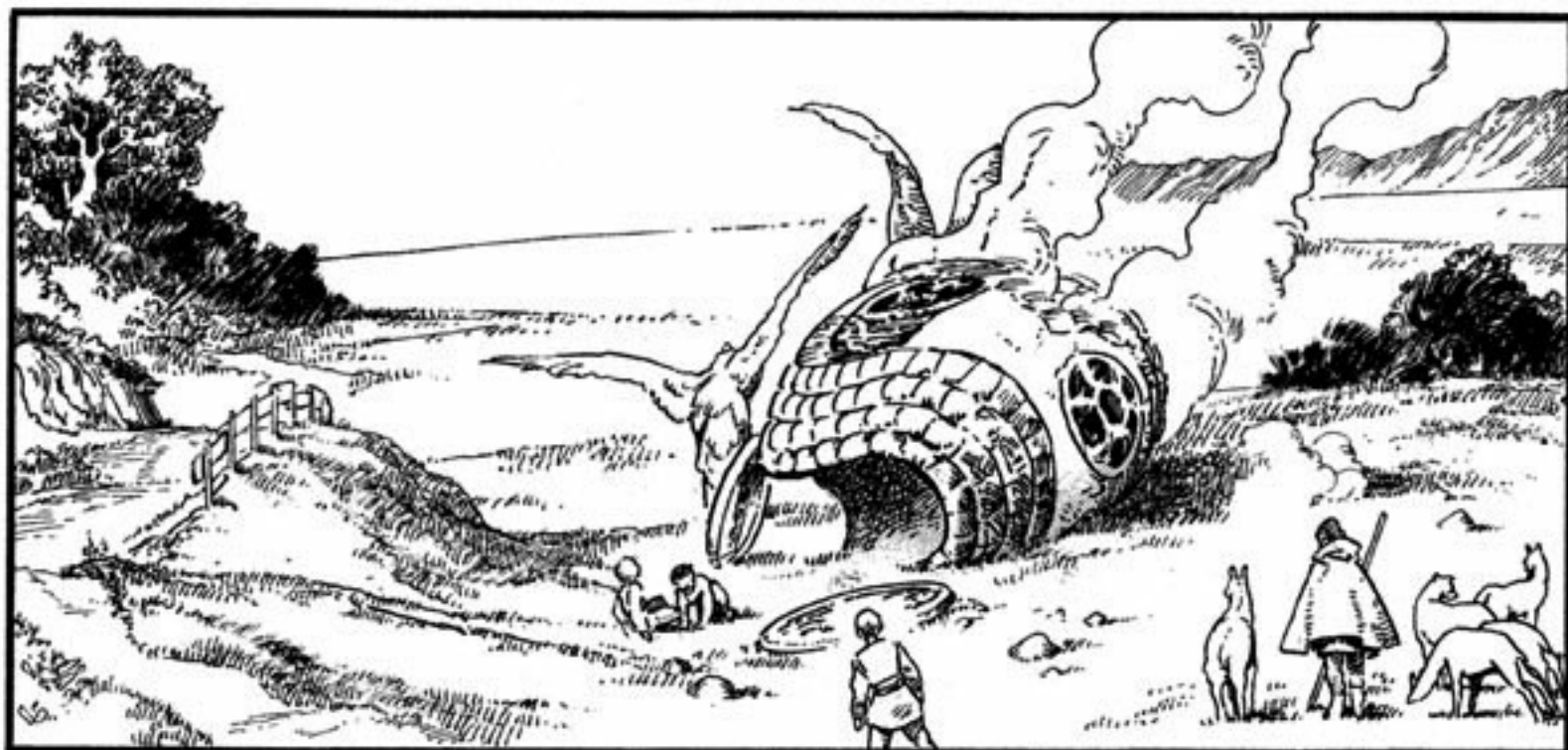


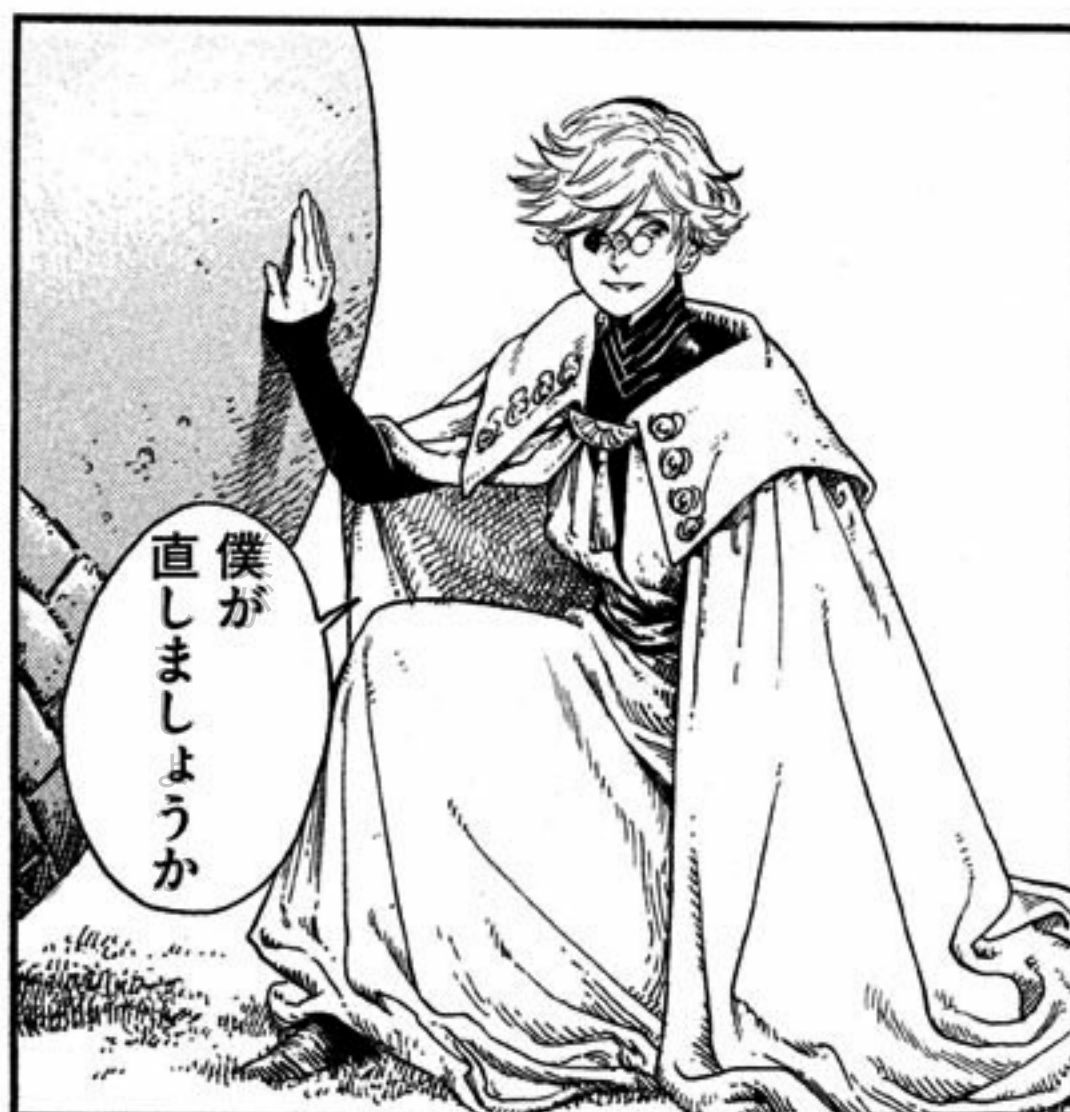
うわあー
きれいなえ
〜!〜!

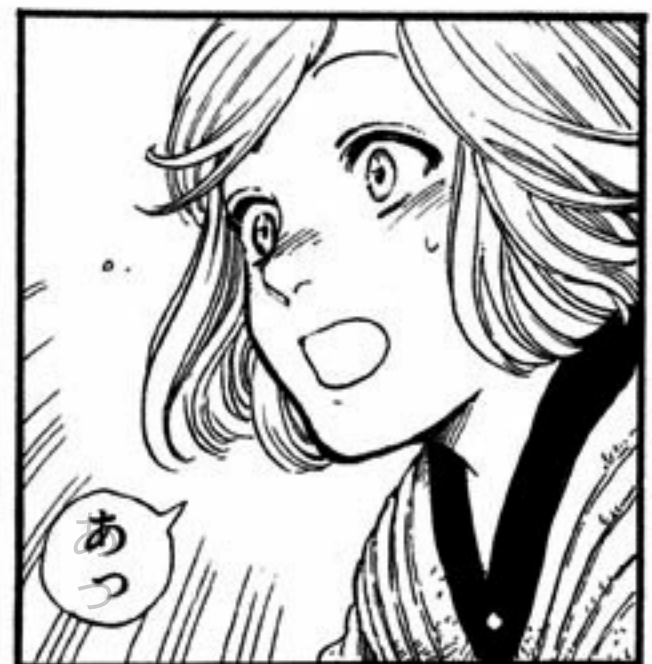














魔法をかける
瞬間が……！



あ——も——
すごい——！

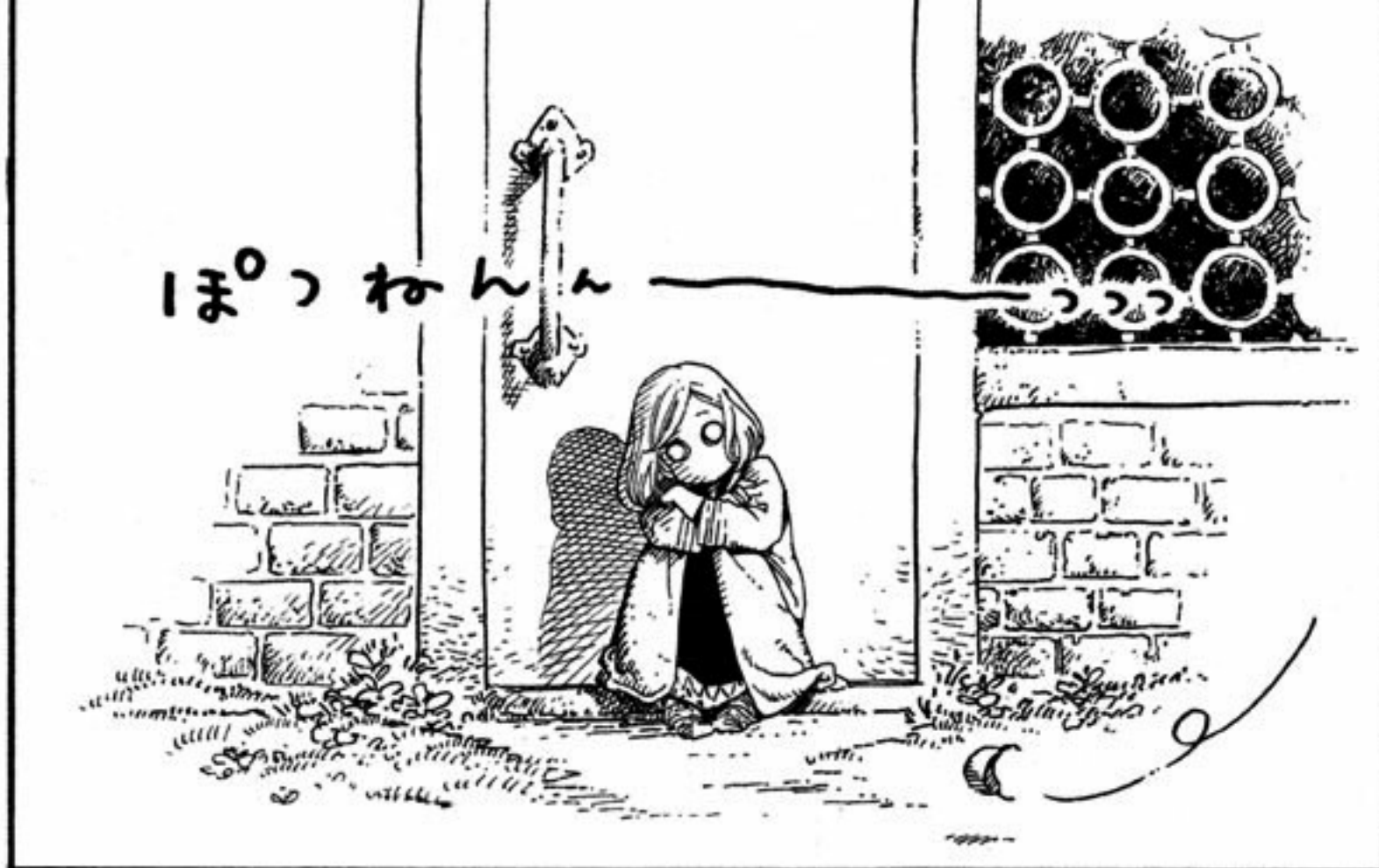
すごい
——！！

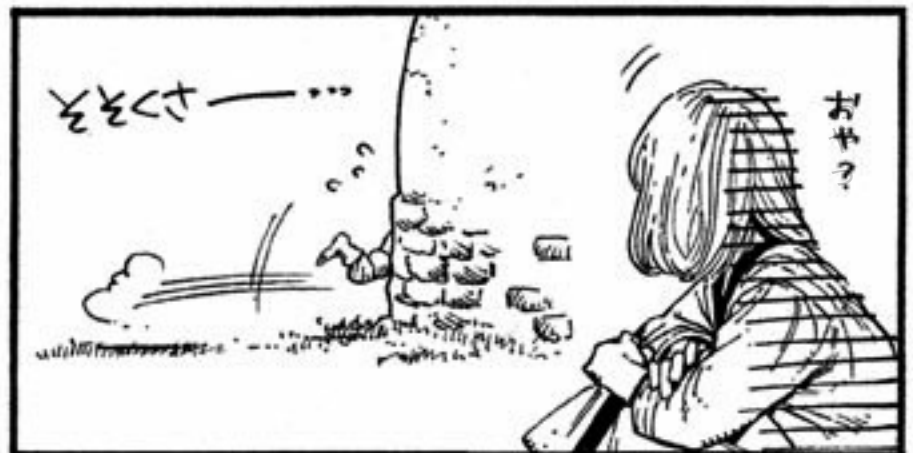
顔がニヤけて
止まらないよ
がんばれ私の表情筋！！

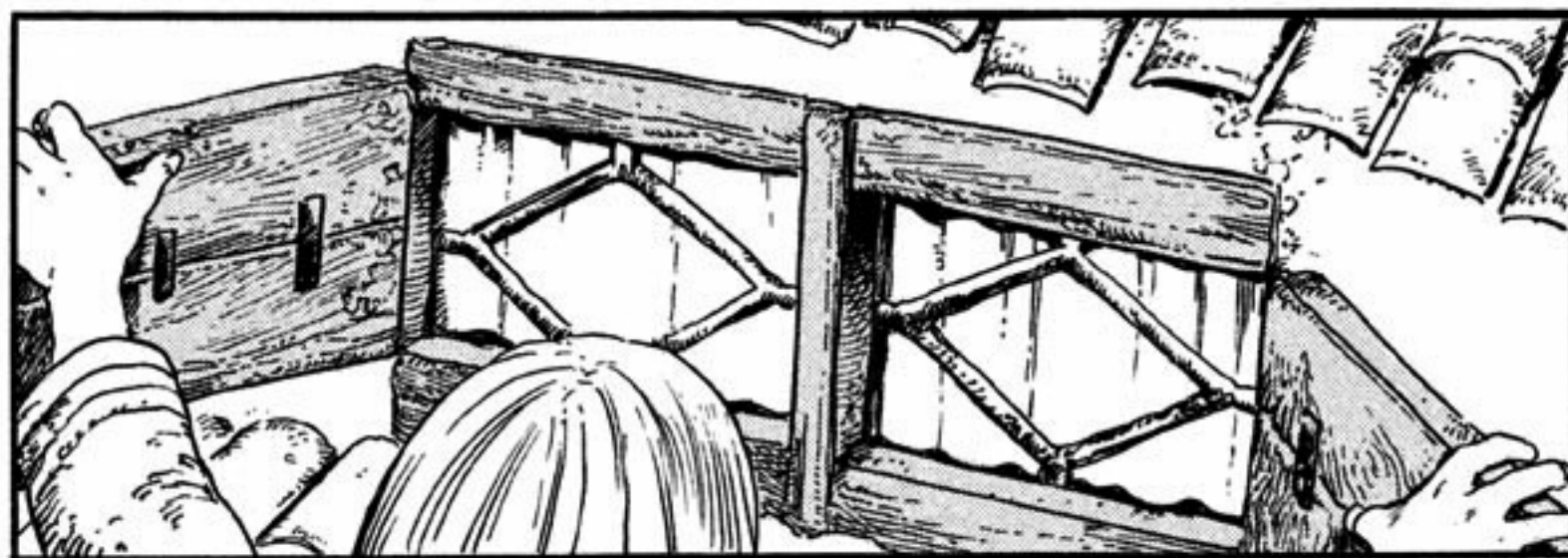
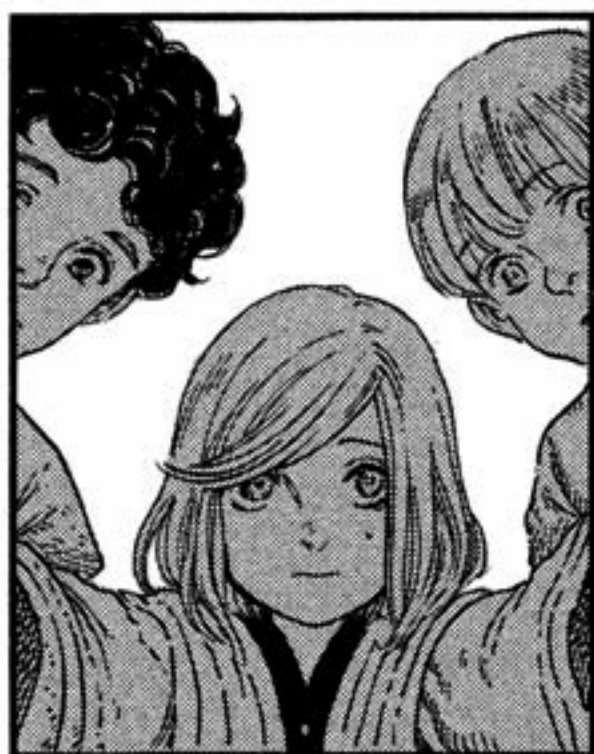


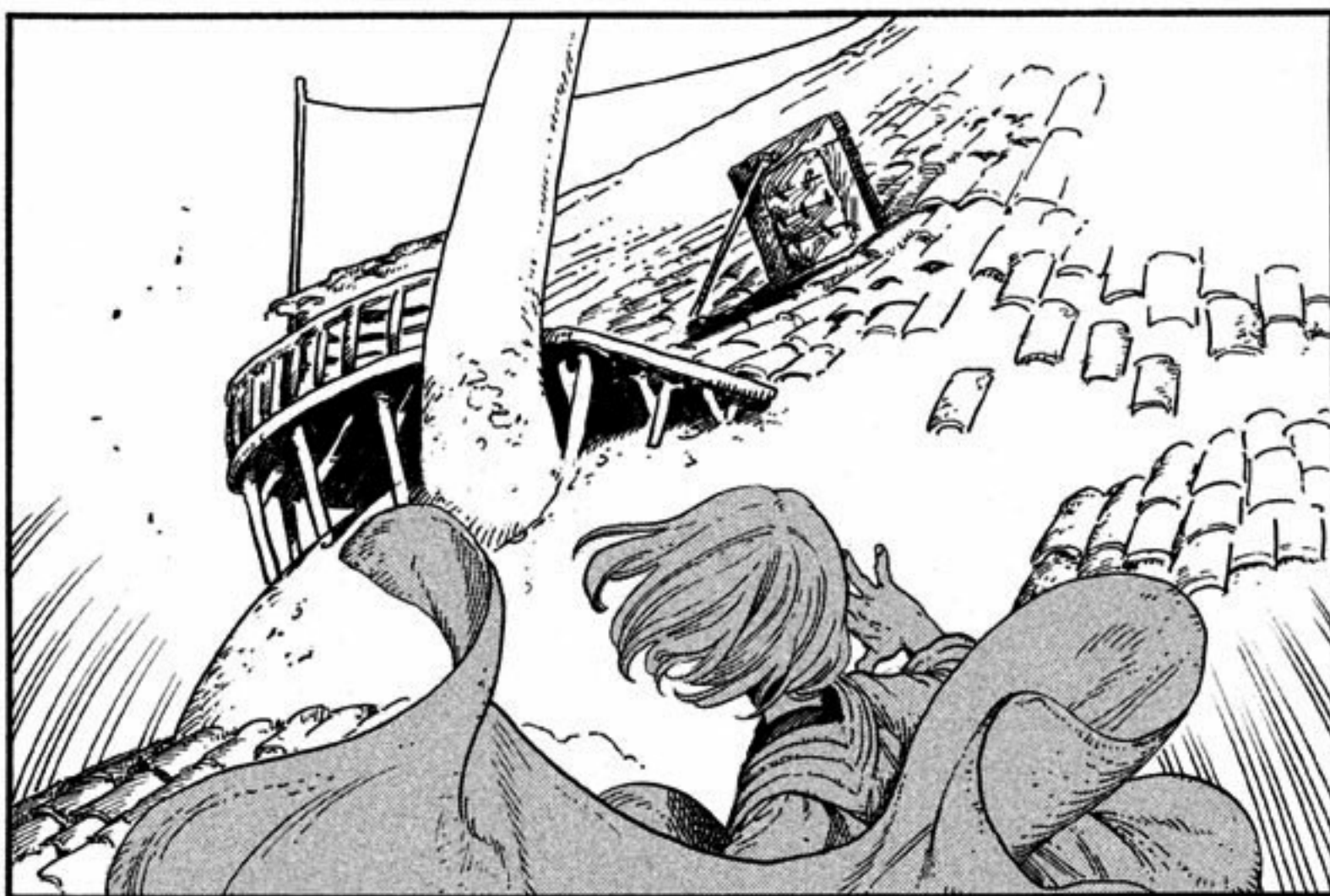
だよね



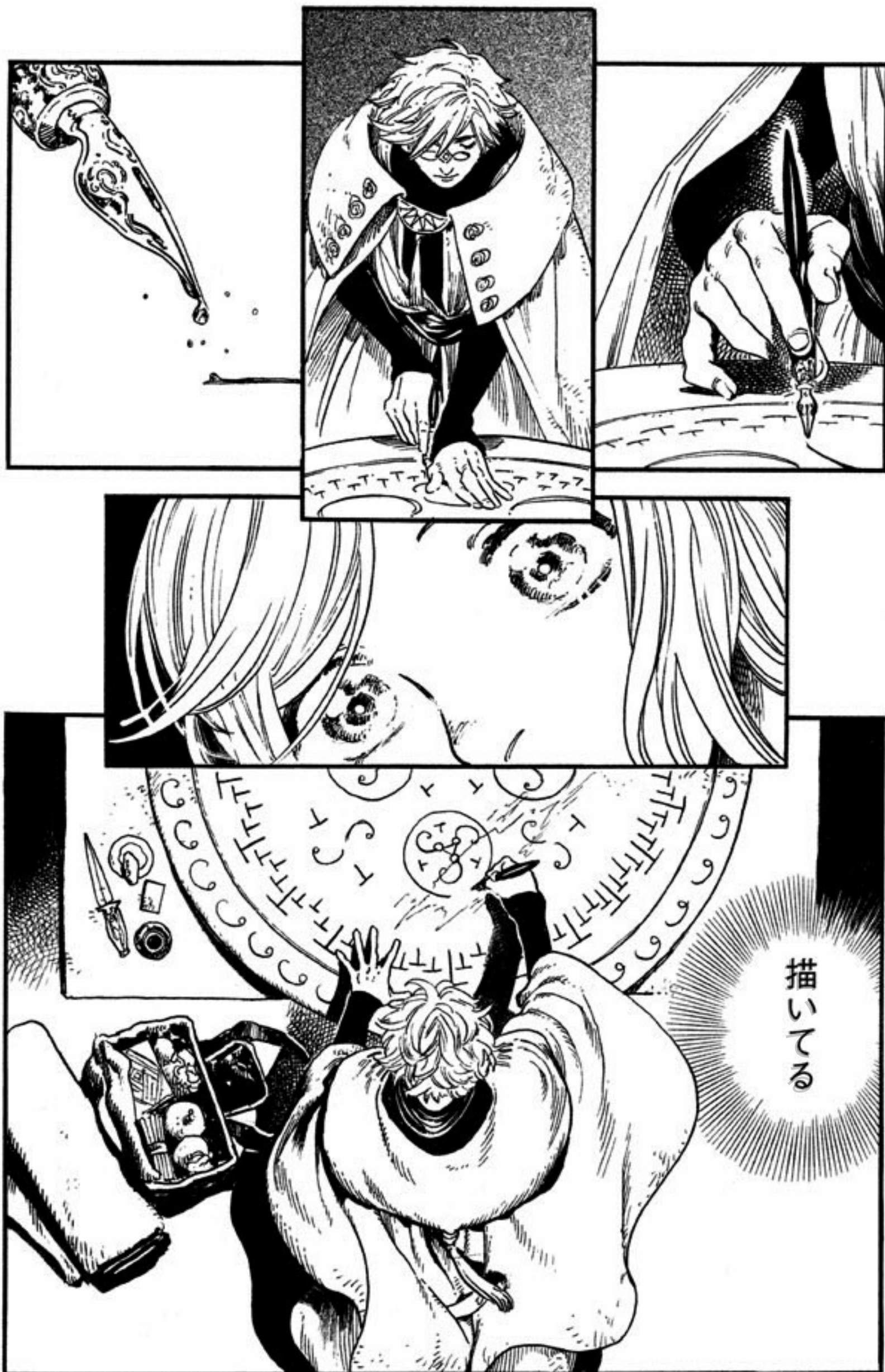




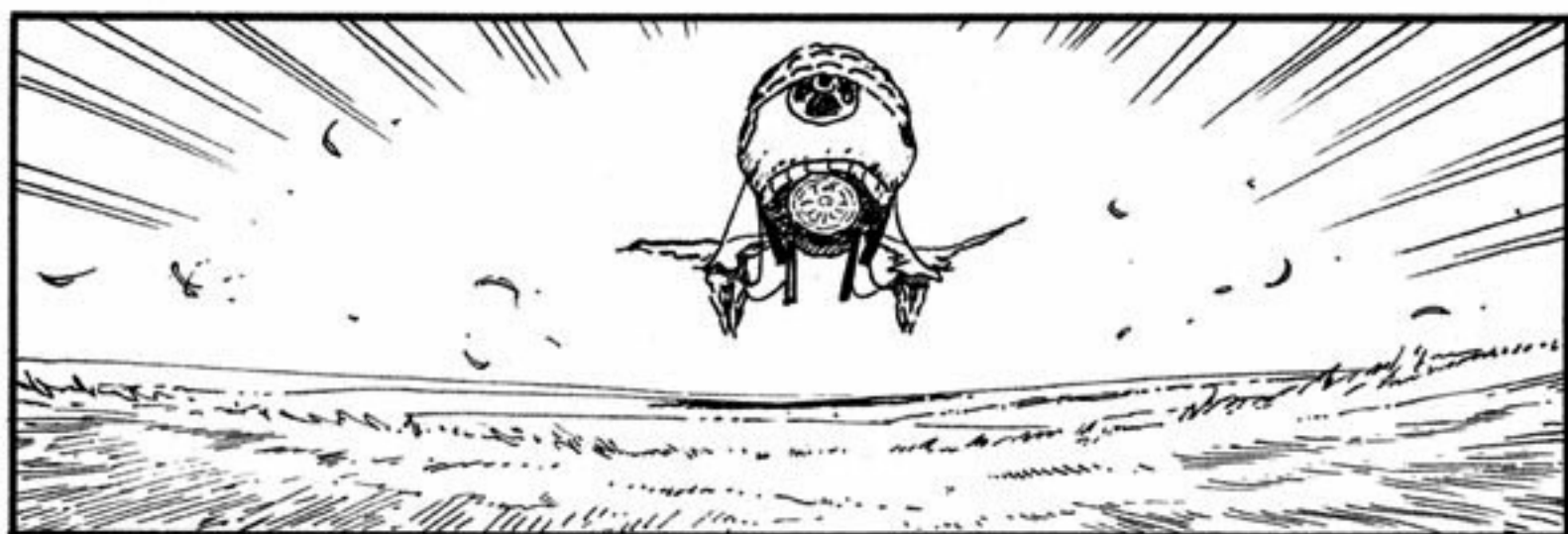


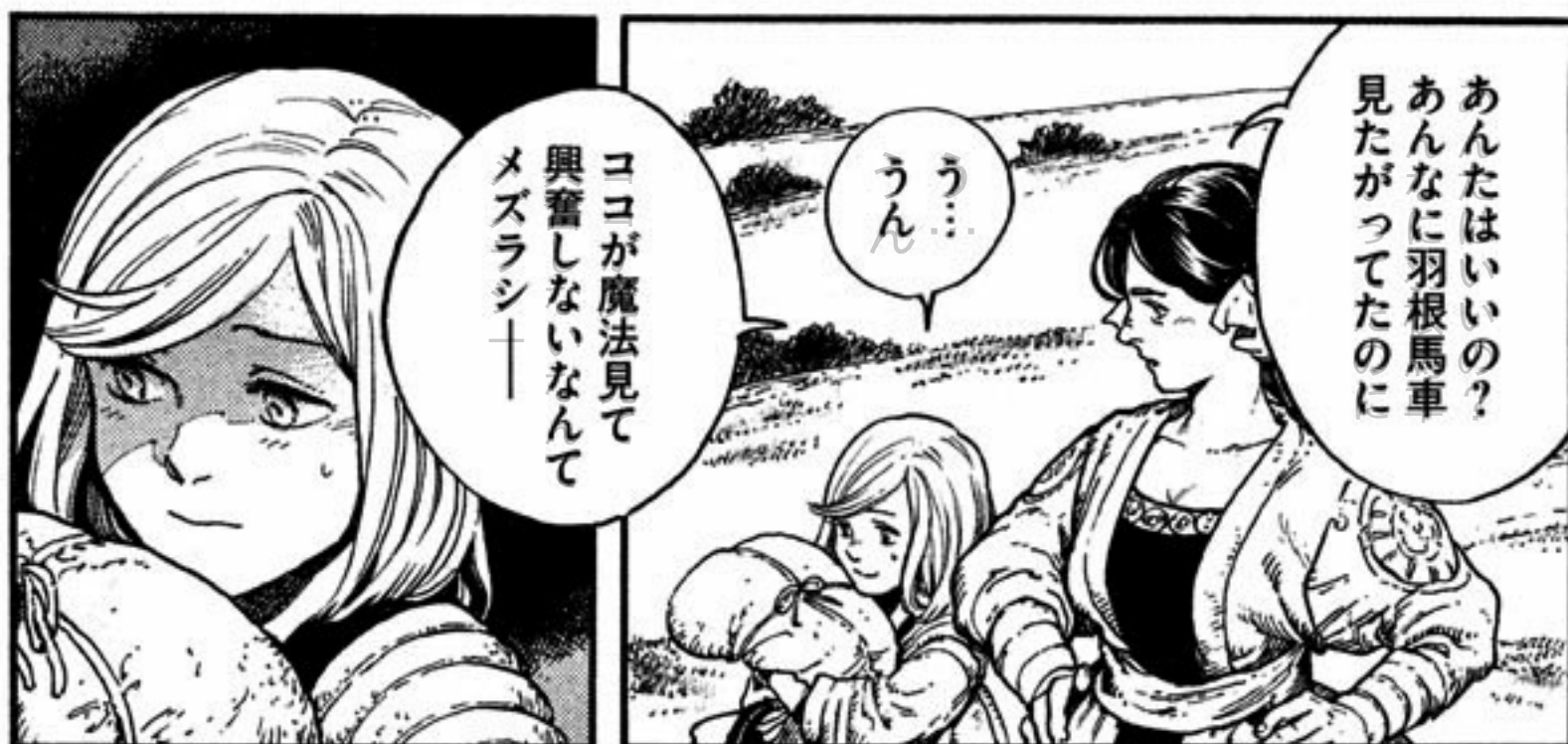


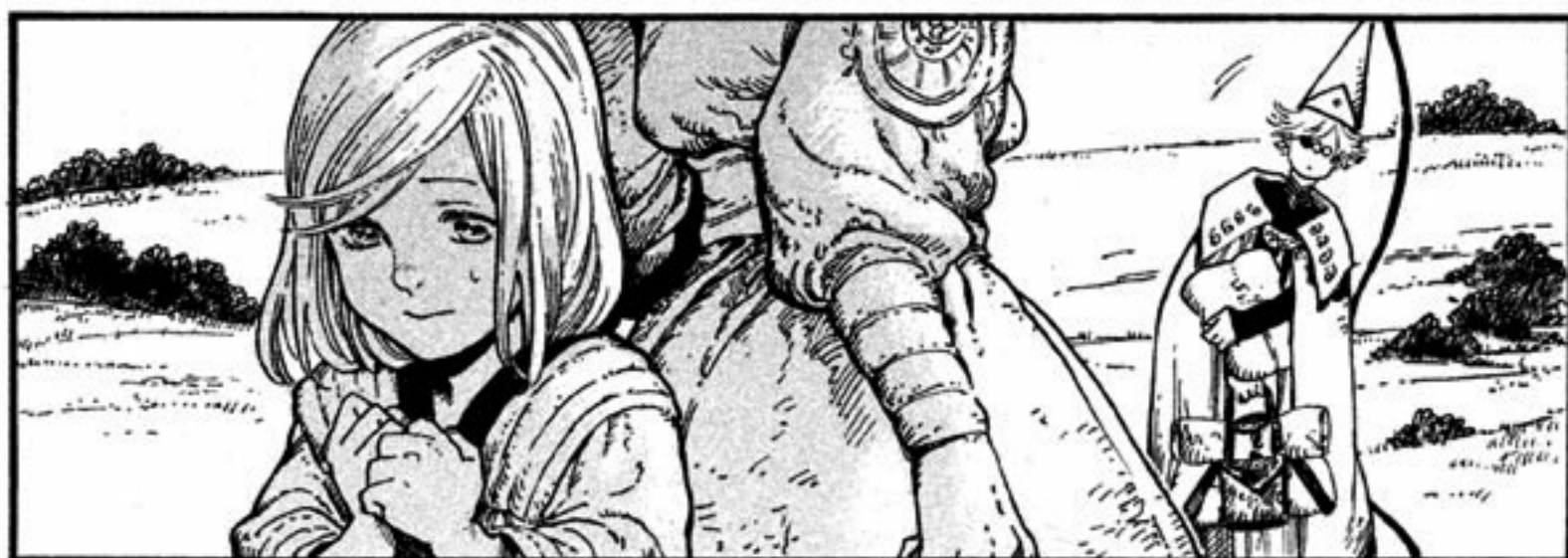


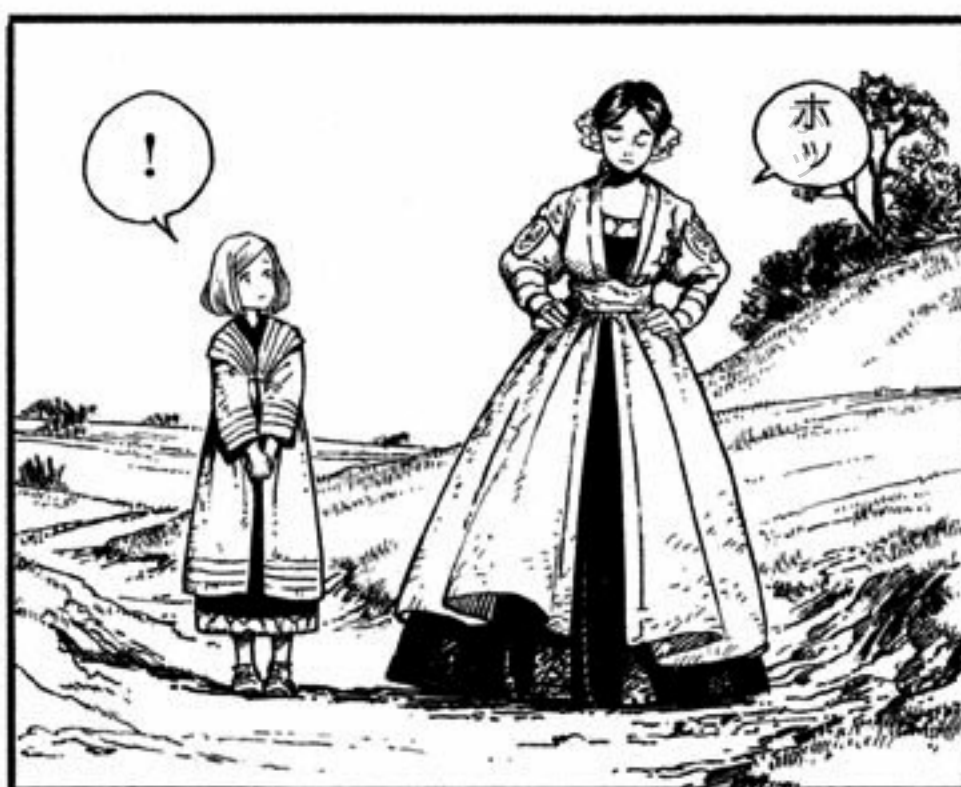


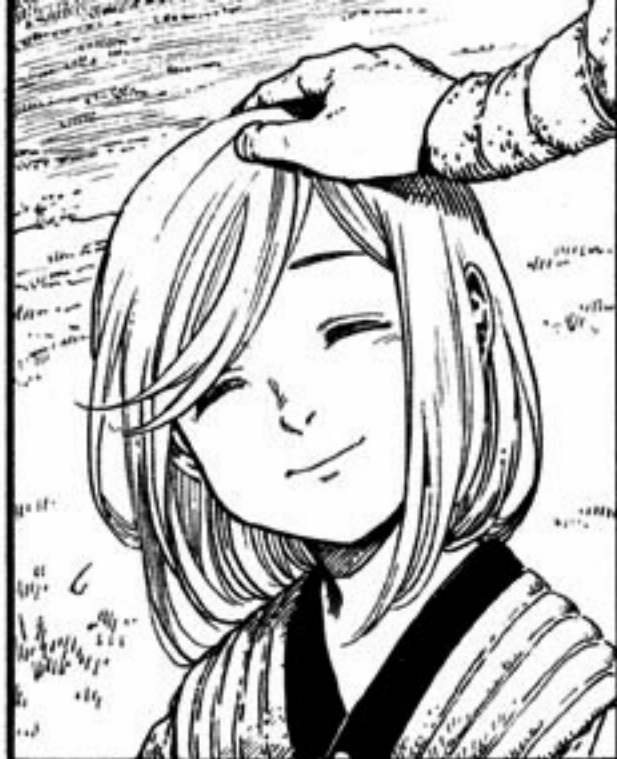


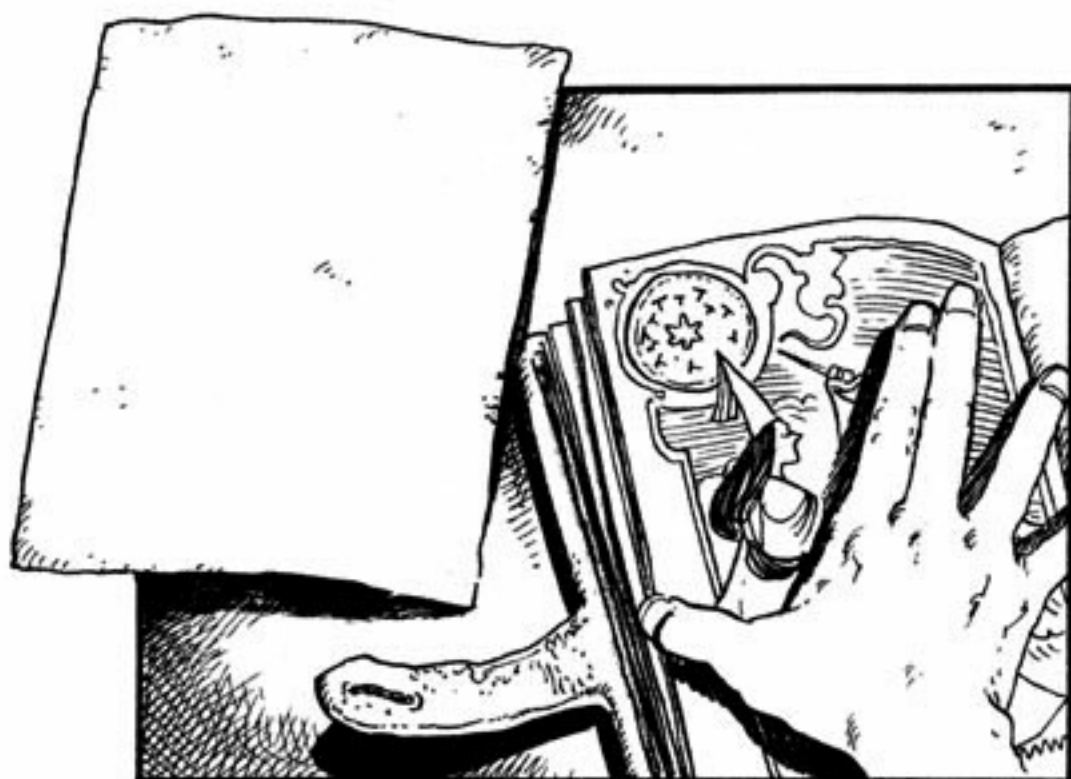










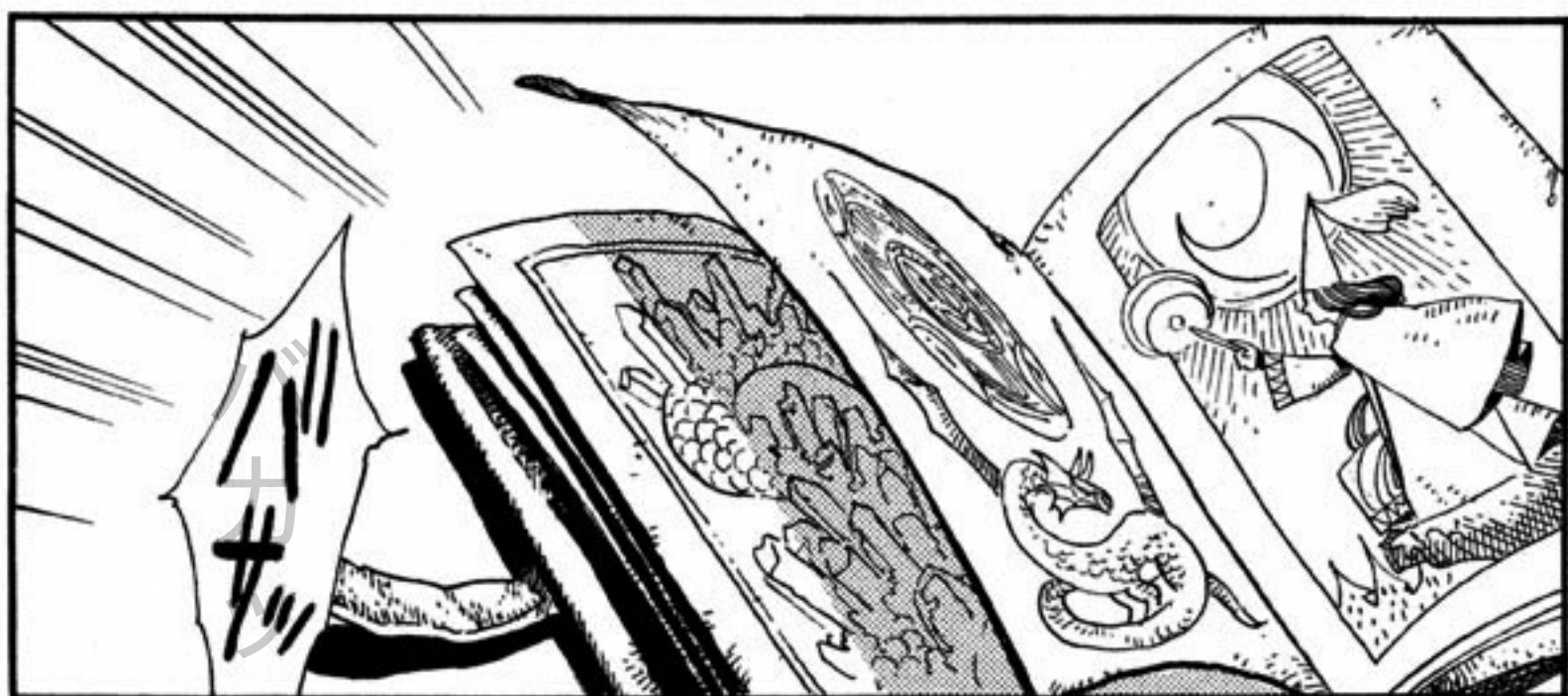


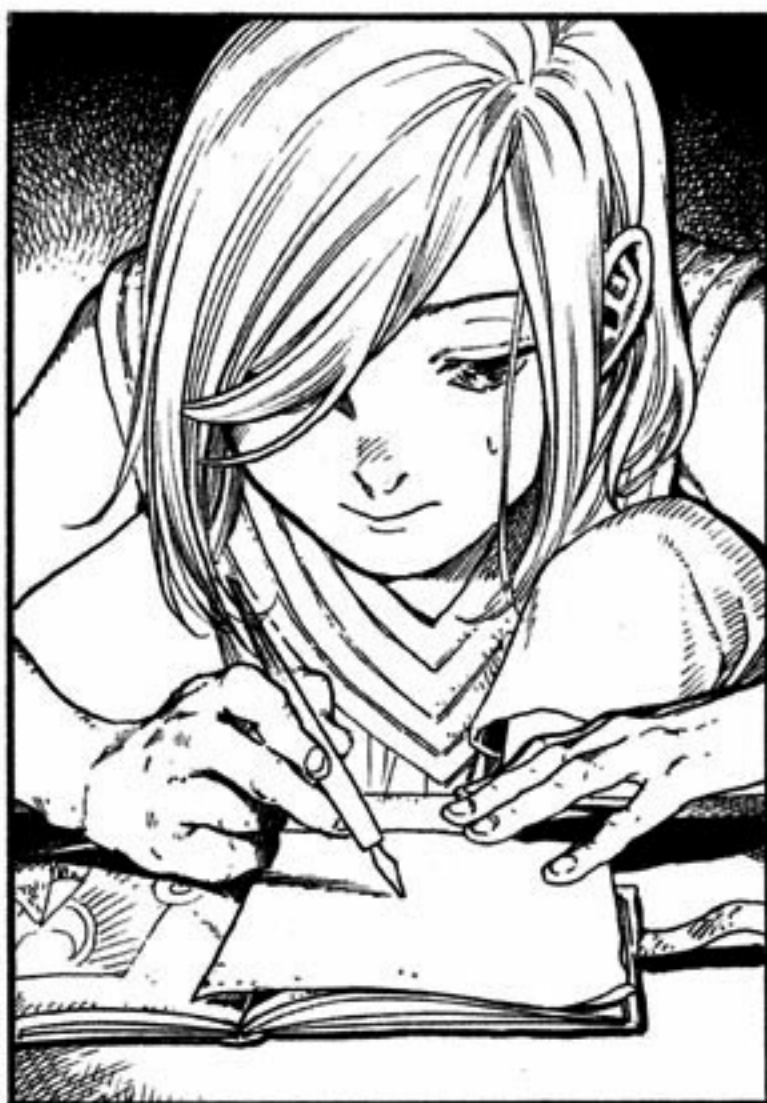












上から
なぞると
きれいに
描ける……！

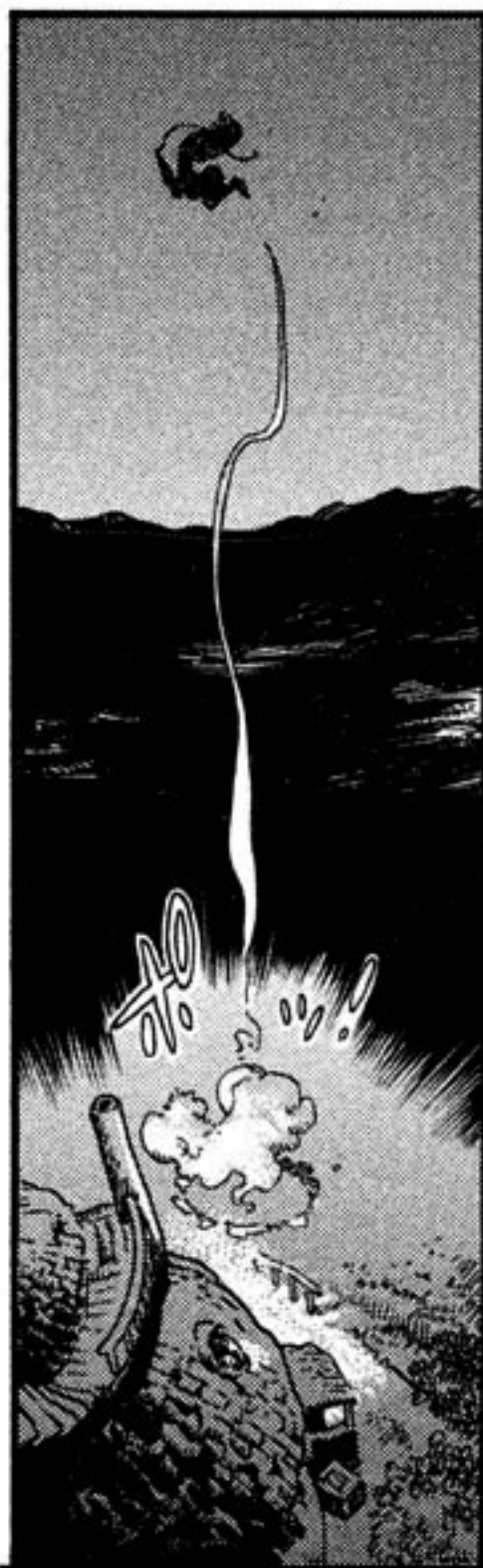
お手本を
透かして

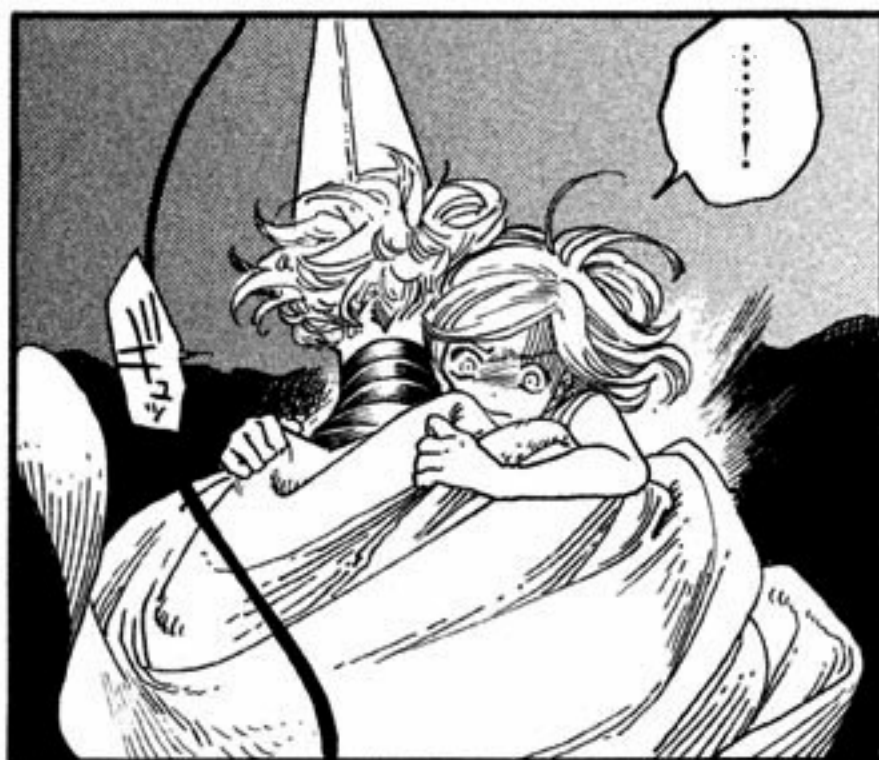
思った
通り……！

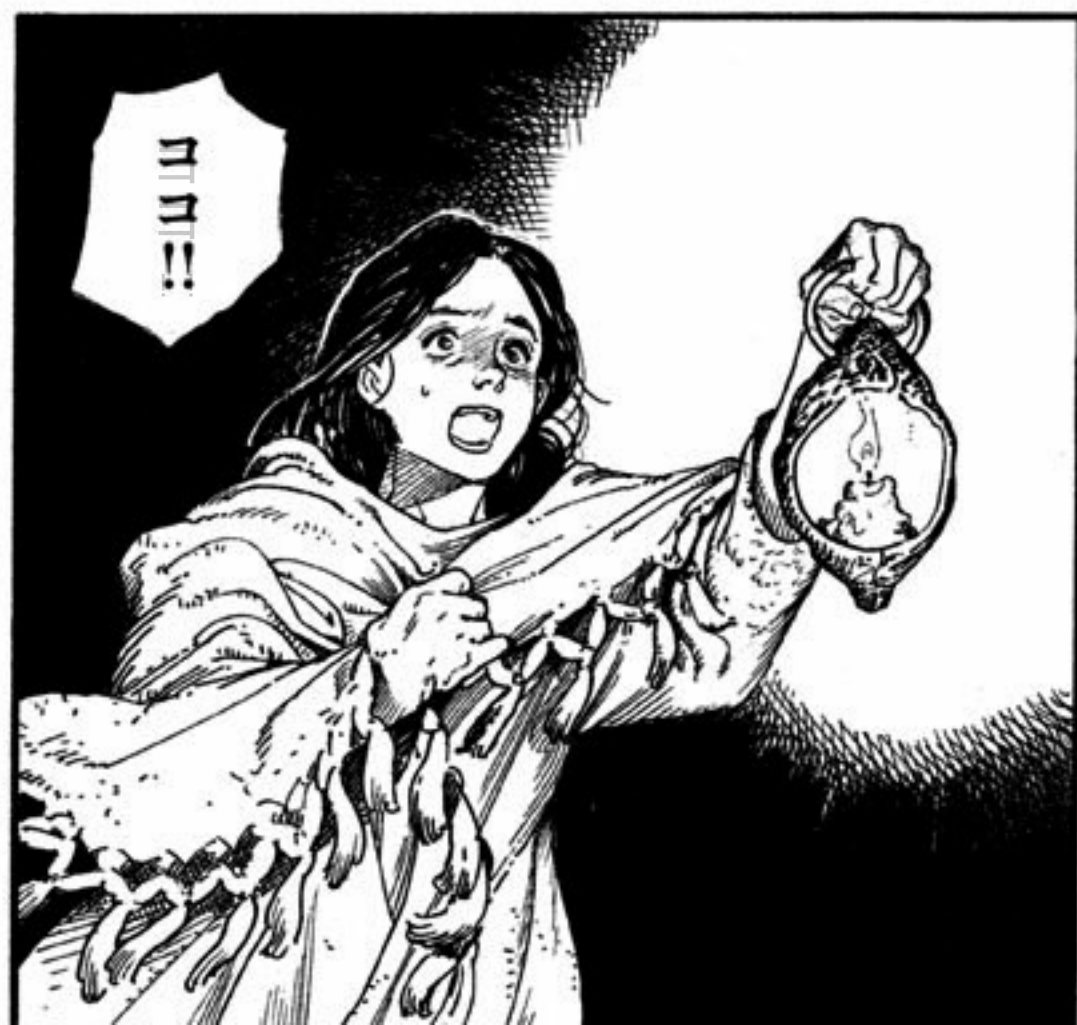




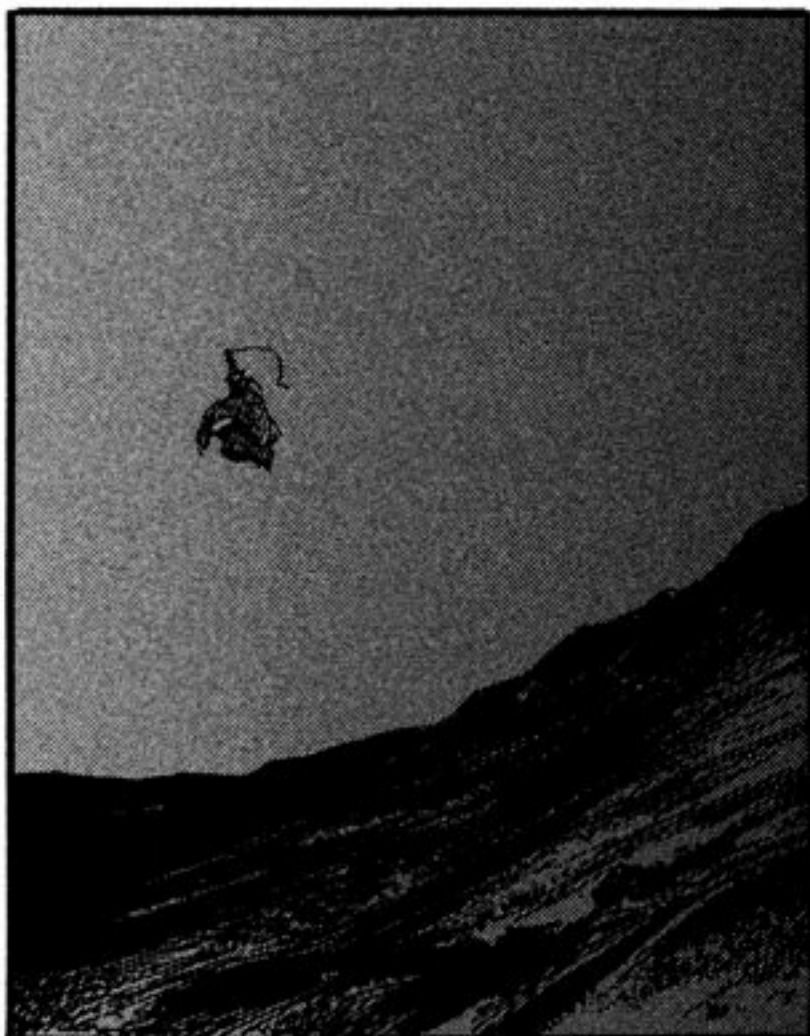












私何も
知らなくて

ごめん
な



知らなくて
当然だよ

こうならぬ
ために隠されて
いたんだから



お母さん!!







もしその絵本が
僕の予想通り
彼らのもので
あるとしたら

追えなく
なる…

この子が
忘れたら…



同じ本を
見つければ

魔法陣も
描いてある…

ハッ



どんな本
だったかは
覚えてるんだね？

どこの
ページに
描いてあった
かは？

みみん

ふむふむ



元の
魔法陣が
わかれれば

お母さんを
助けられるの？



秘密は
守れる？

もちろん
です！

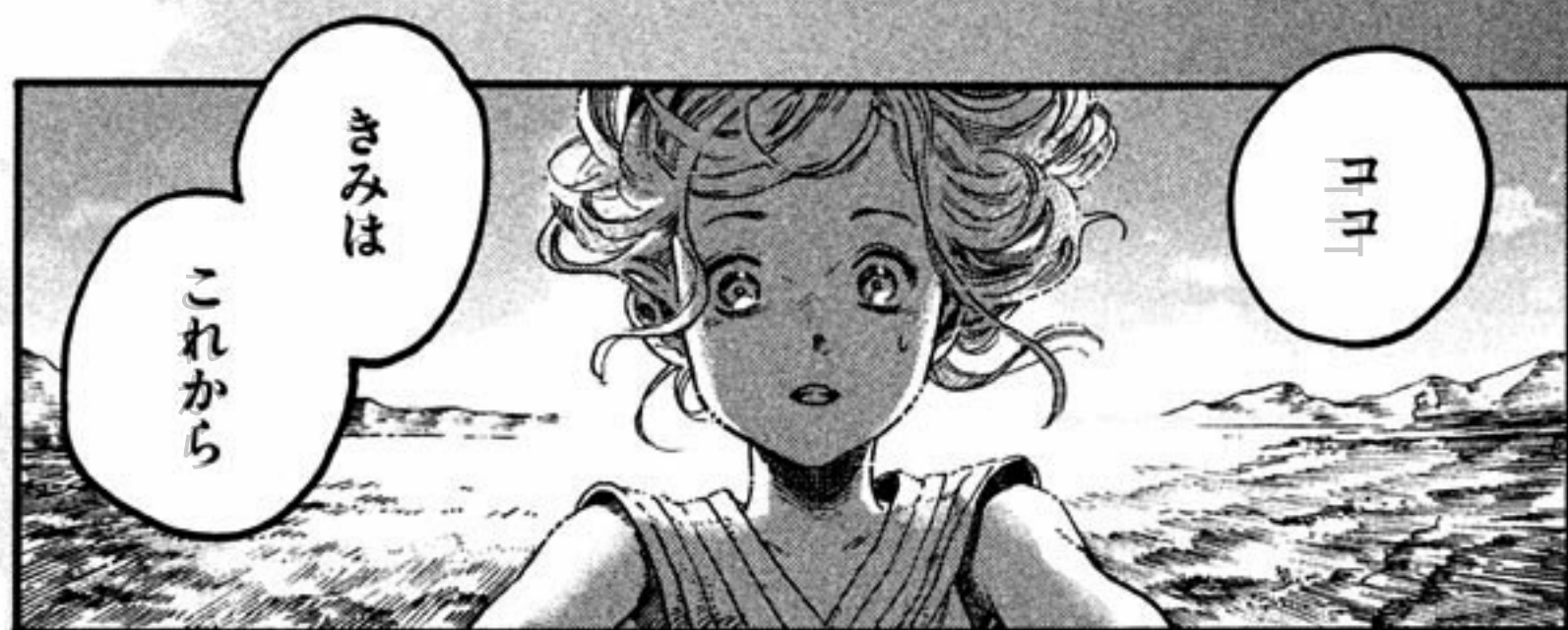
学ぶ
意思は
ある？

学…
え？

知ってしまった
事実を
消せない

ならば
秘密を持つ側に
なってもらおう

記憶を
残しておくには
これしかない

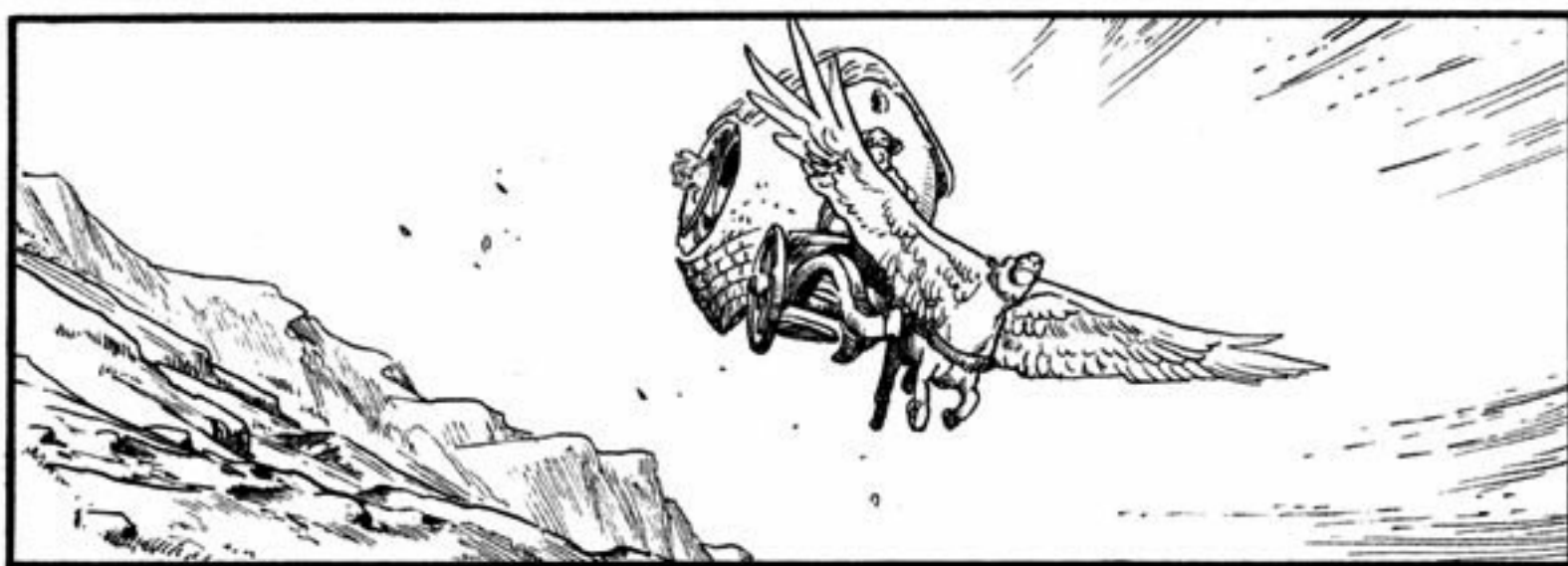
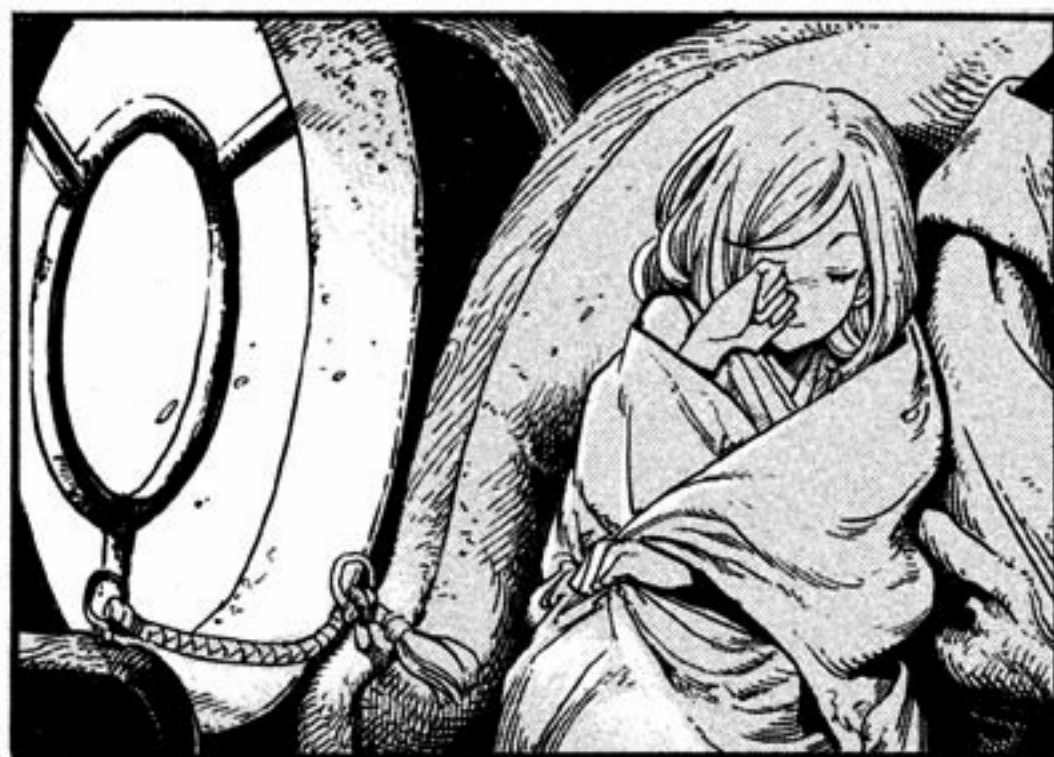


とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT







ぼくの
アトリエ

きみの
学び舎だ

《第2話》





君の家の周りには
門番茨の種を
蒔いてきた

すぐに育って
結界の役割を
果たしてくれる
だろう

得体の知れない魔法で
家が石化してしまったから
誰かが迂闊に
近寄れないようにね

しばらくは
君も帰れない

だから……



ココ？





お母さん……



どう
したの？



私……

お母さんを
置き去りに
してきちゃう
なんて

一人に
しないって
約束したのに



さあ顔を
洗って



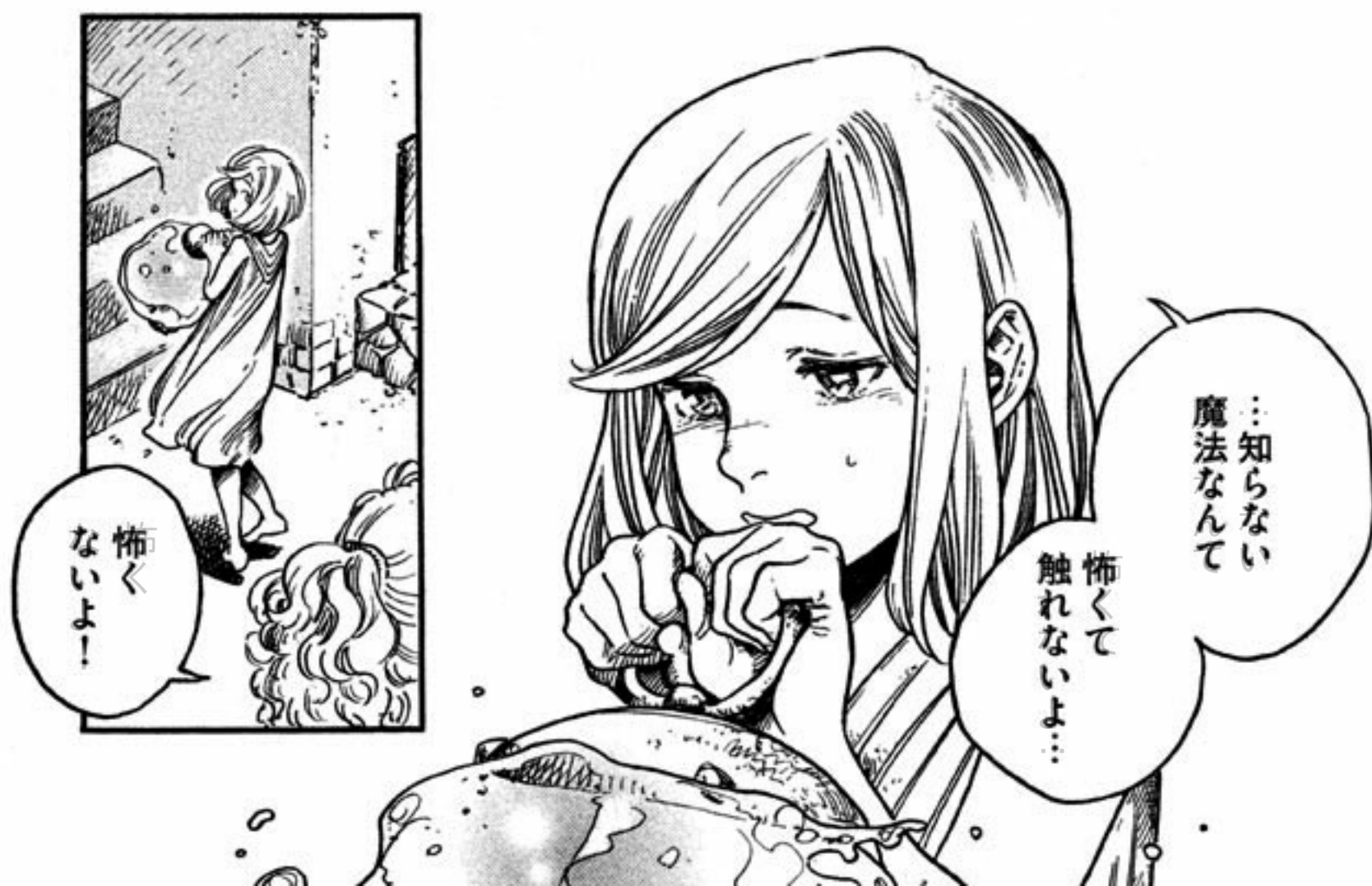
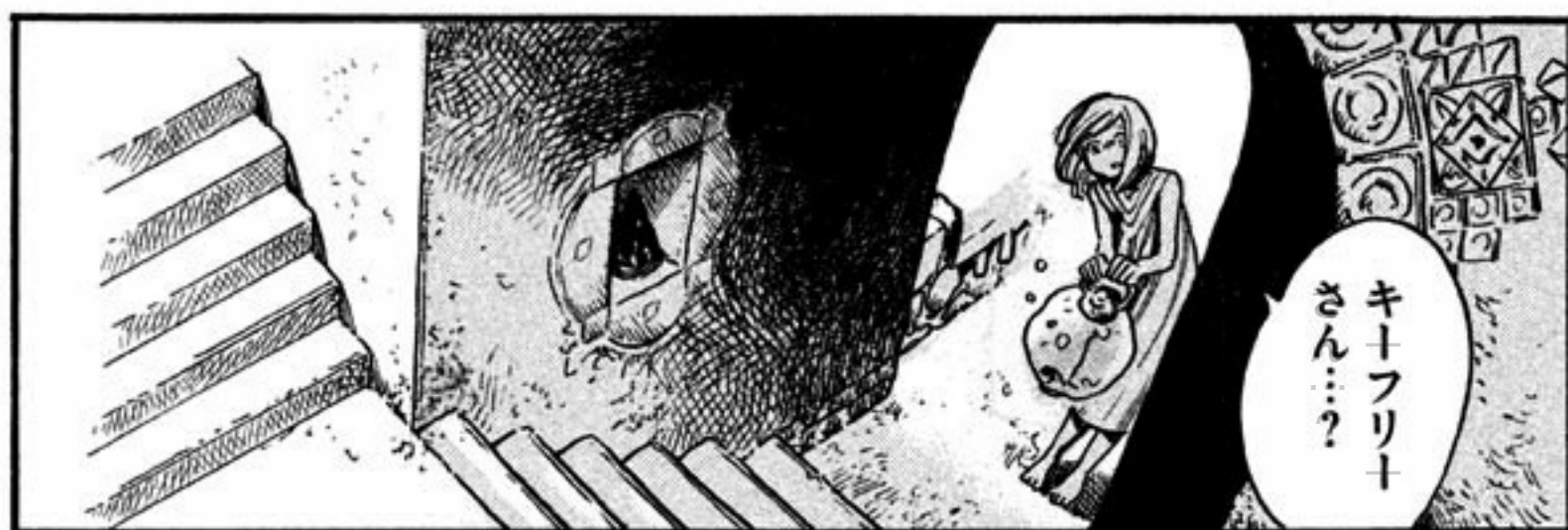
自分を
責めないで

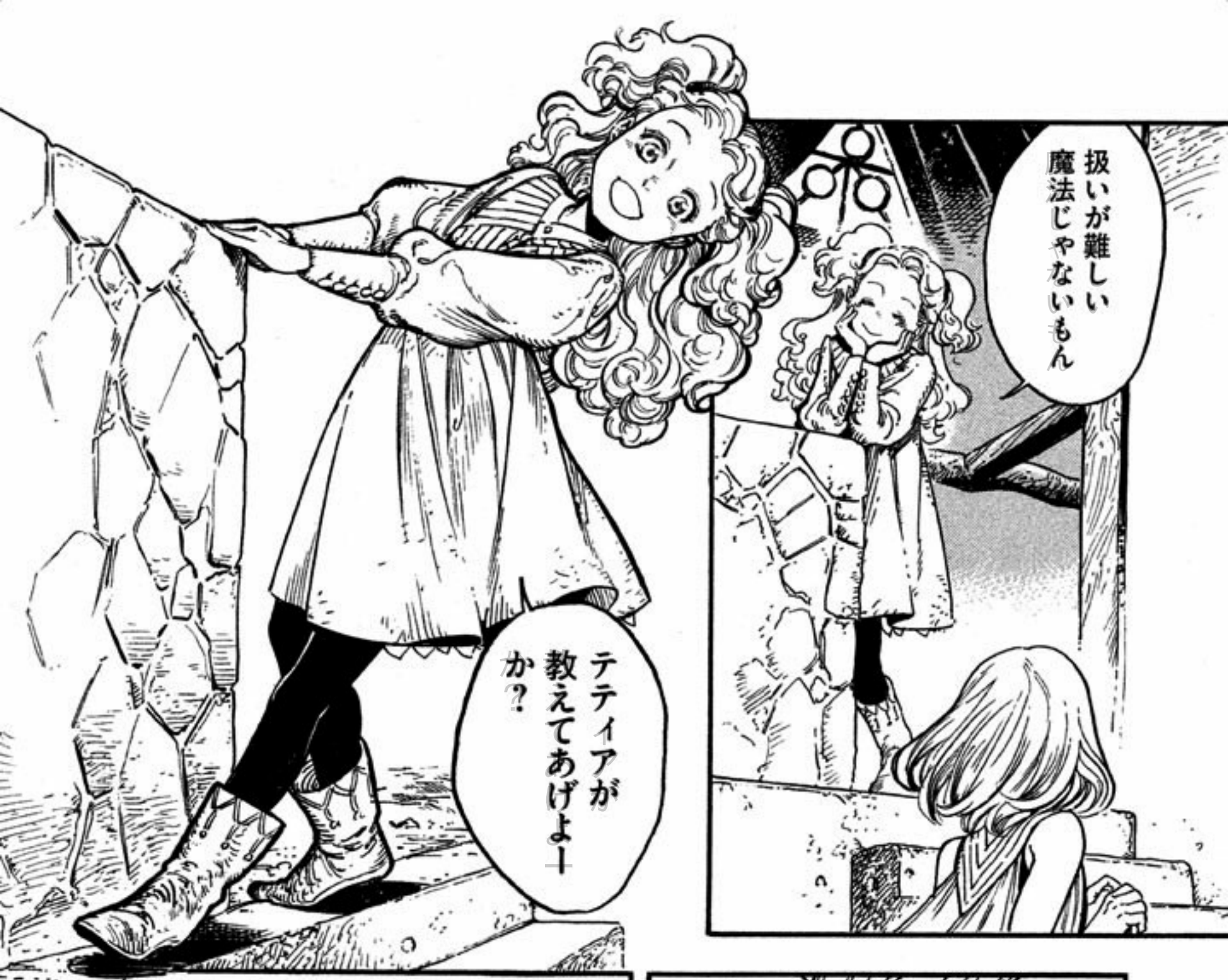
君は何も
知らなかつた
んだ

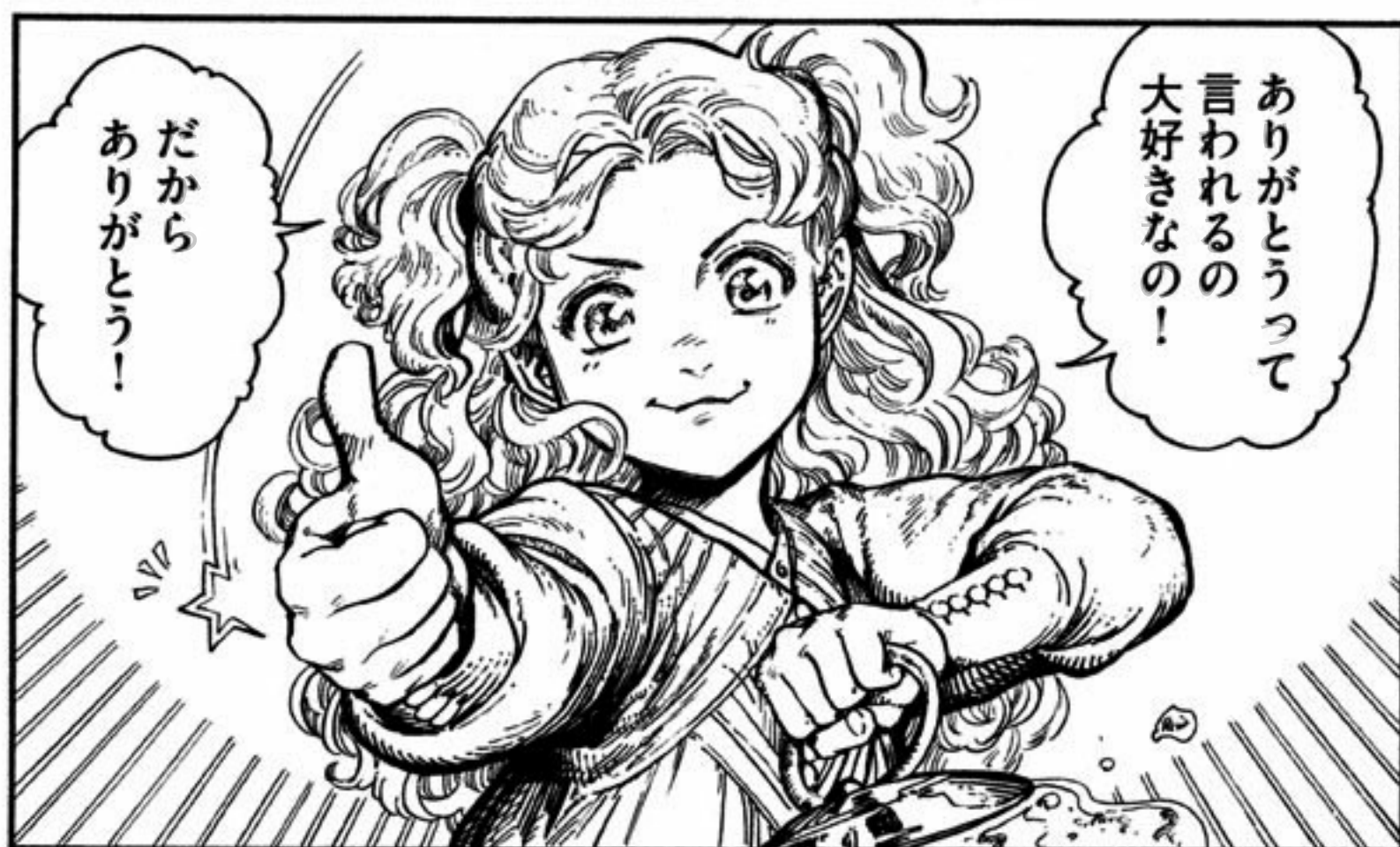
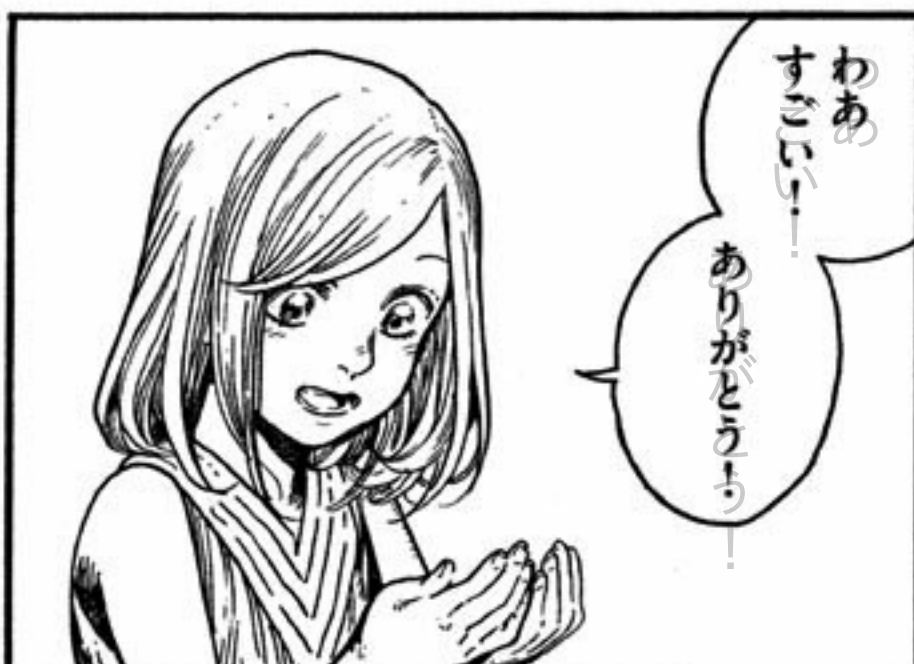


ココ……











テティアが
うるさければ
放置……

答えなければ
そのうち黙る……



ひどいなあ
リチエ

テティアは
教えてあげた
だけだよ

放置……



……あ



ペンと
インク

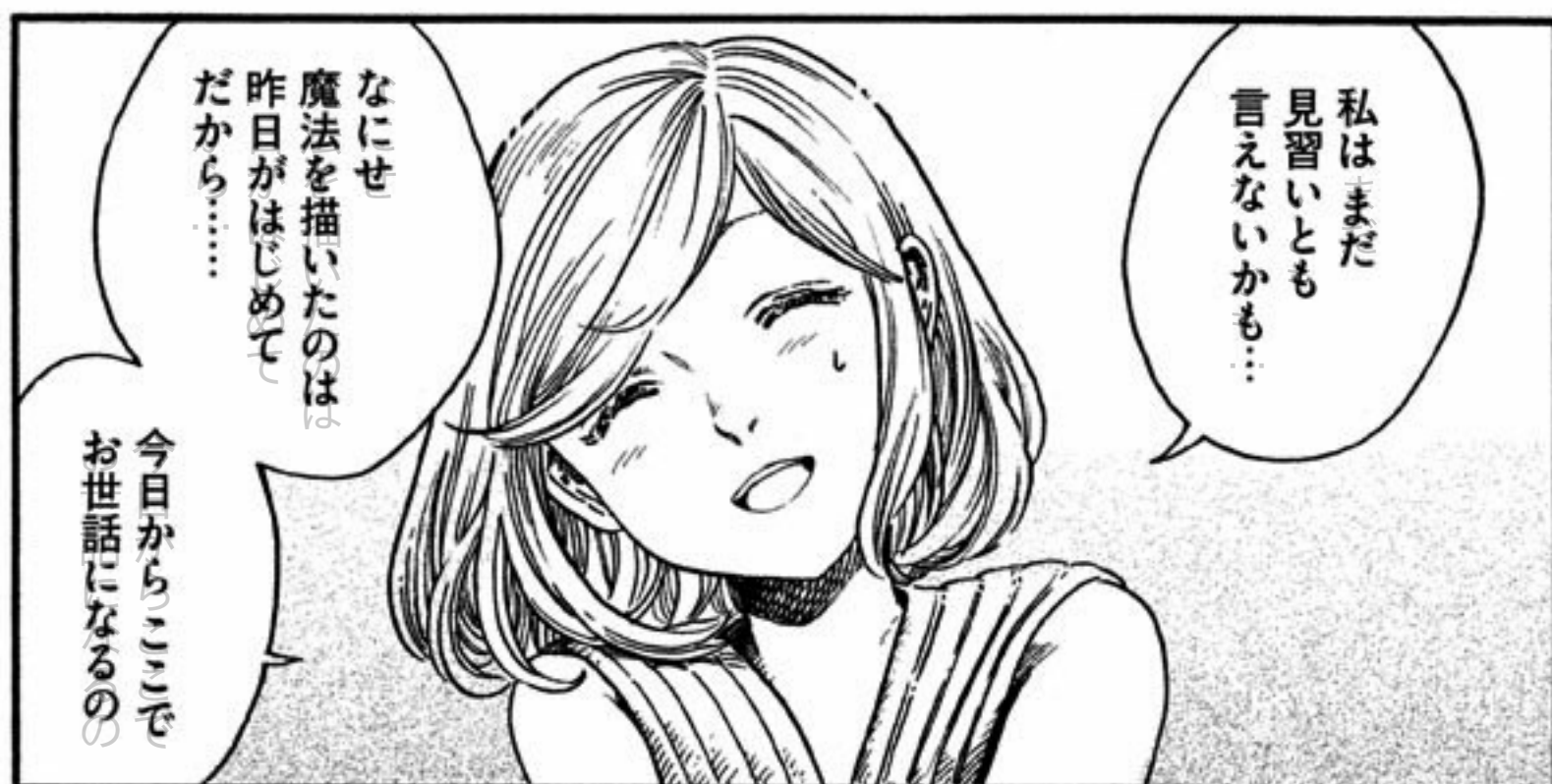
魔法の
道具……？



二人とも
魔法使い
なの？


……の
弟子だよ

キーフリー
先生の
生徒なの！











決まった図形の
組み合わせと

特殊な製法の
墨があれば




どこの
誰にでも
使える…

もっと身近な
ものだったんだ



だけど
そのせいで



何度も
何度も
争いが起きた

何でも出来る
力があれば
何でもするのが
人間だ

おぞましい
魔法が
いくつも
描かれた

わずかに残った
良識ある人達は
争いを拒み
「魔法使い」として結託し

人々から
魔法の記憶を
奪って

秘密を守る
弟子にだけ
教え伝える
ことにした

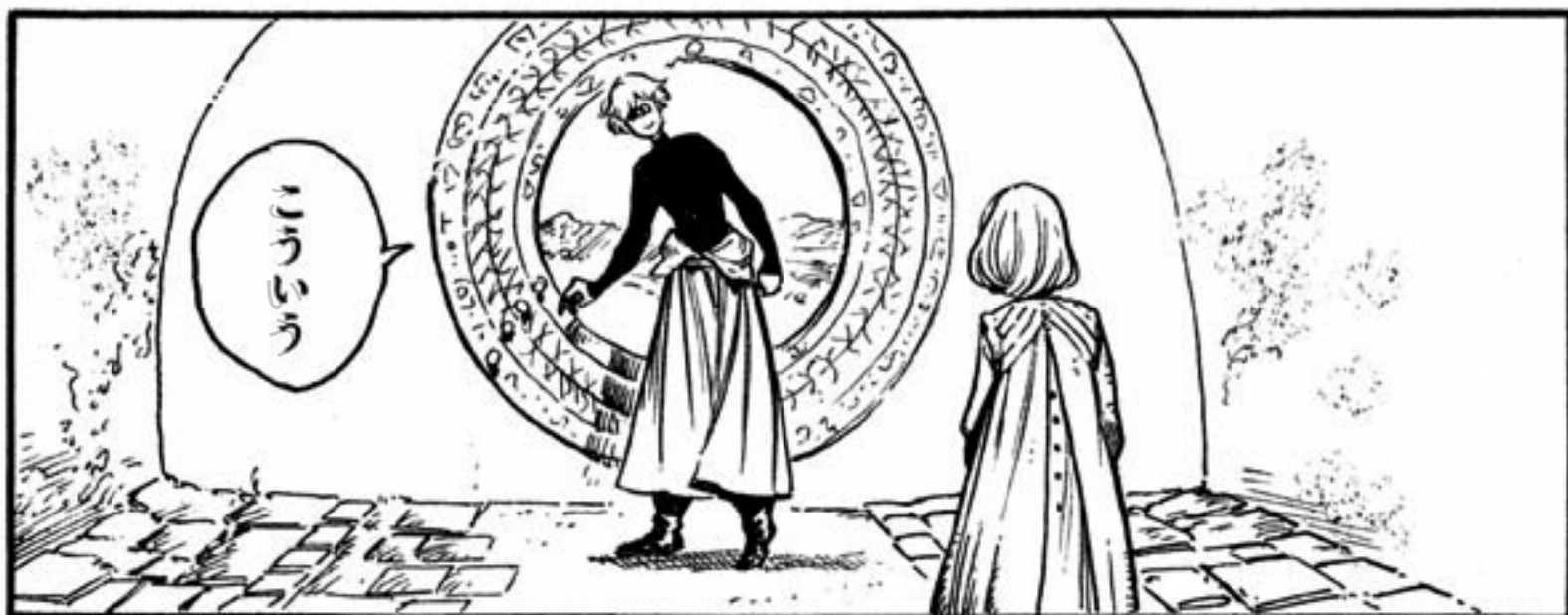


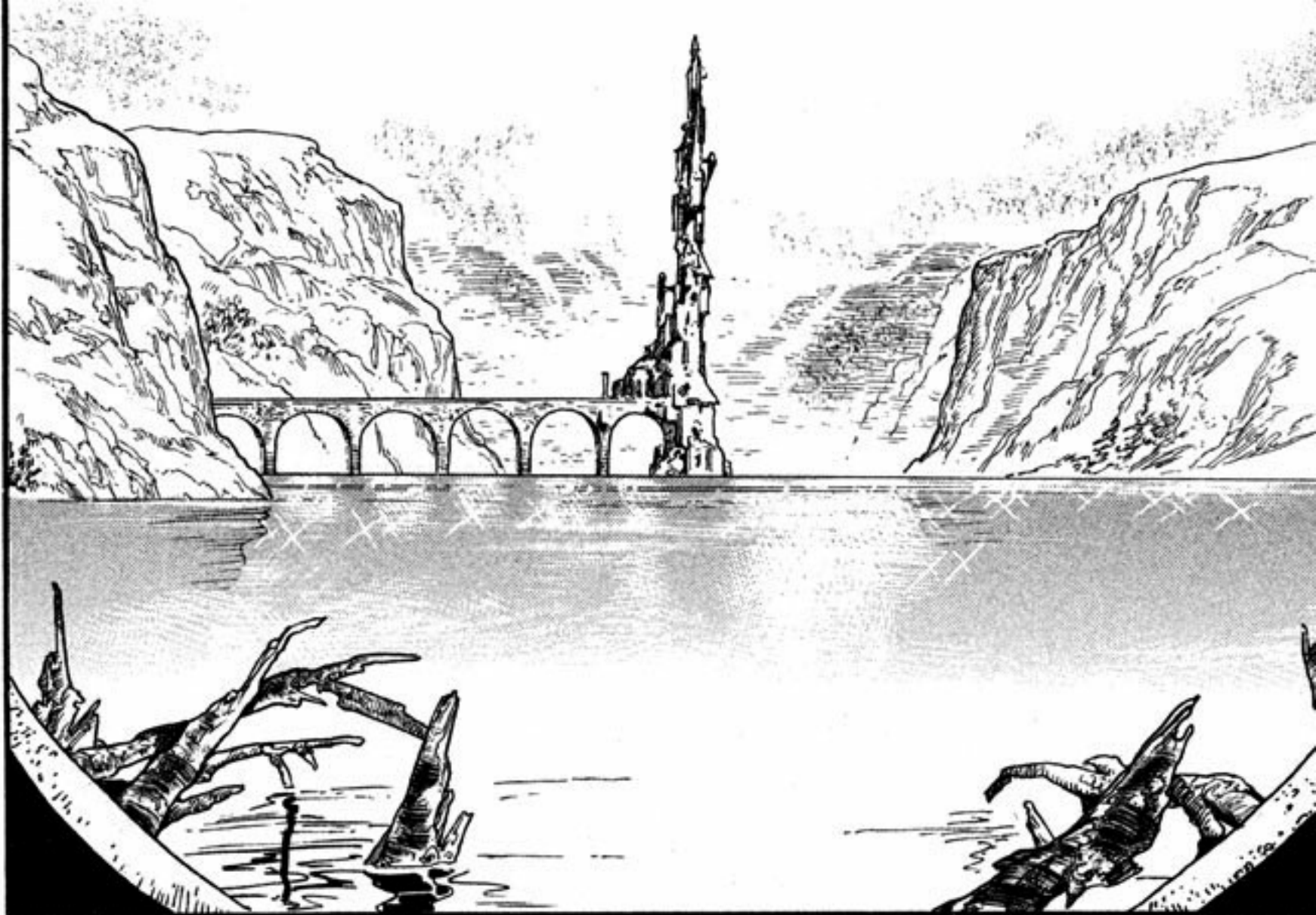












図書の塔

知の保管のため
魔法に関する
すべての書籍が
書かれた瞬間に
あそこで複製される

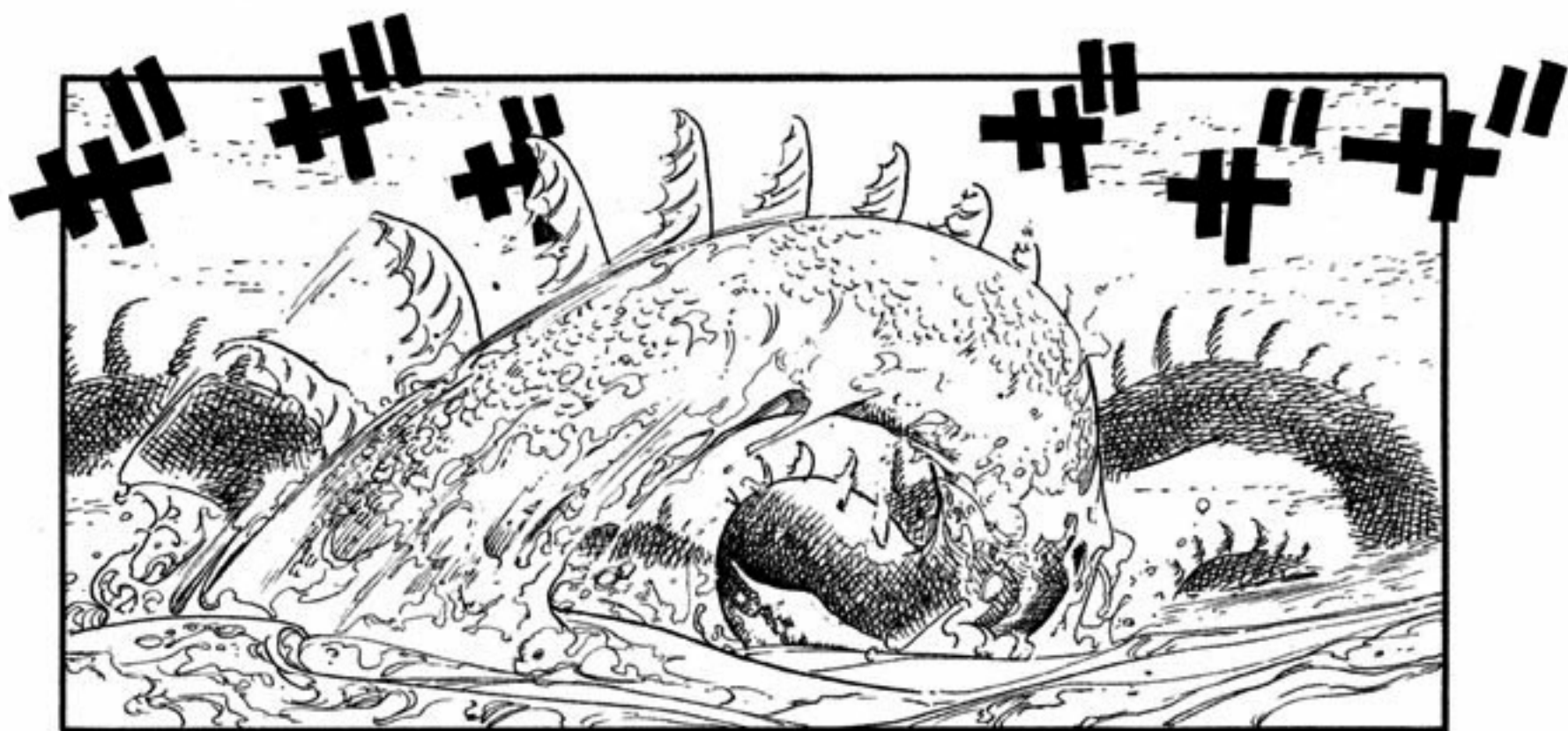


…あの
絵本も！

すぐ行きましよう
私寝ないで
探します！

待つて

ゆら



図書の塔は
4人の司書に
守られていて

試練を乗り越えた
魔法使いだけが
中に入れるんだ

塔へ入るには
まず
学ばないとね

ココ

さっき
ぼくは嬉し
かったんだ

君が知りたいと
言ってくれて

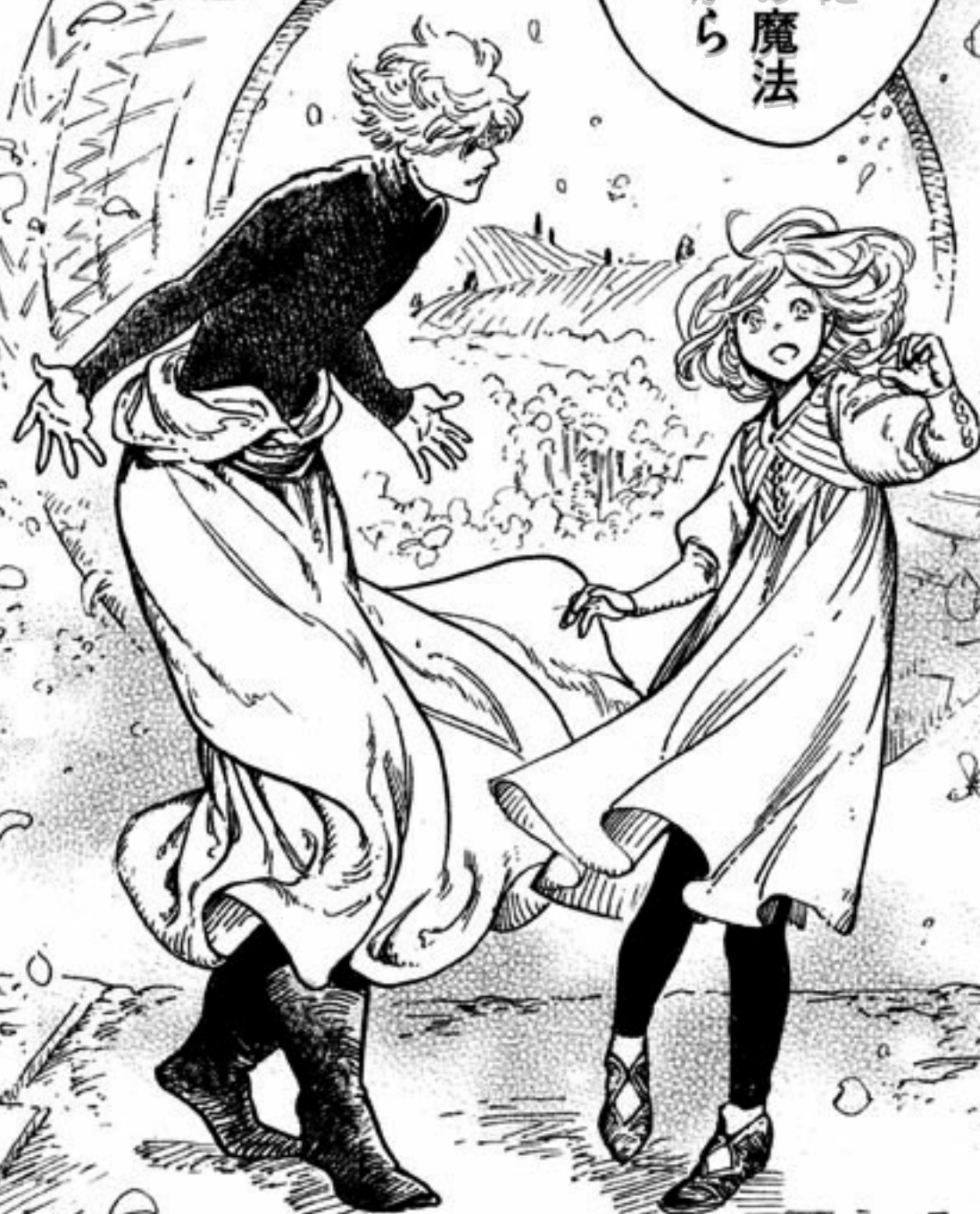
恐怖を
感じるのは
仕方ない

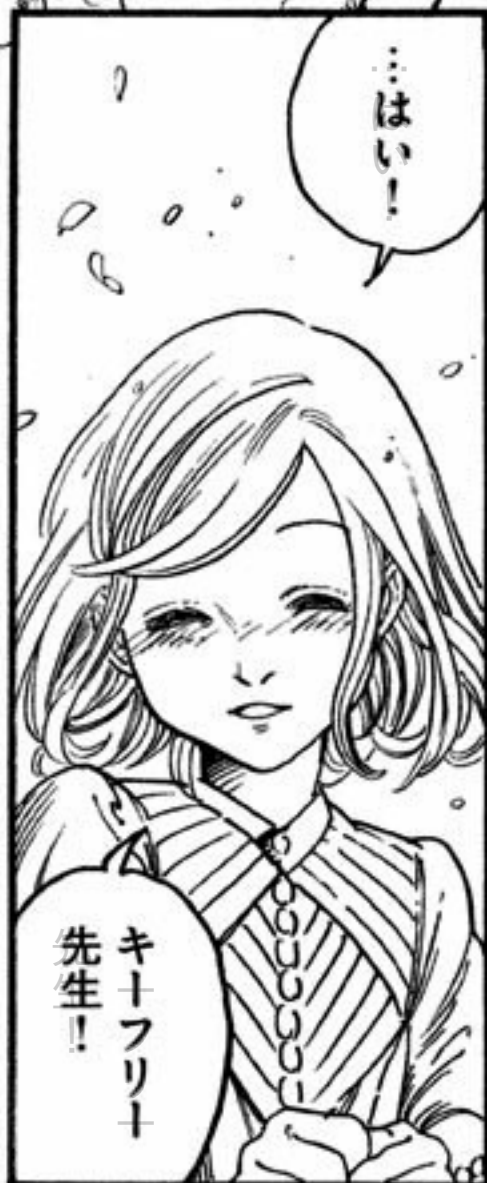
でも

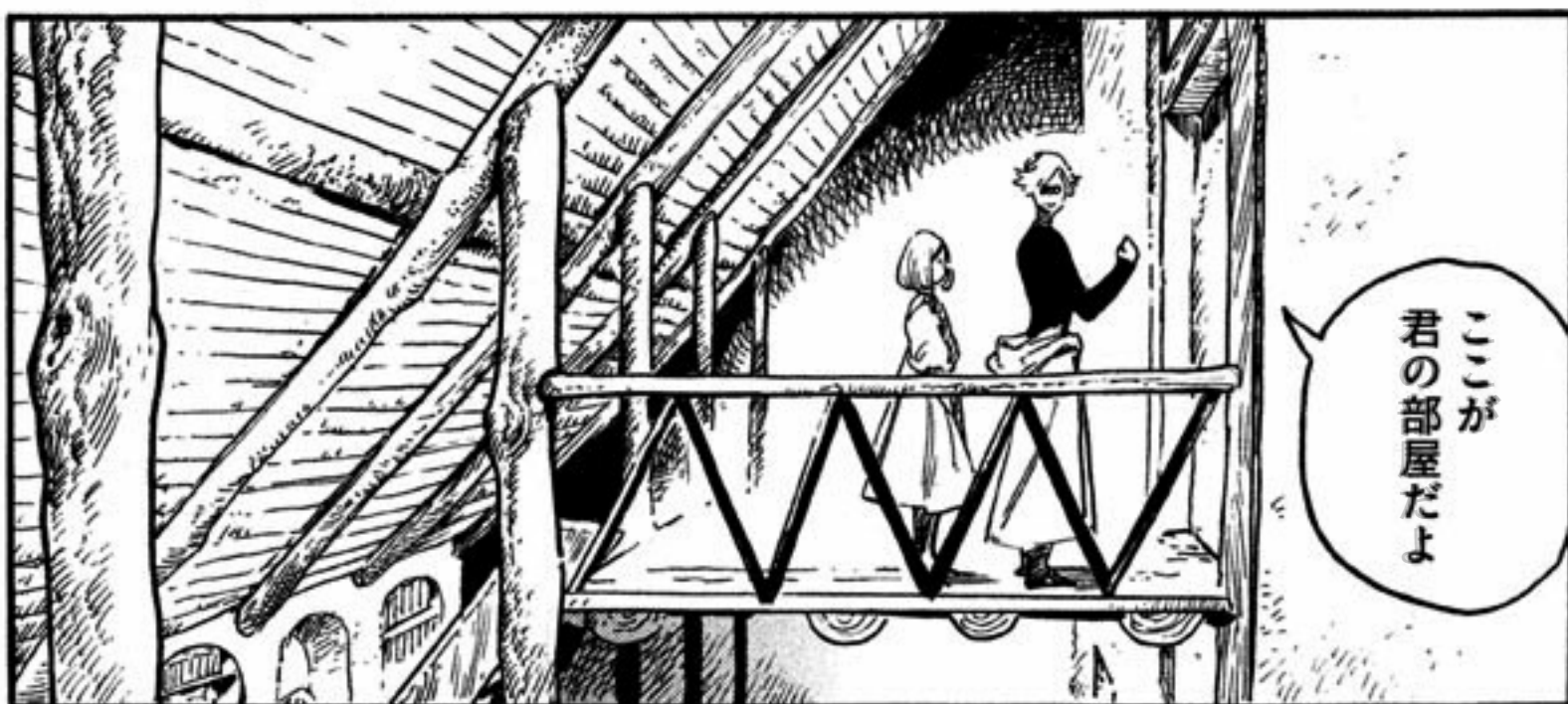
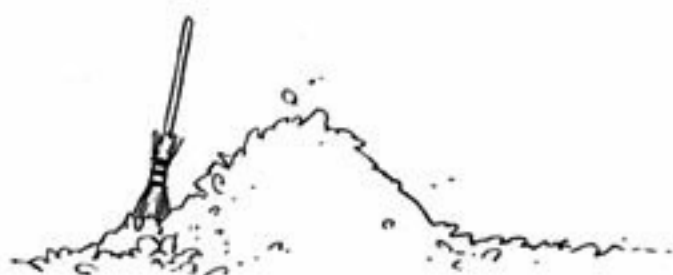


禁止されずに
残ったのは

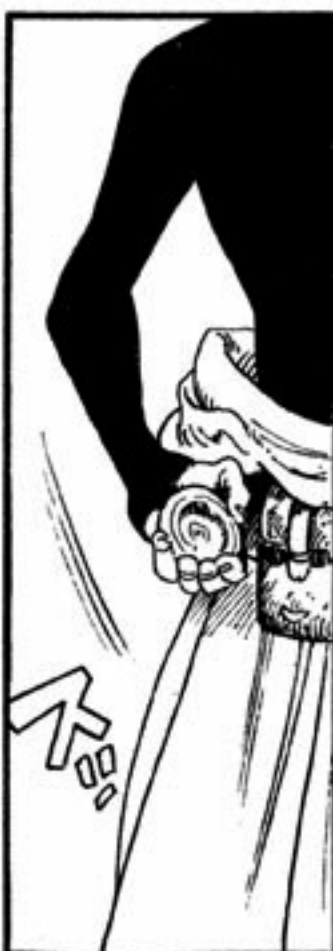
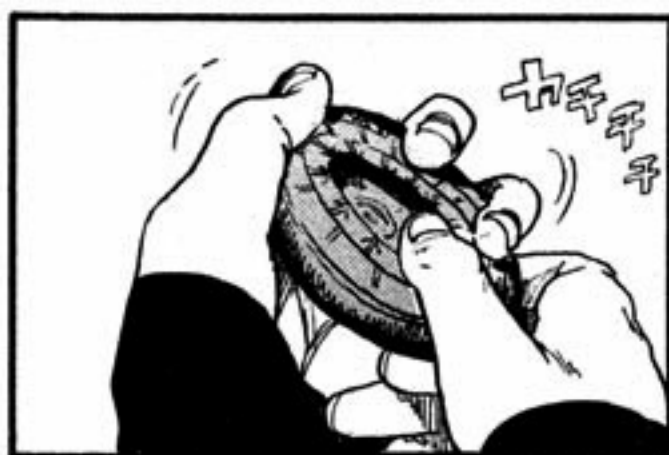
人を幸せに
するための魔法
ばかりだから









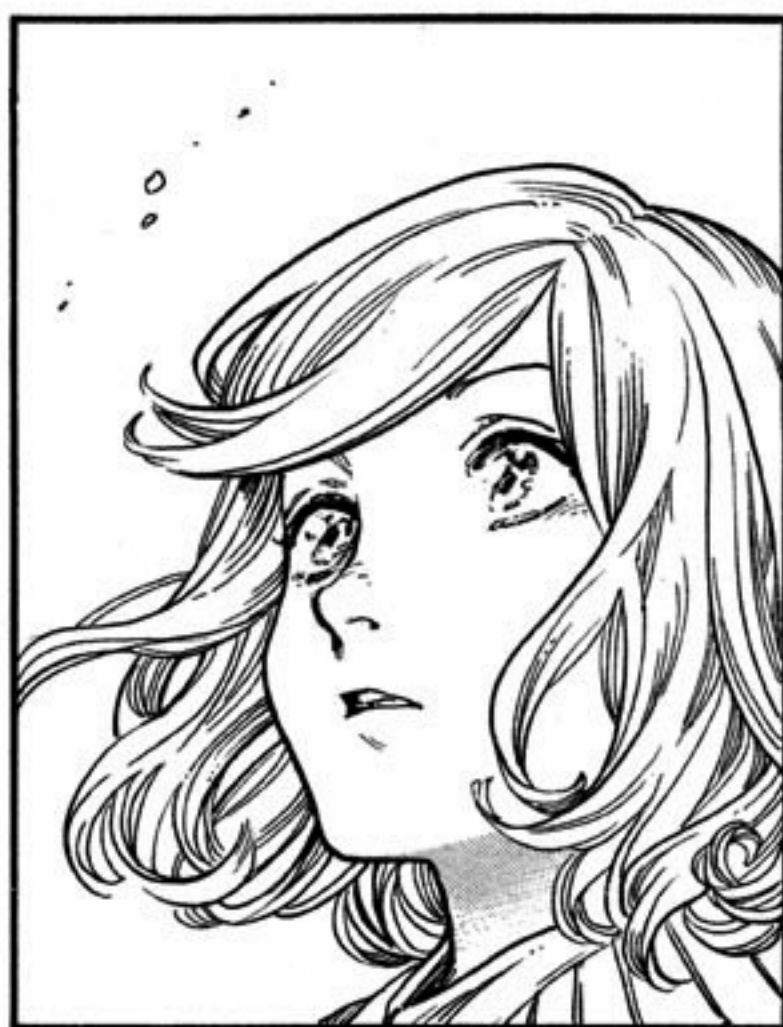


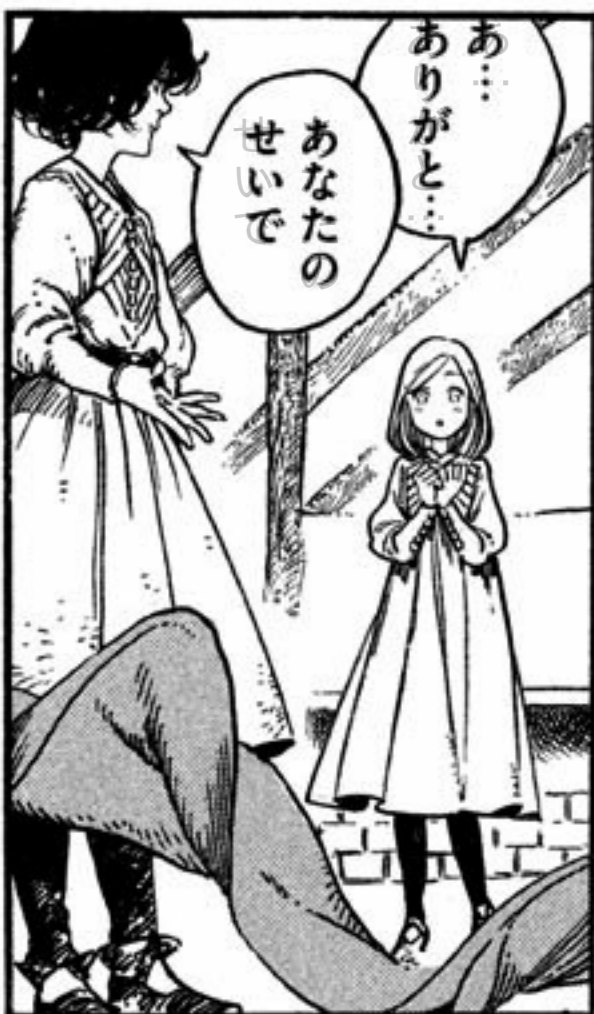


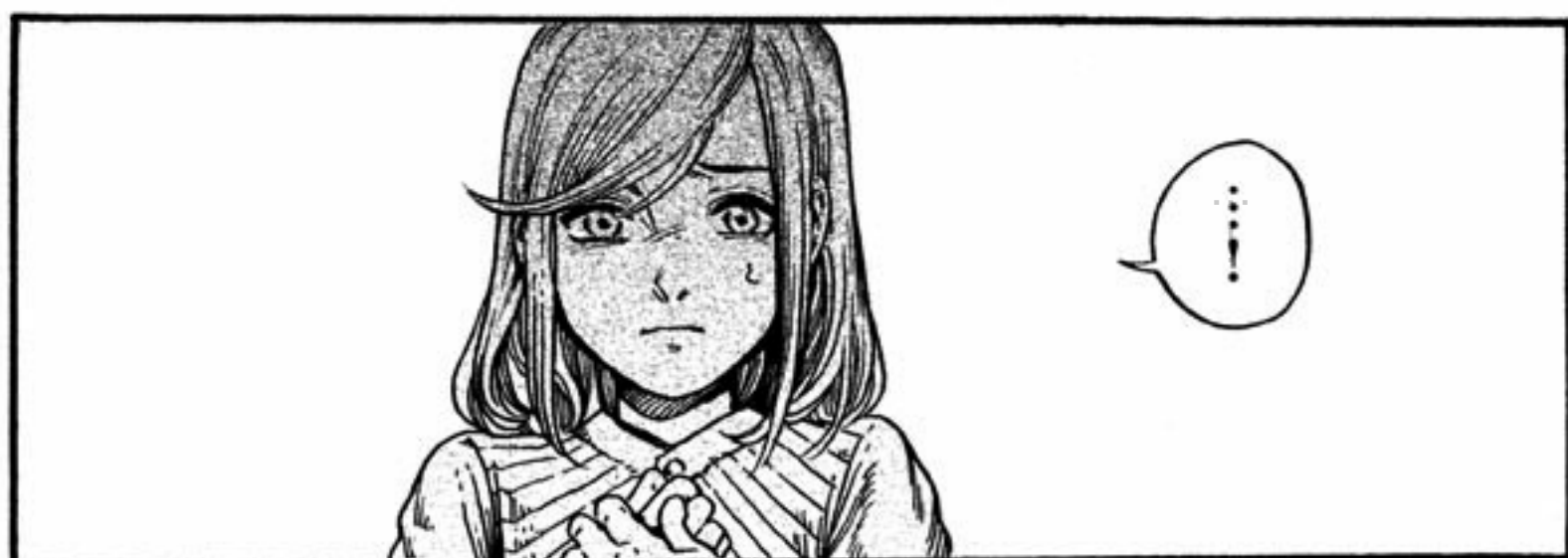
いずれ
あの
禁止魔法と

向き合って
もらわなければ
ならないん
だから

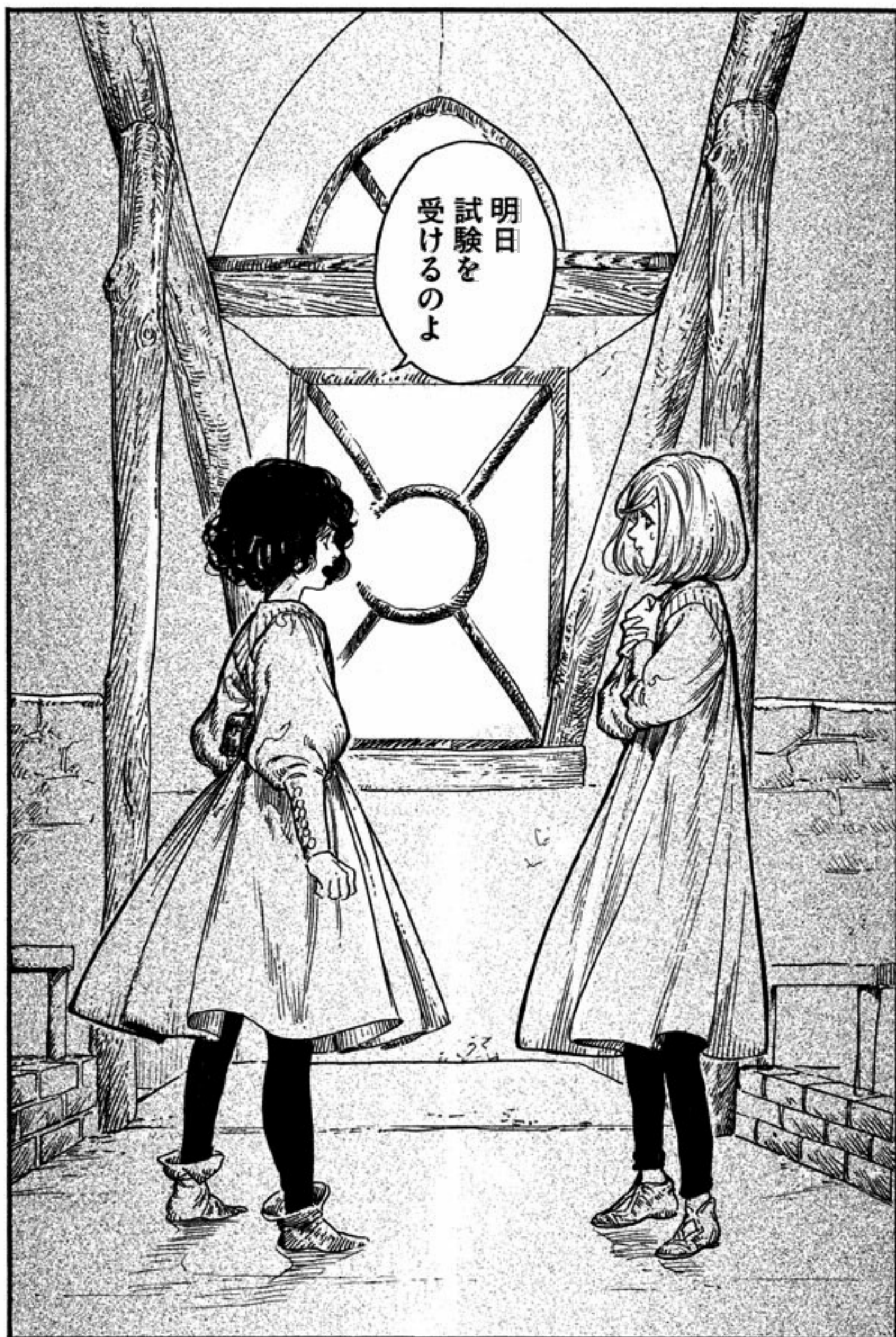










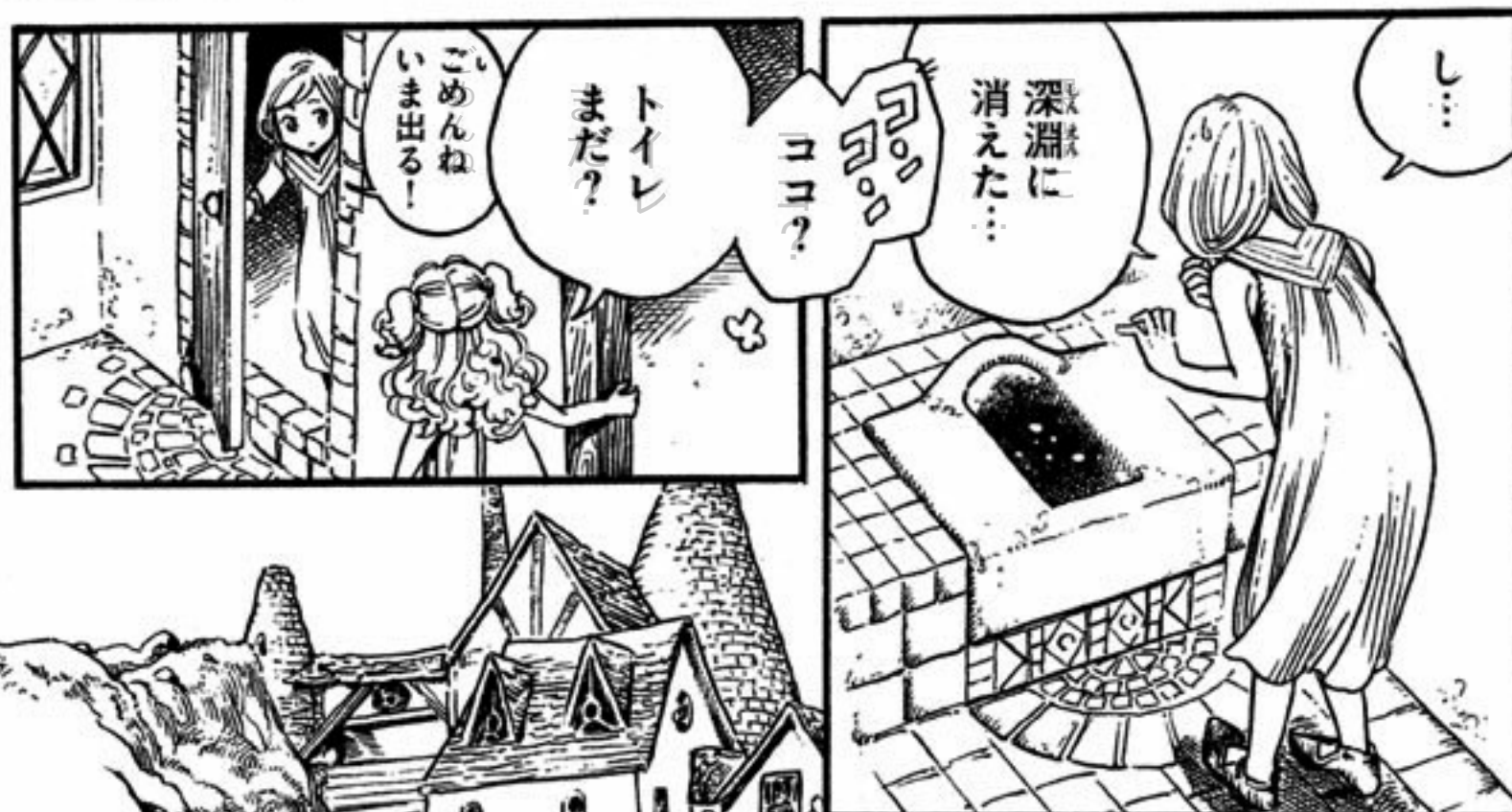


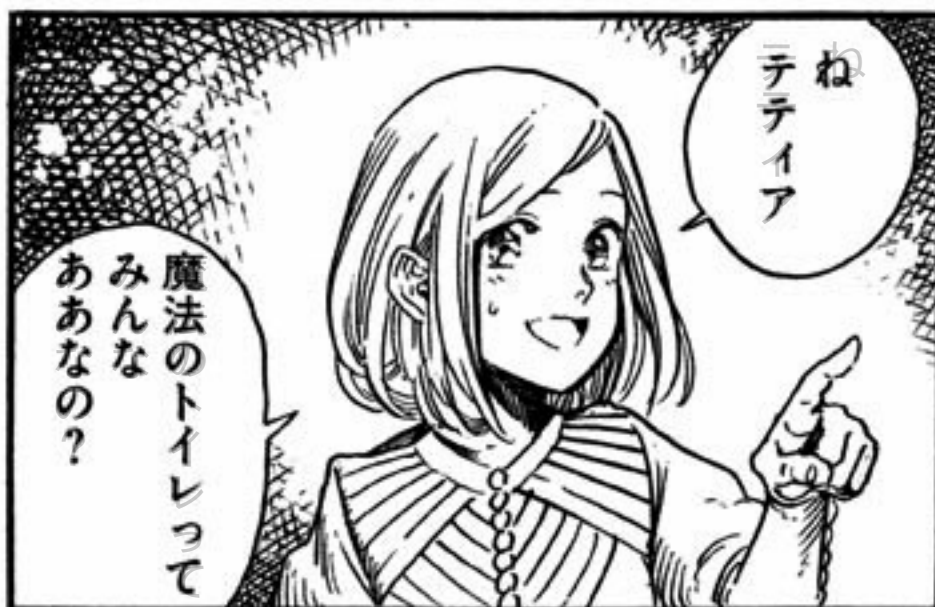
とんがり帽子のアトリエ

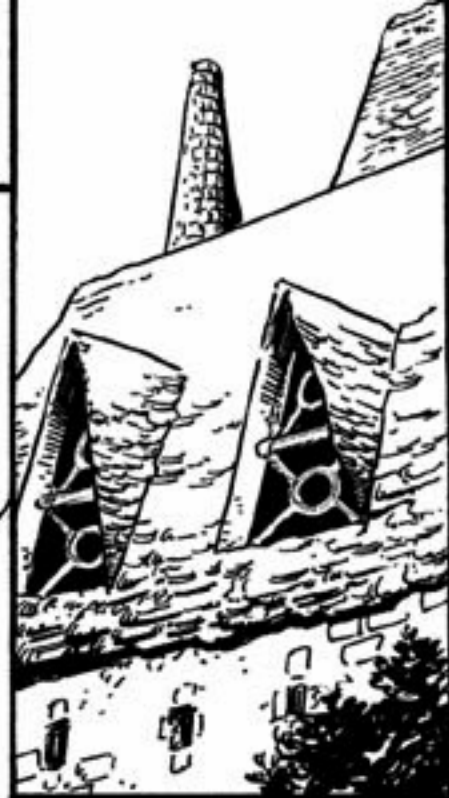
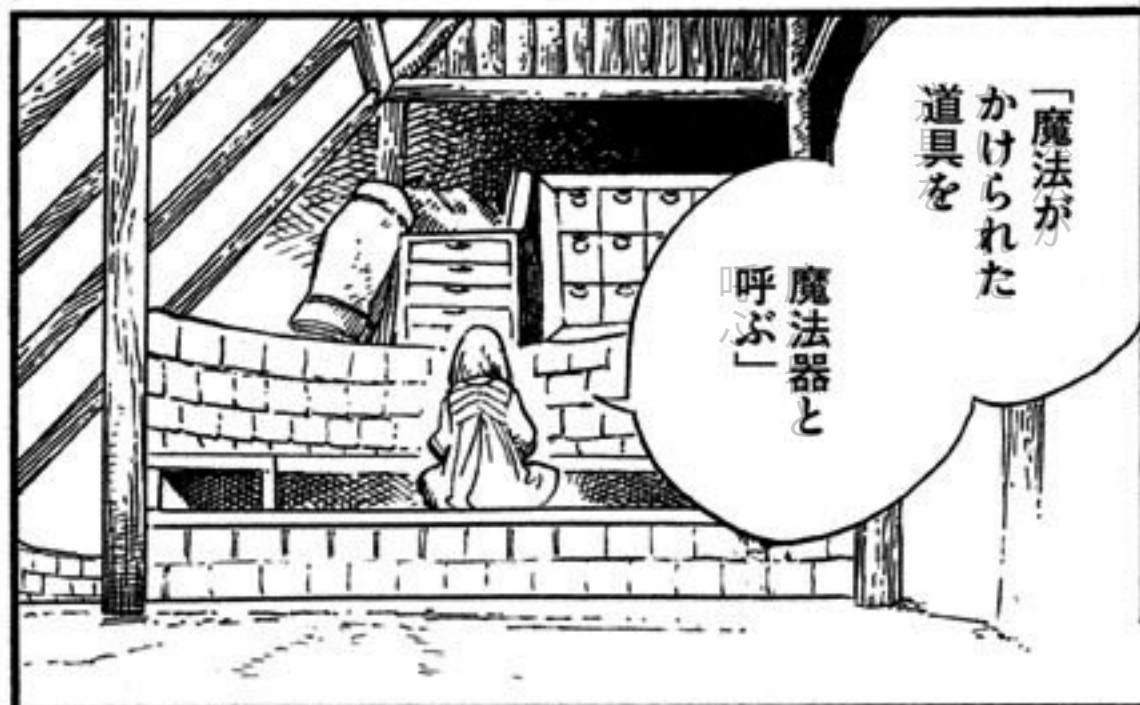


ATELIER OF WITCH n HAT

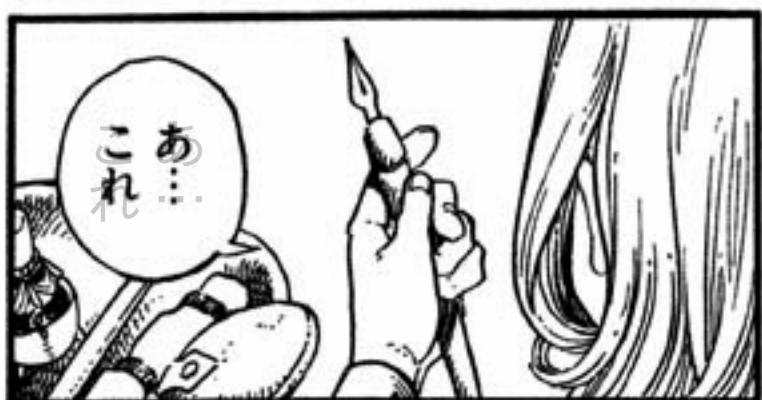




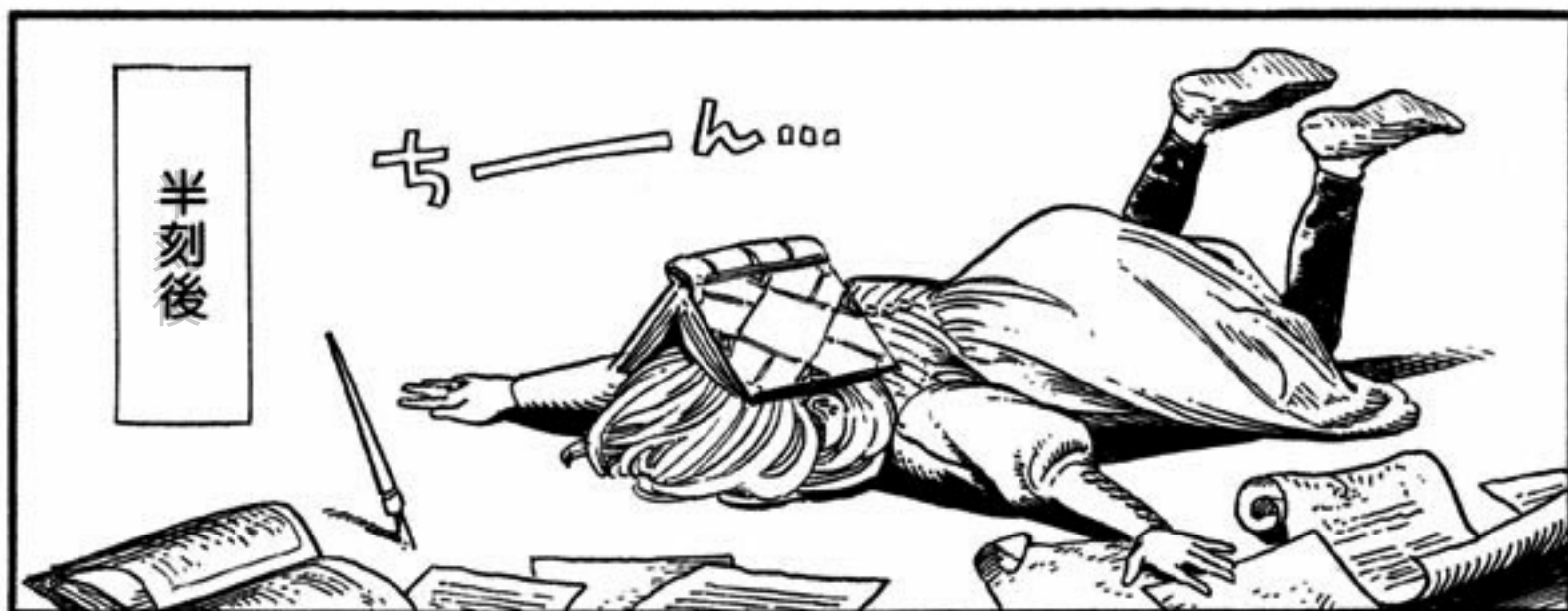










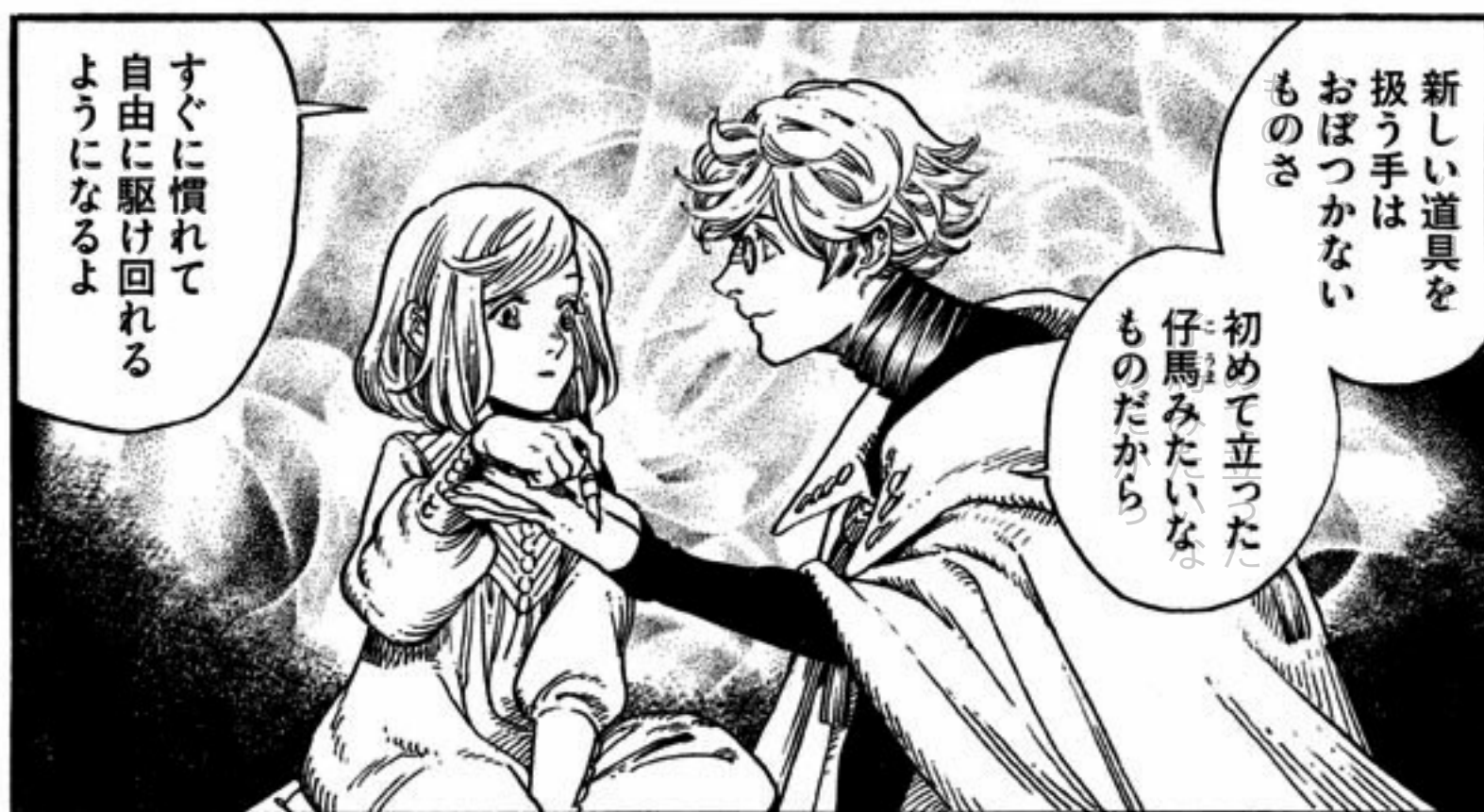
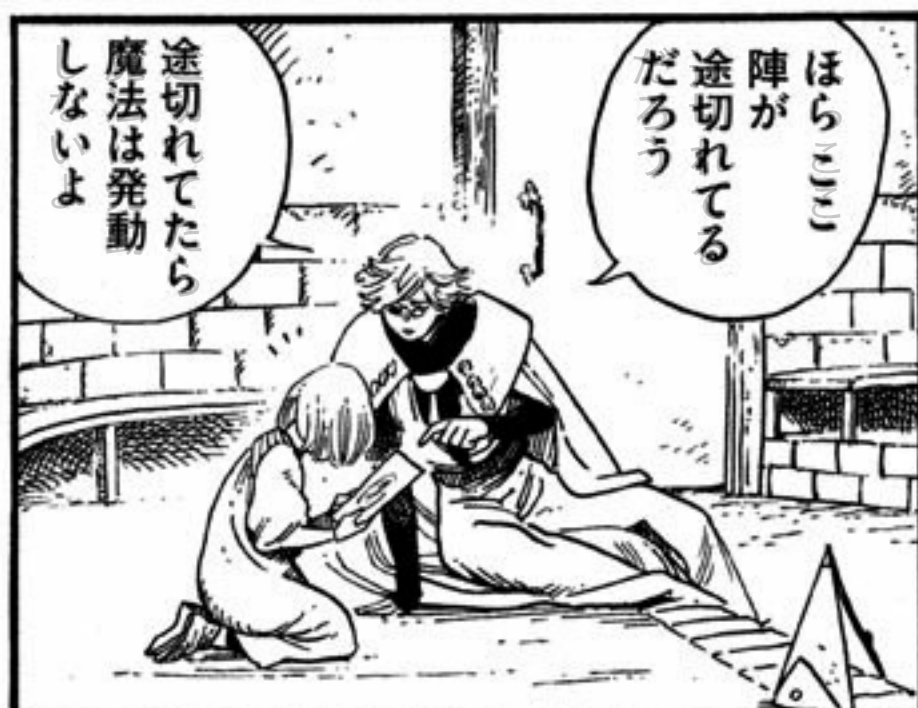












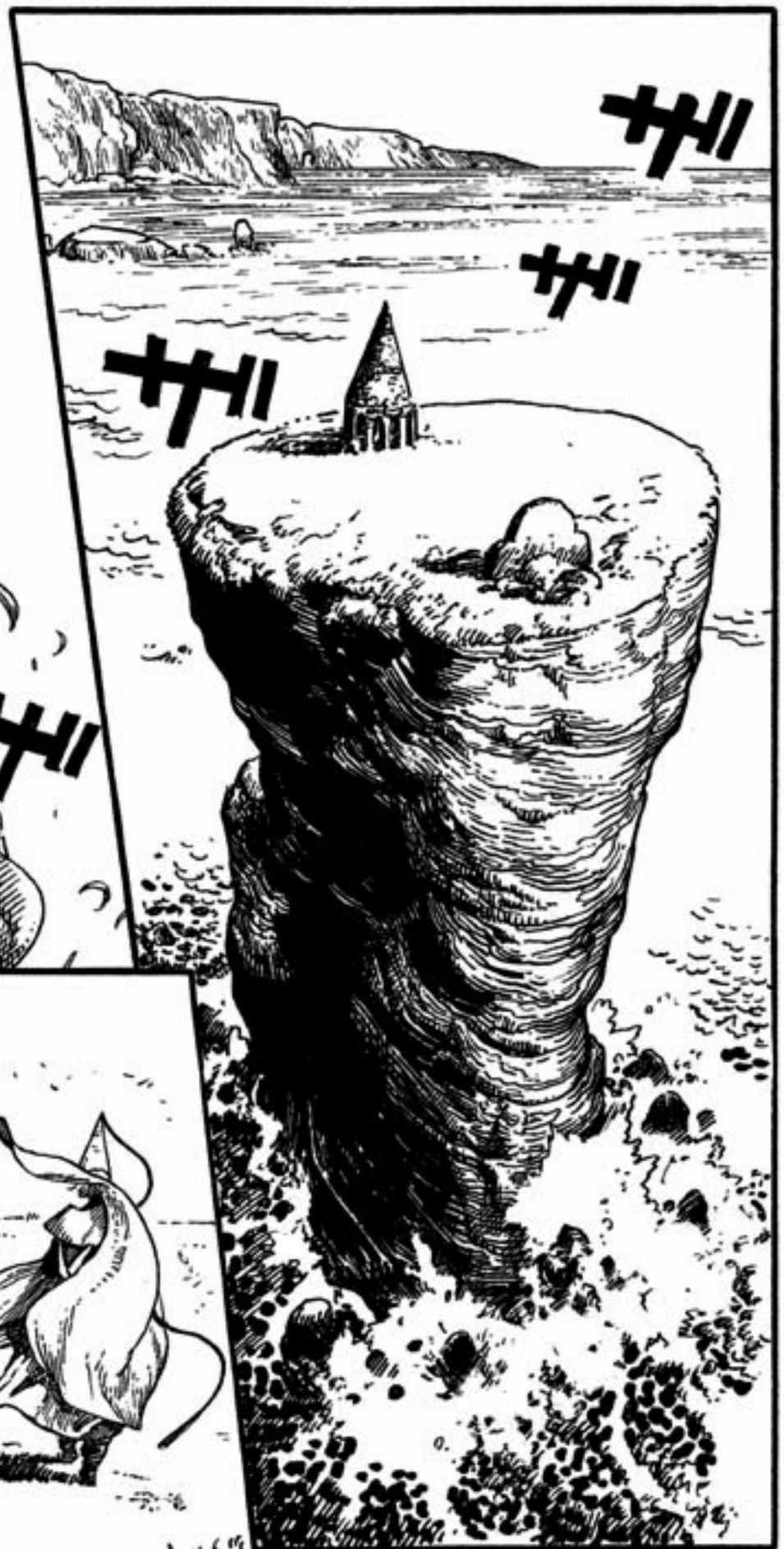
















大講堂の
問題児め



お前がこの
「海の底」に
足をつけるのも
久し振りだな



昔の話だよ
アライラ



だって
関係あるかも
しれないんだろ？



もう
知ってるの？
噂の足は
速いなあ…

どう
かな…
まだ
とんでもないことを
やらかしたそう
じゃないか

聞いたぞ
新しい
弟子のこと！



「つばあり帽」の
連中と



そういう
わけじゃ
ないよ



禁止魔法が
使われたのは
4年振り

大事な
手がかりだ…
手元に置きたくも
なるよな。



早すぎるよ…
それに
時期も悪いし



試験がまだだから
正式な弟子でも
ないしね

なんだ
まだなのか？



ああ…そうか
いまの時期
試験会場の
ダダ山脈は…

一年で二番
標高が…
高い

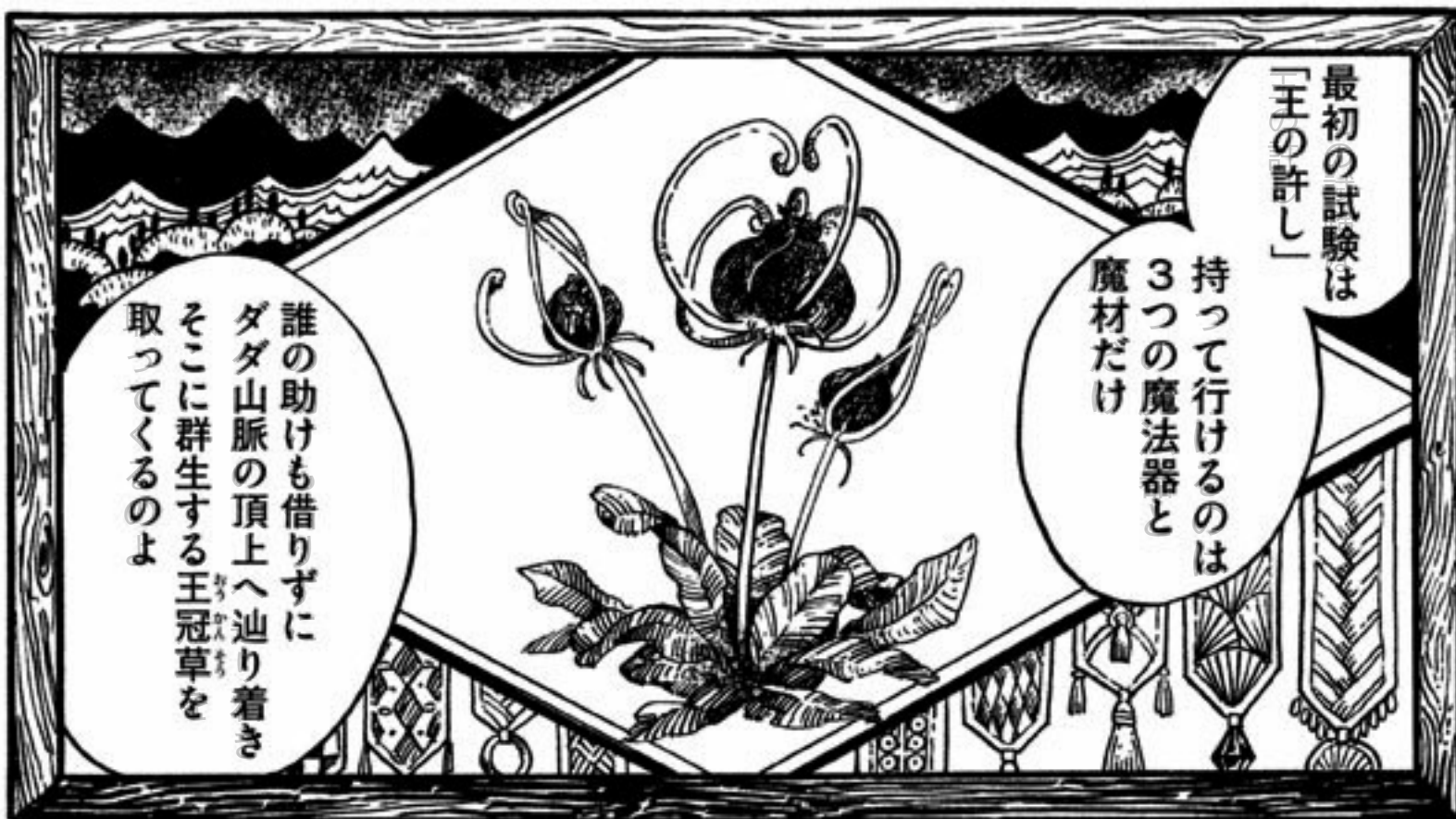


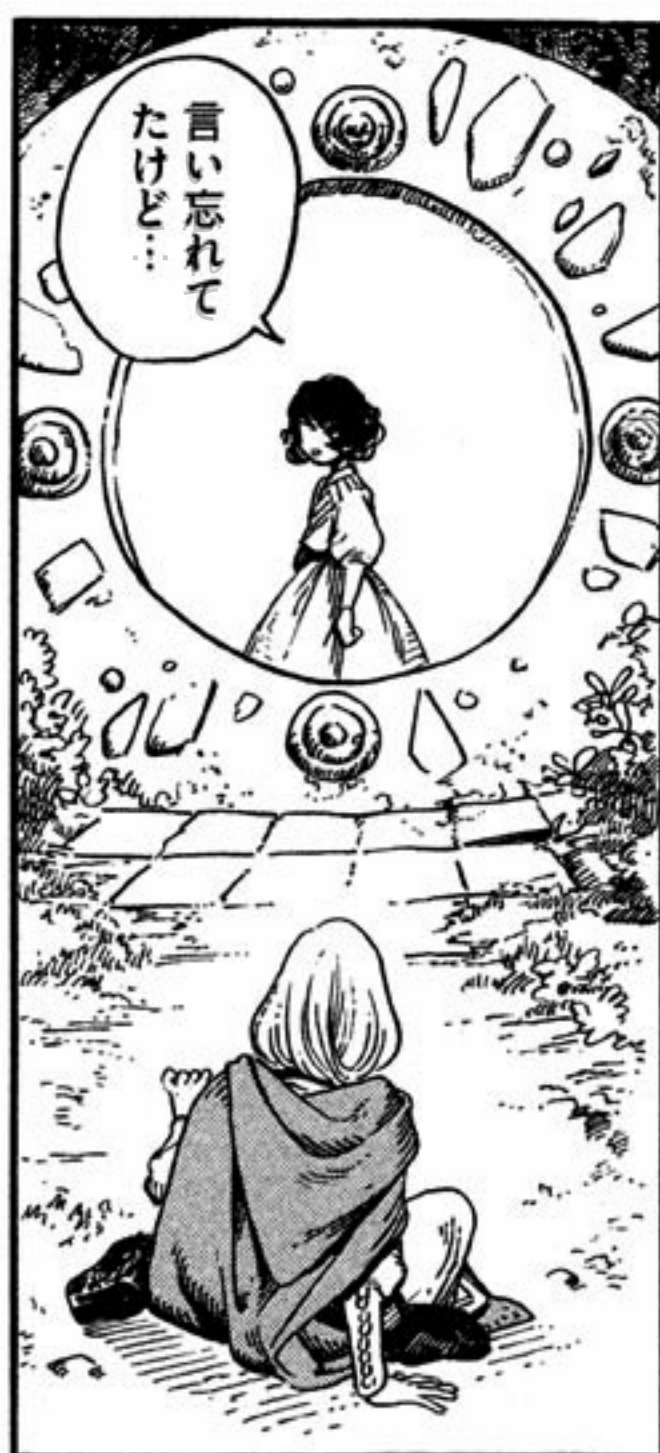
こんな時に
試験は受けさせ
られないよ

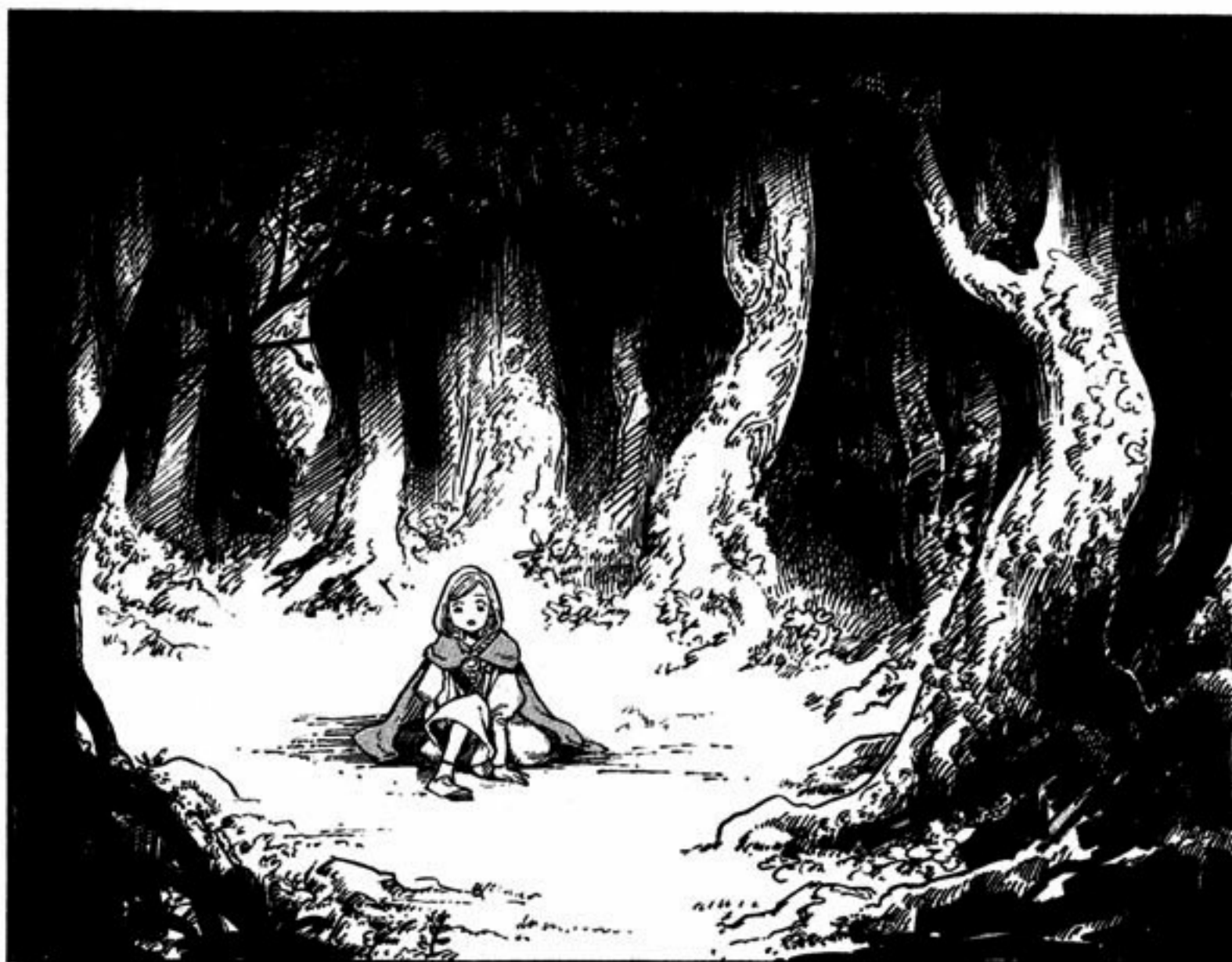
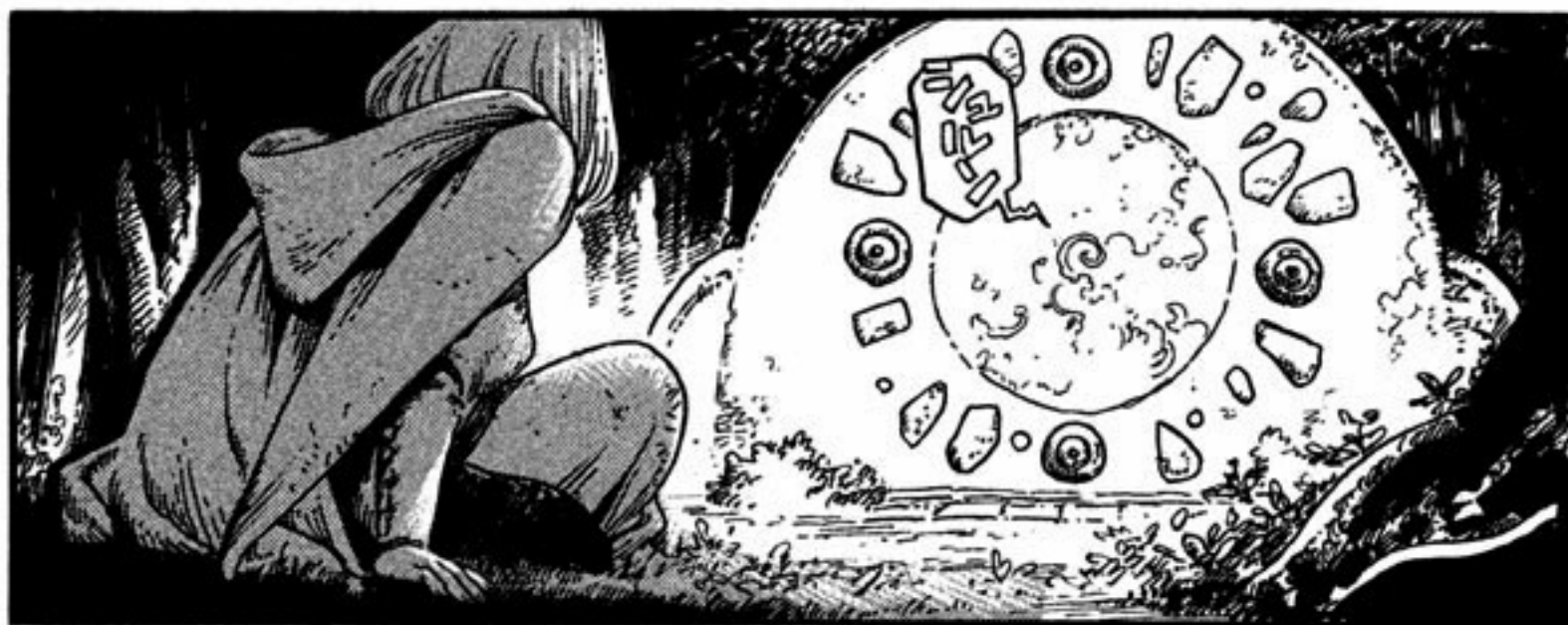
命に
かわる
もの

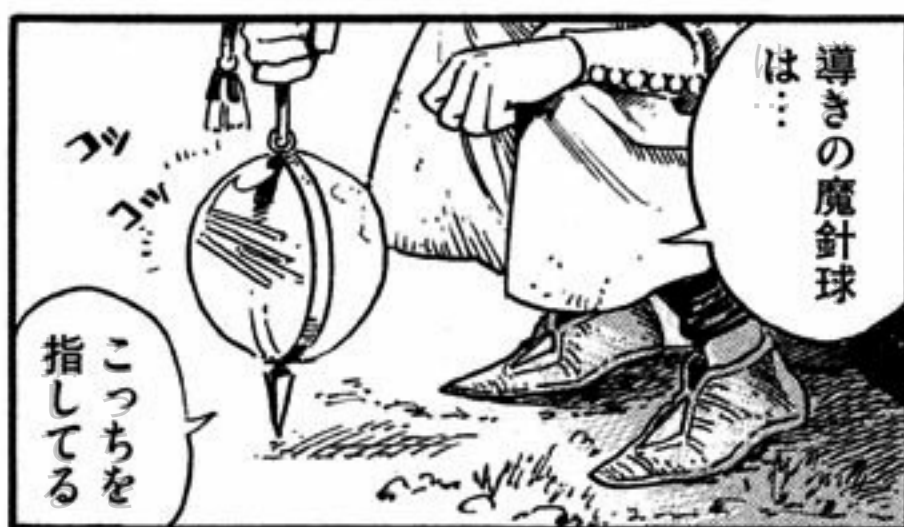
ねえ













とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT





ダダ山脈の
頂上に生えてる
王冠草を
取ってくるのが

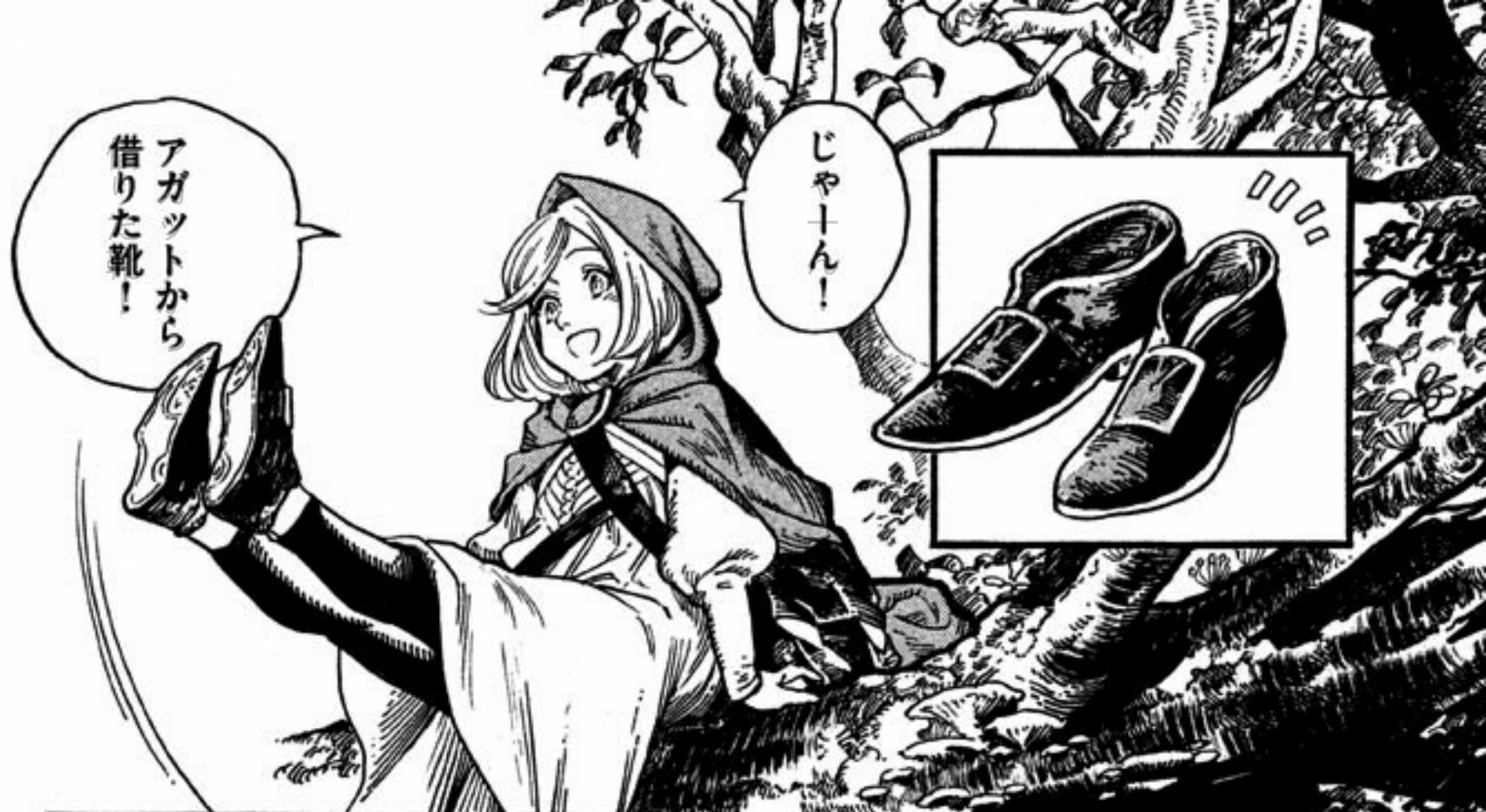
魔法使いの
弟子に
なるための
試験……

導きの魔針球は
上を指してる

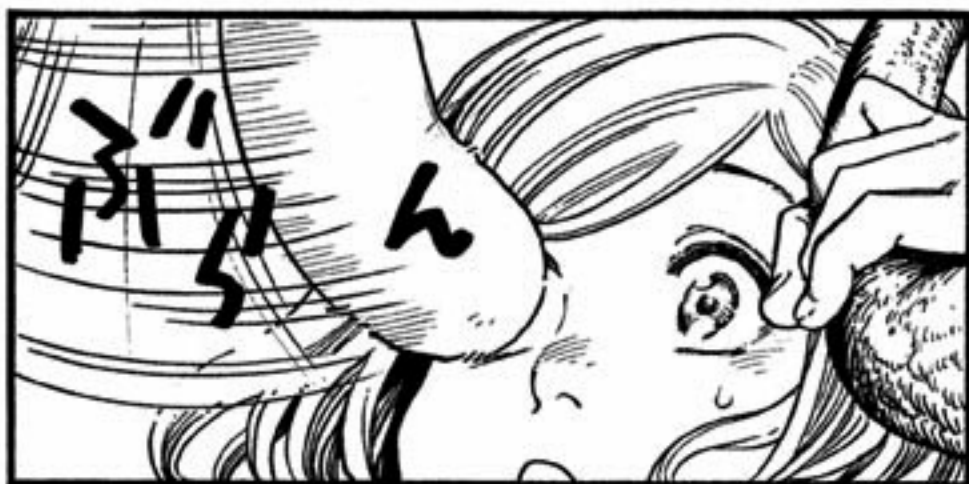


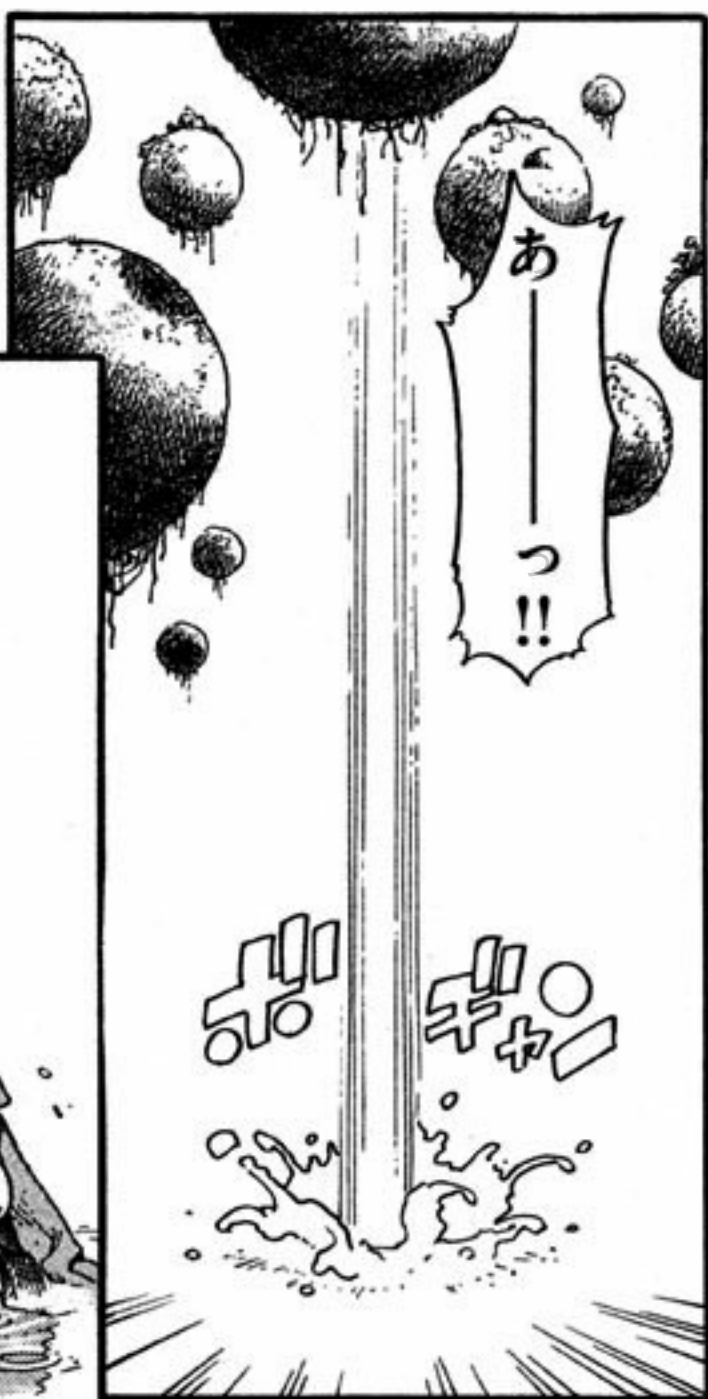
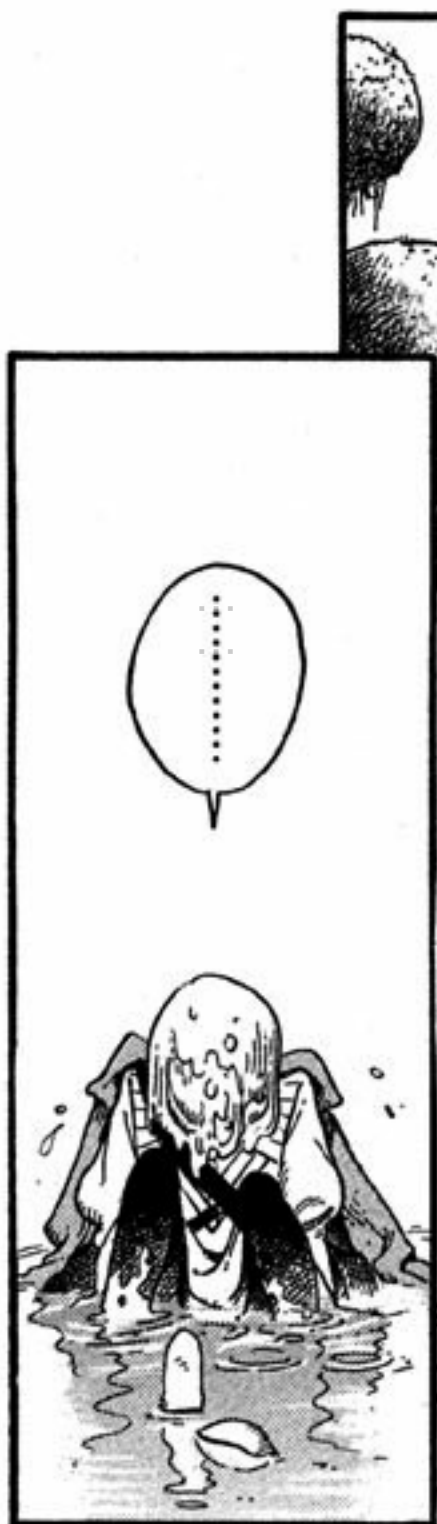
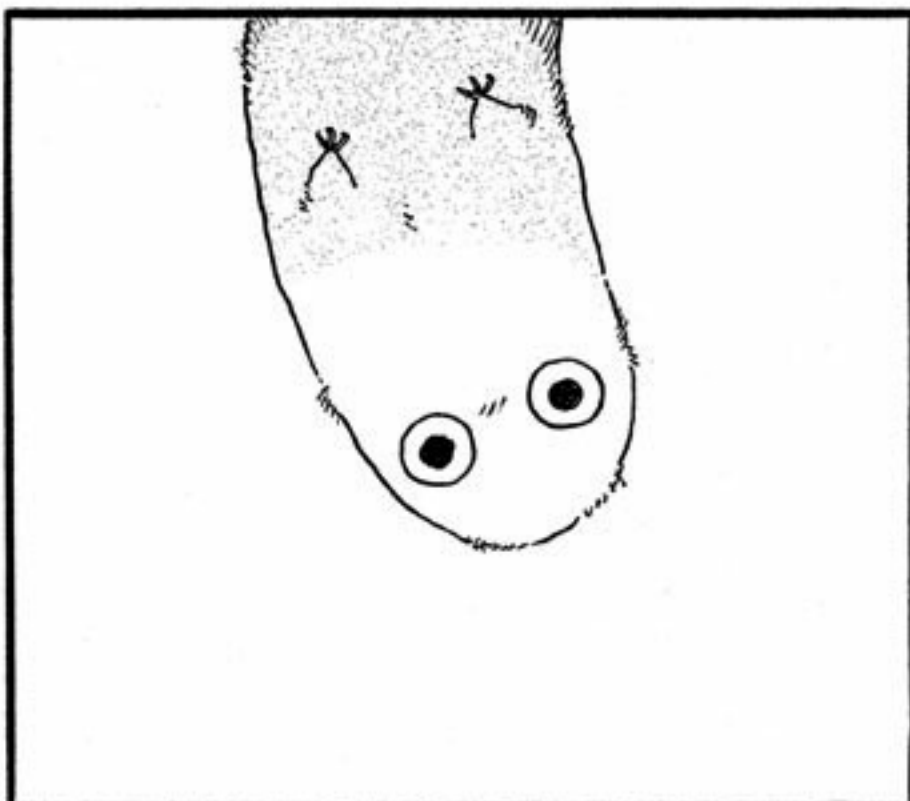
やっぱり
あそこ
なんだ……
まさか
空に浮いてる
なんて……

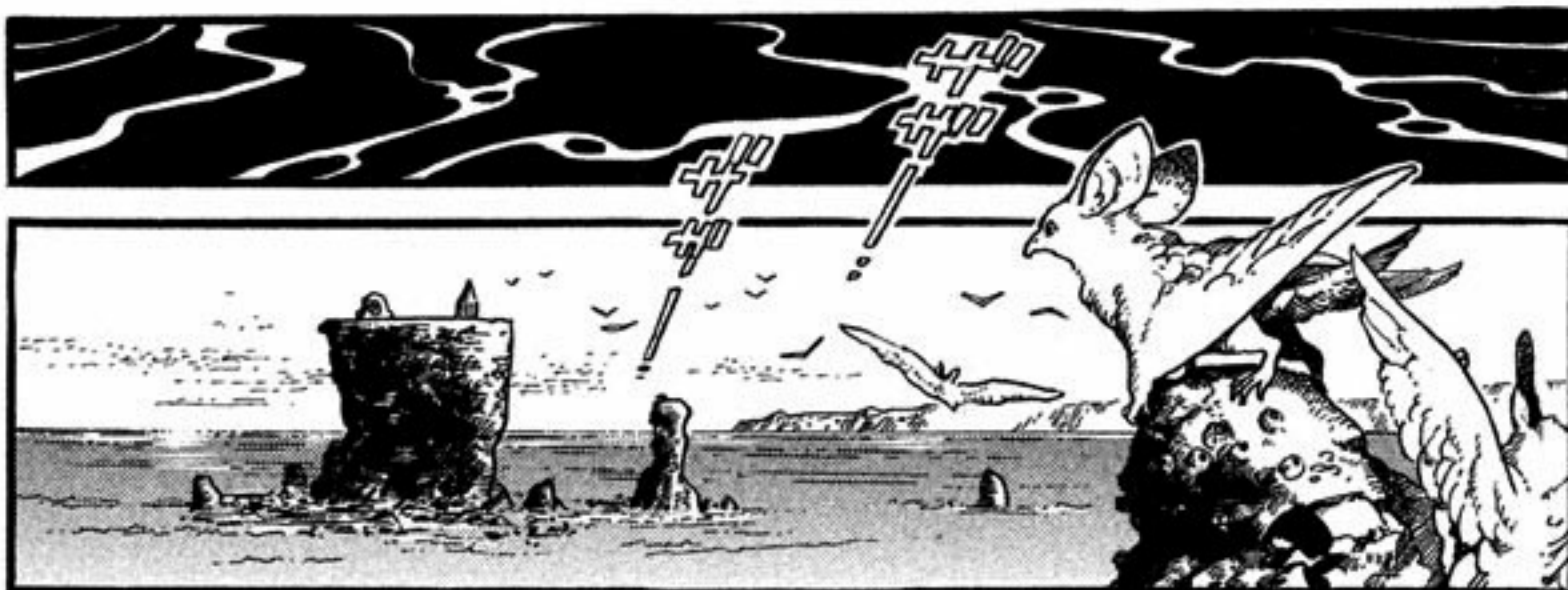
でも
あの魔法器が
ある！









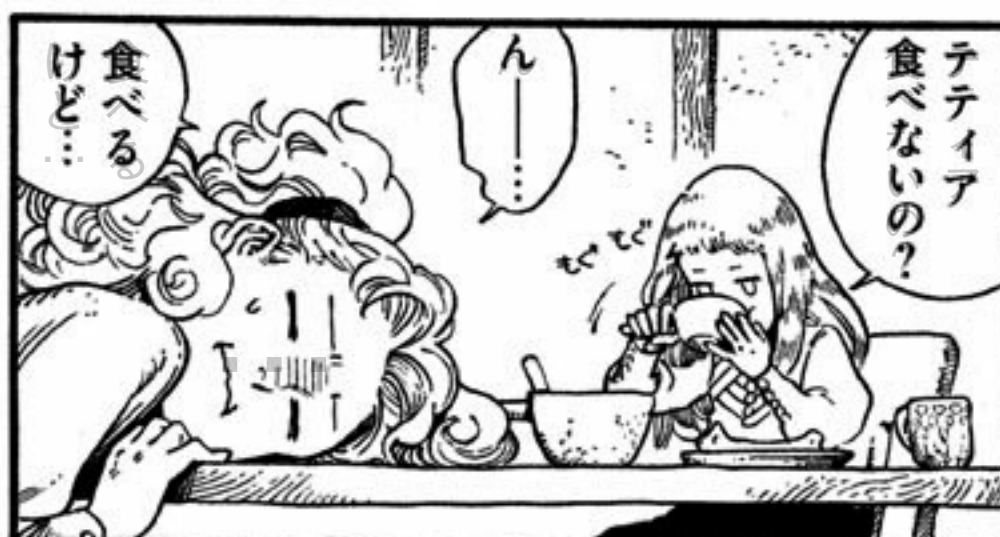
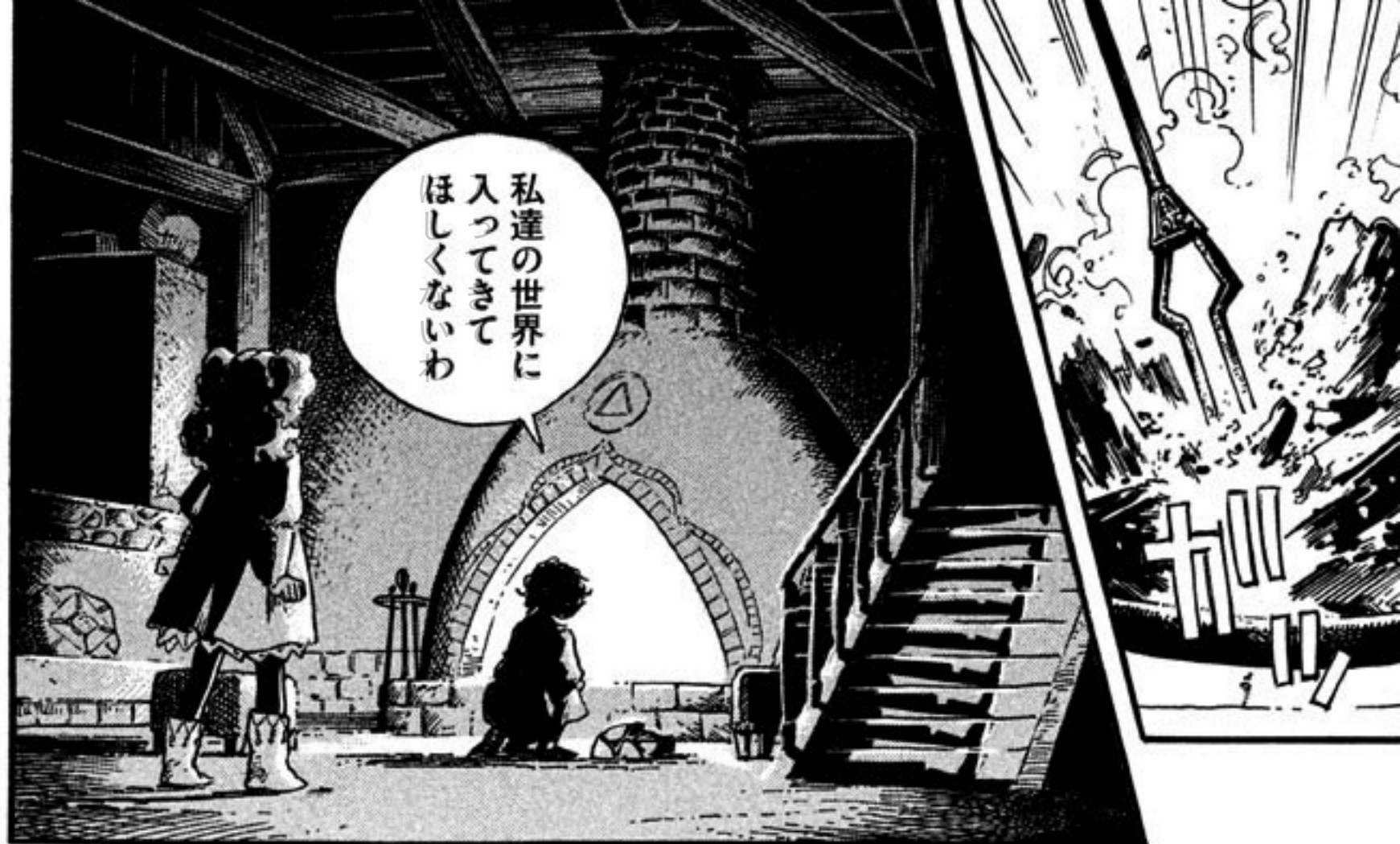


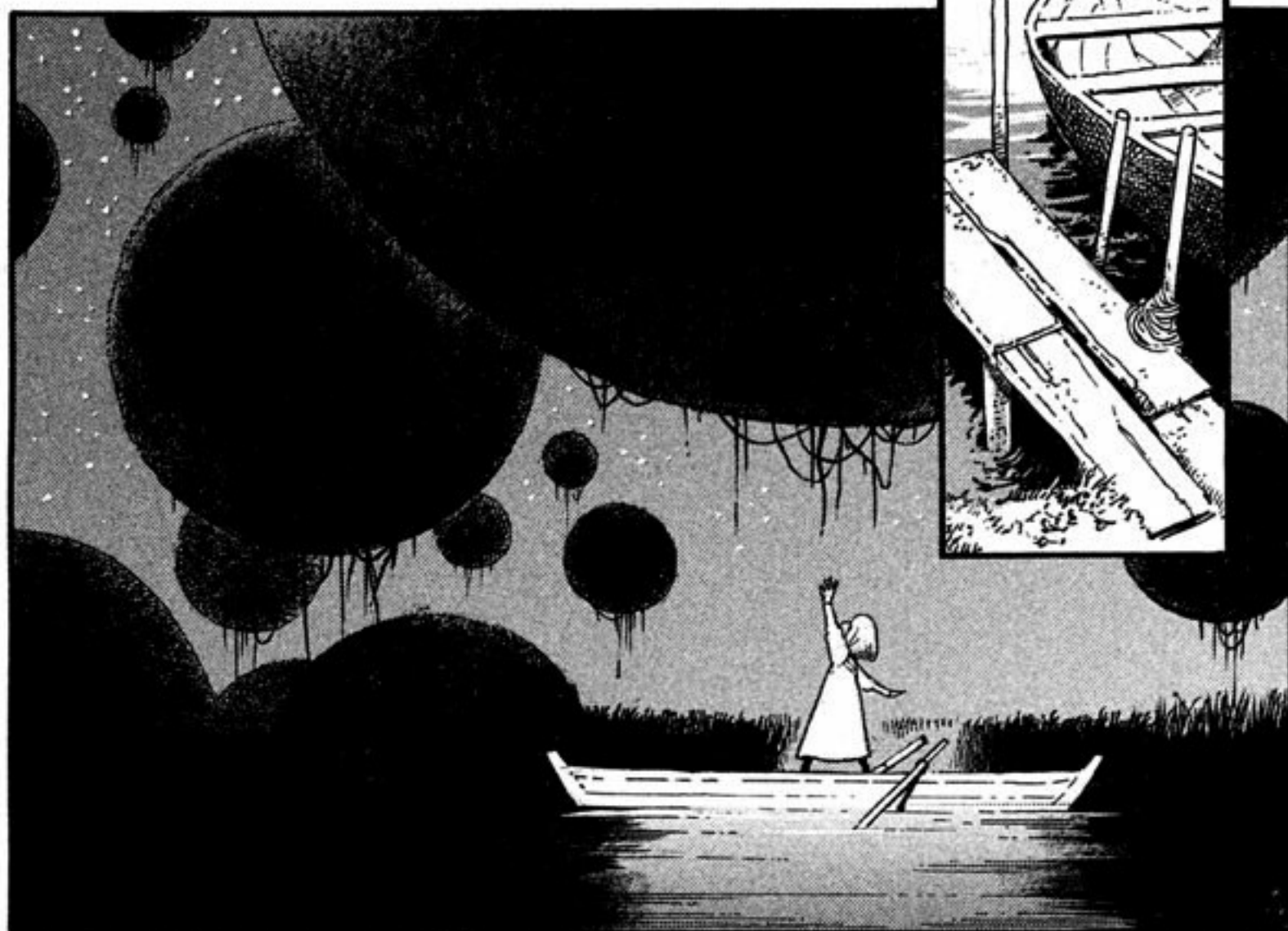


















皆小さな頃から
ずっと魔法を
描いてきてるん
だもんね

私に出来る
事なんて…



この村に
こんな素敵な
職人がいたとはね



これこそ
魔法だ

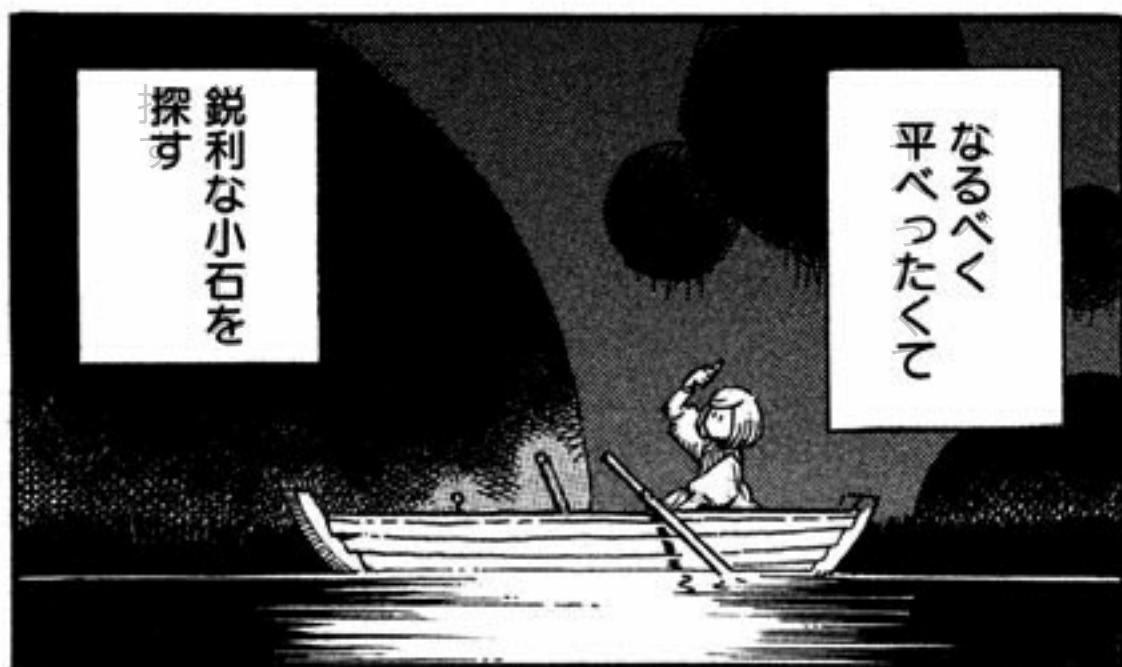


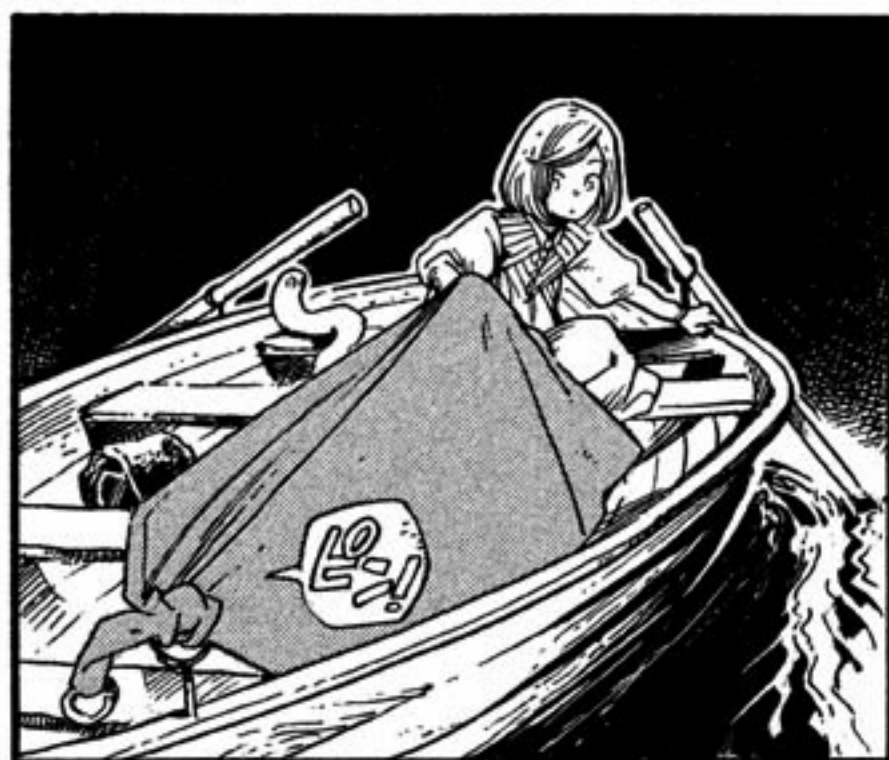
ある！
私の魔法！



やっぱり
魔法使いは

特別な
素質のある人しか
なれないのかな…

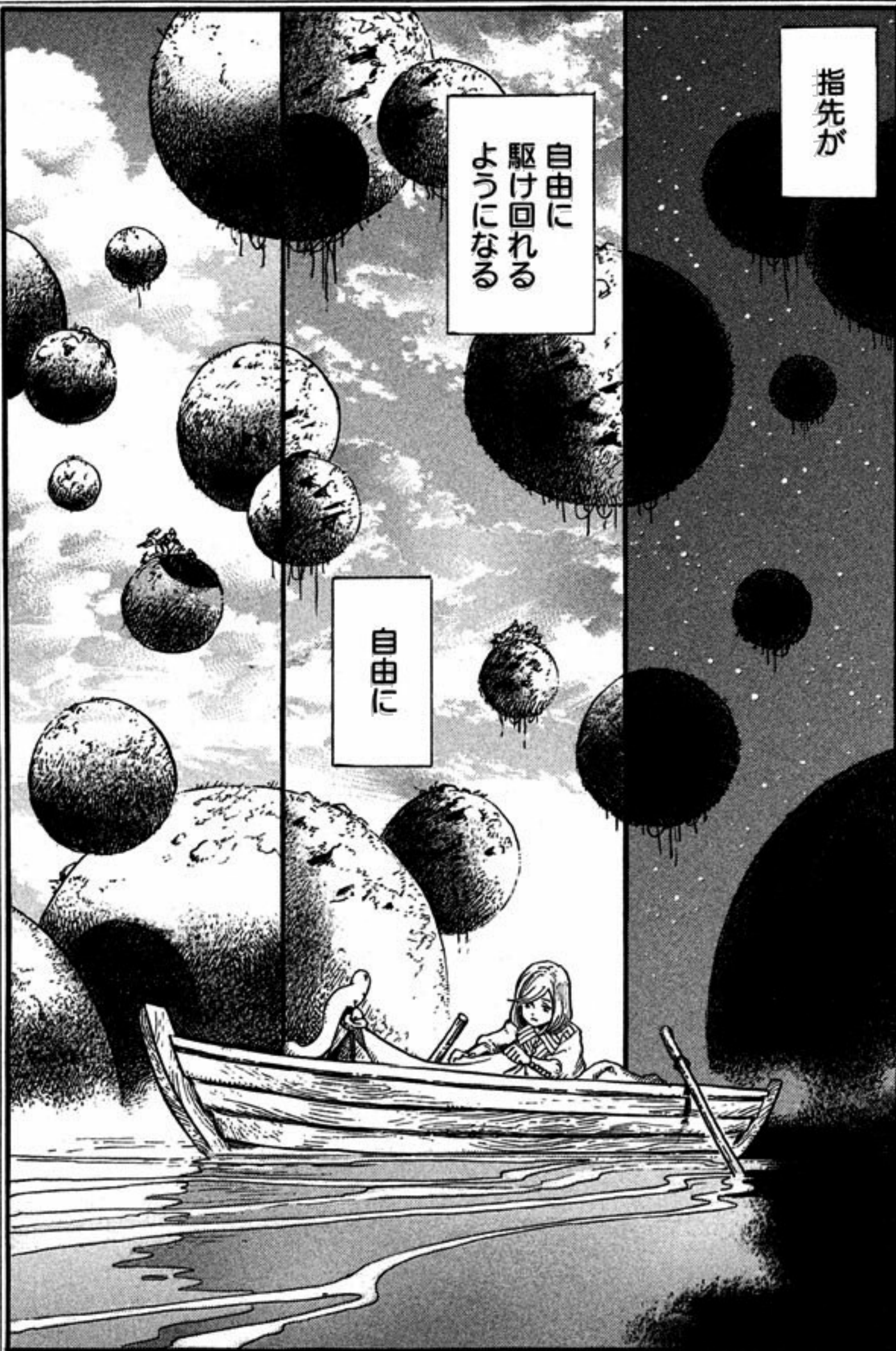


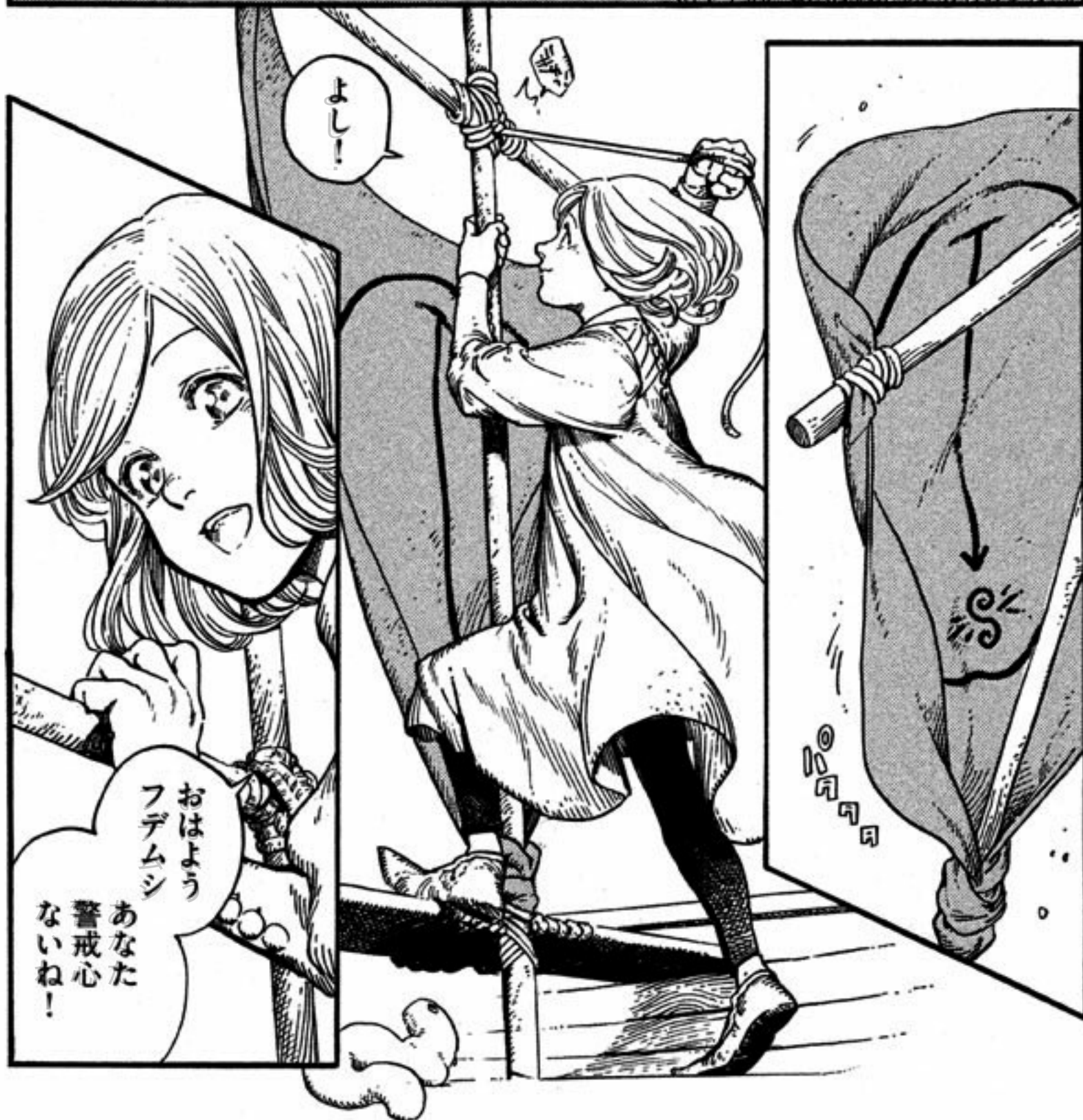
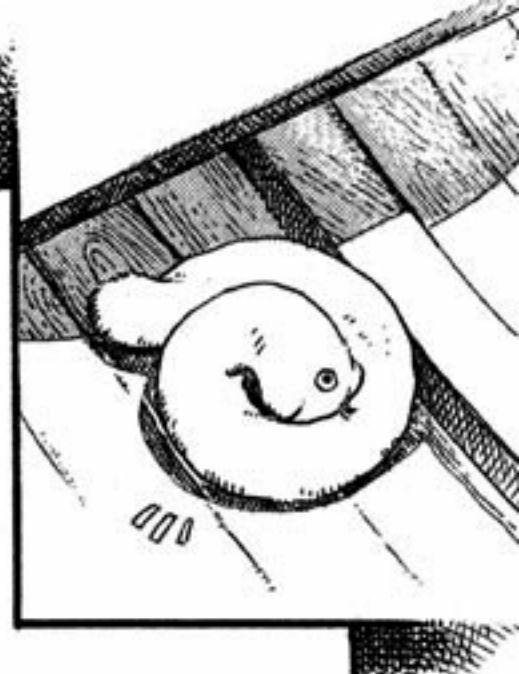


指先が

自由に
駆け回れる
ようになる

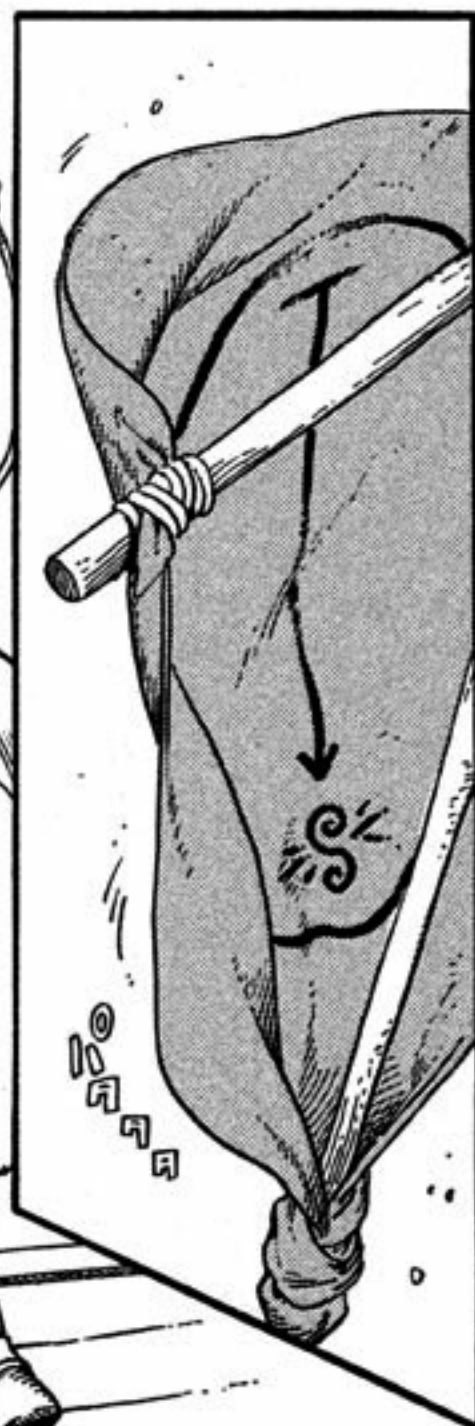
自由に

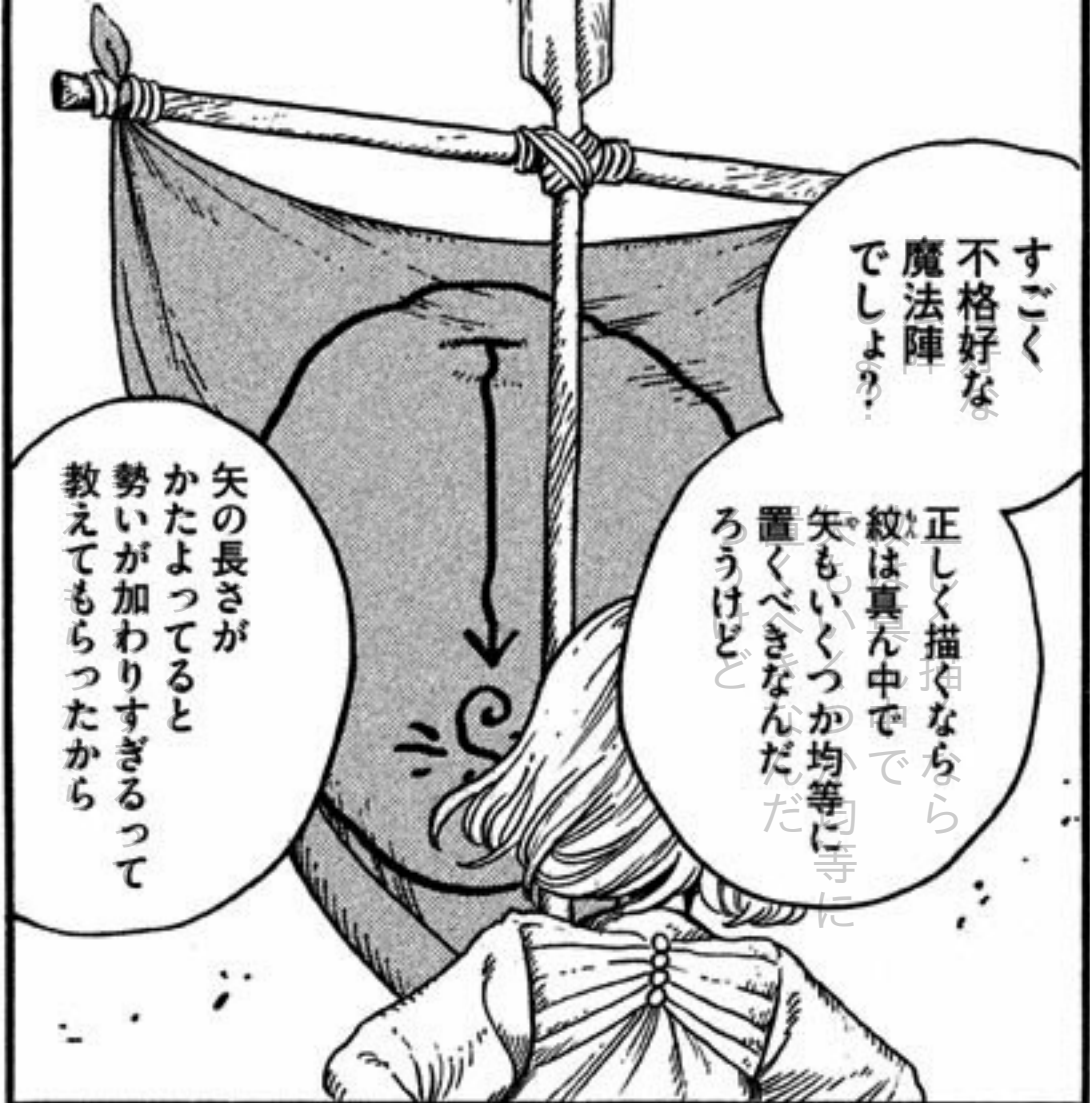




よし!

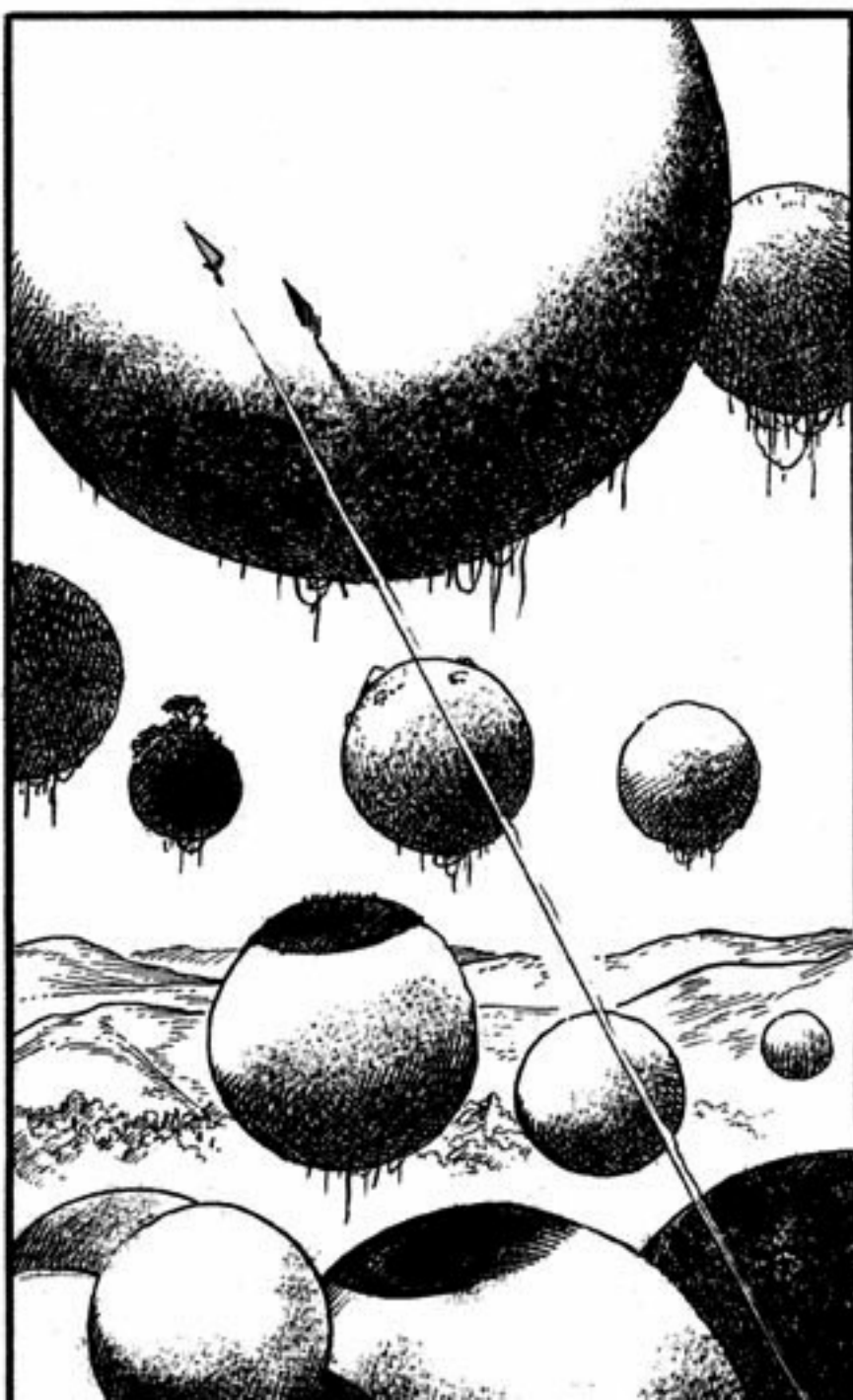
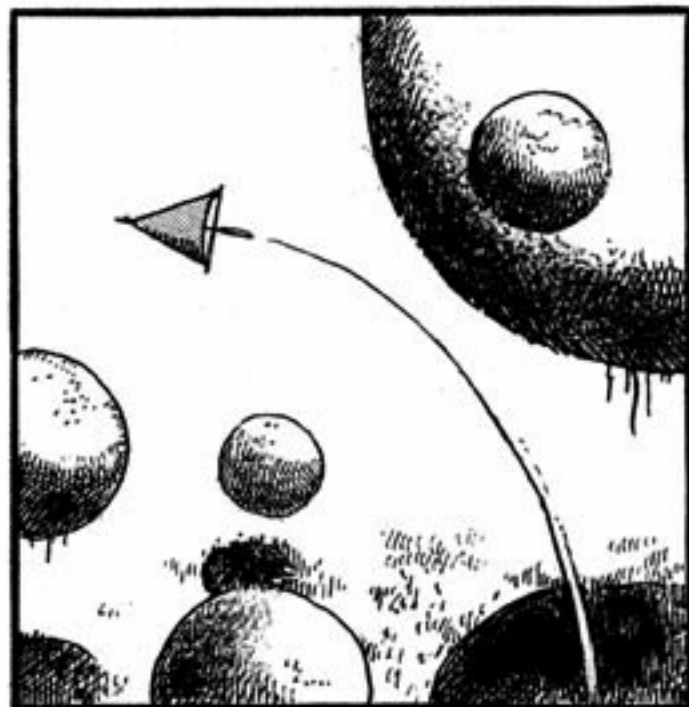
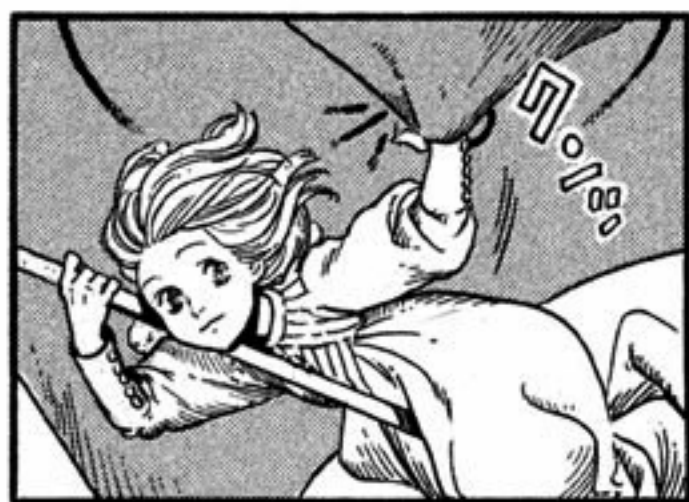
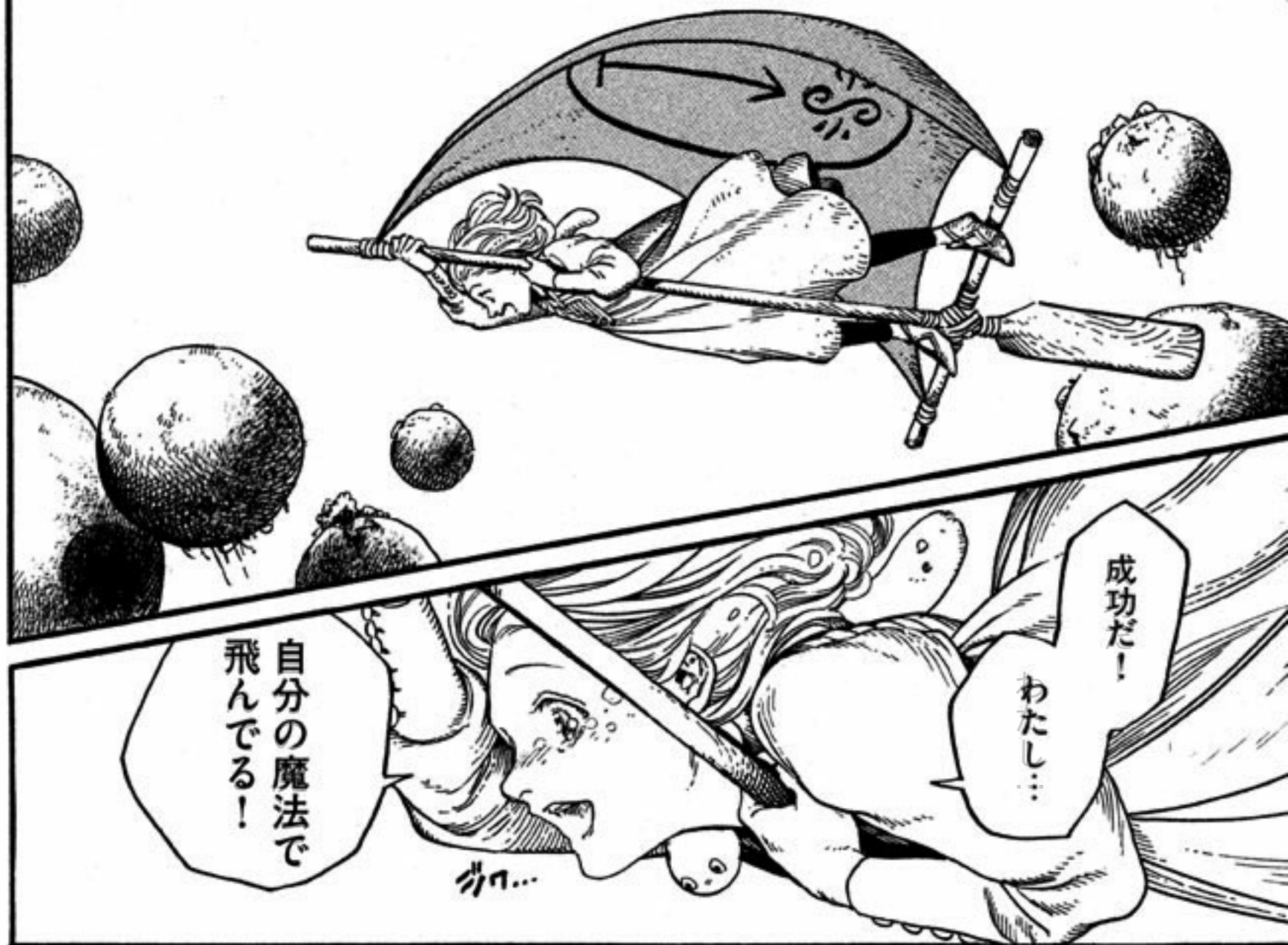
おはよう
フデムシ
あなた
警戒心
ないね!









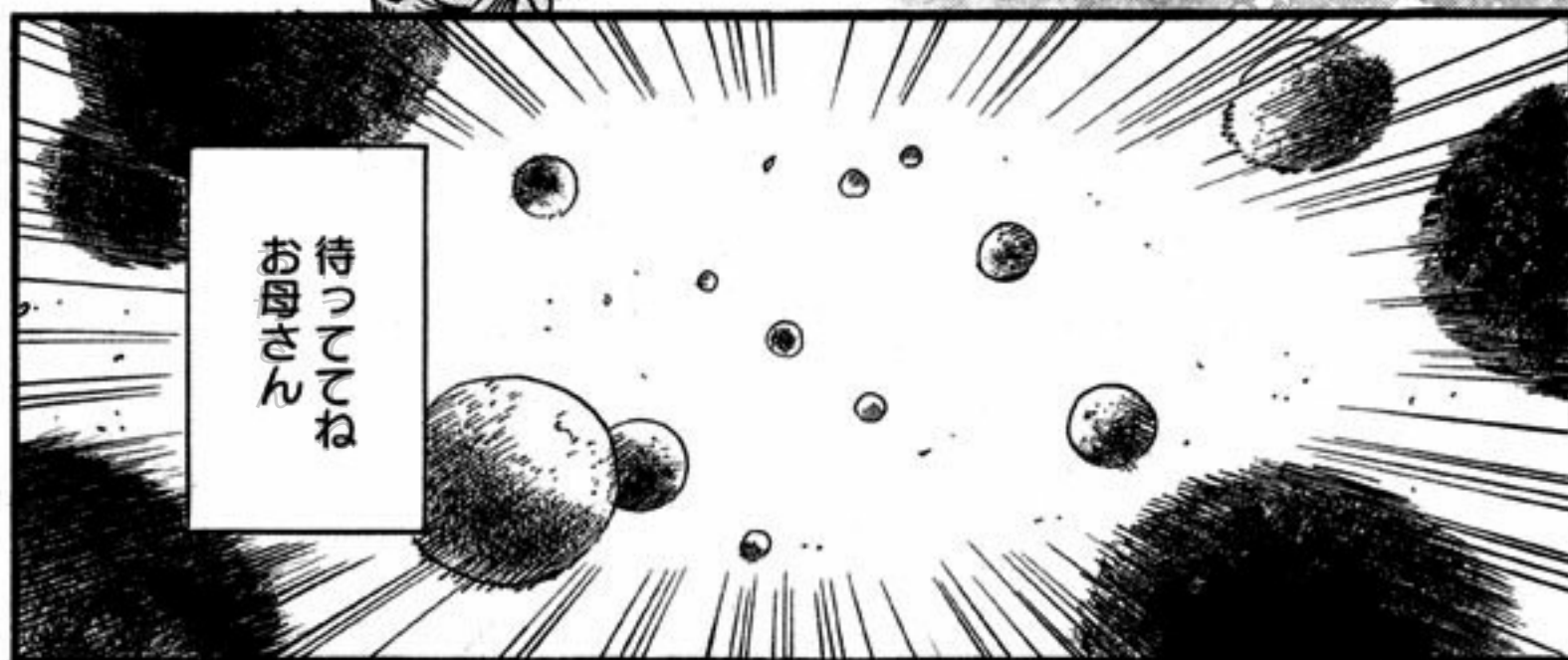




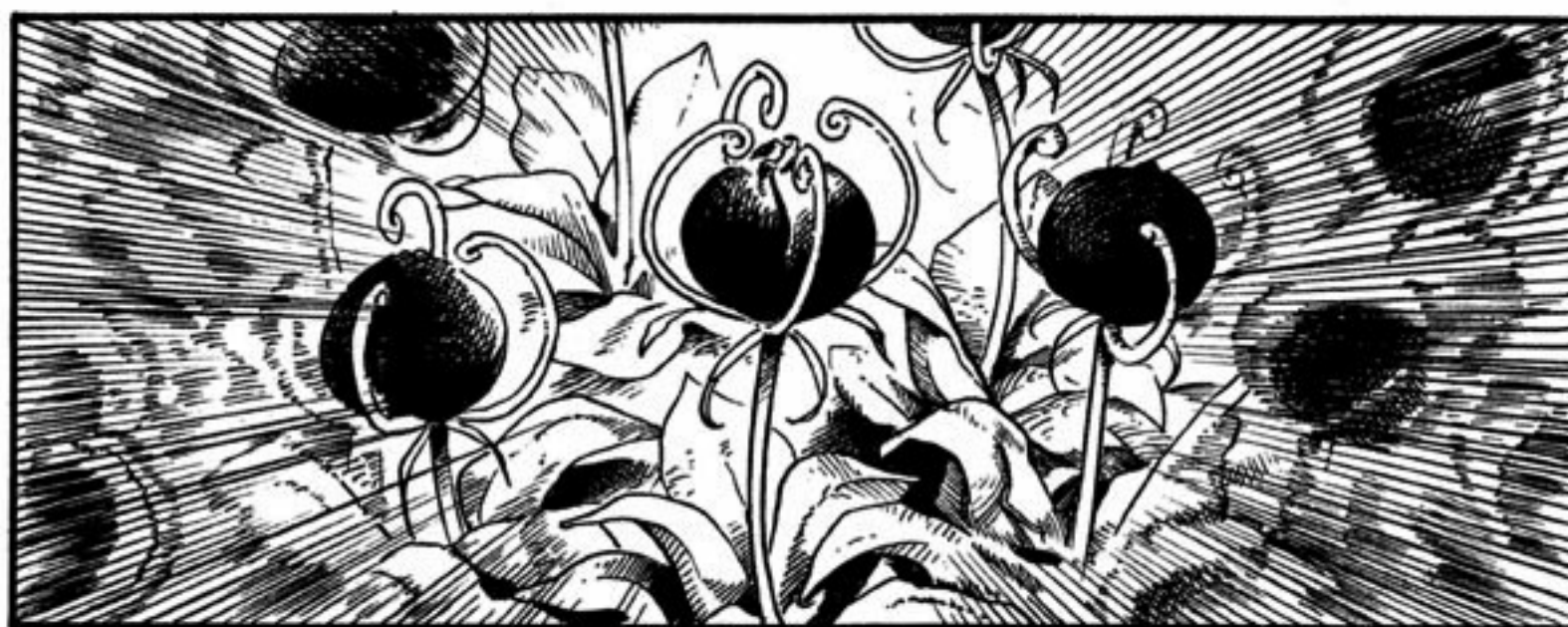
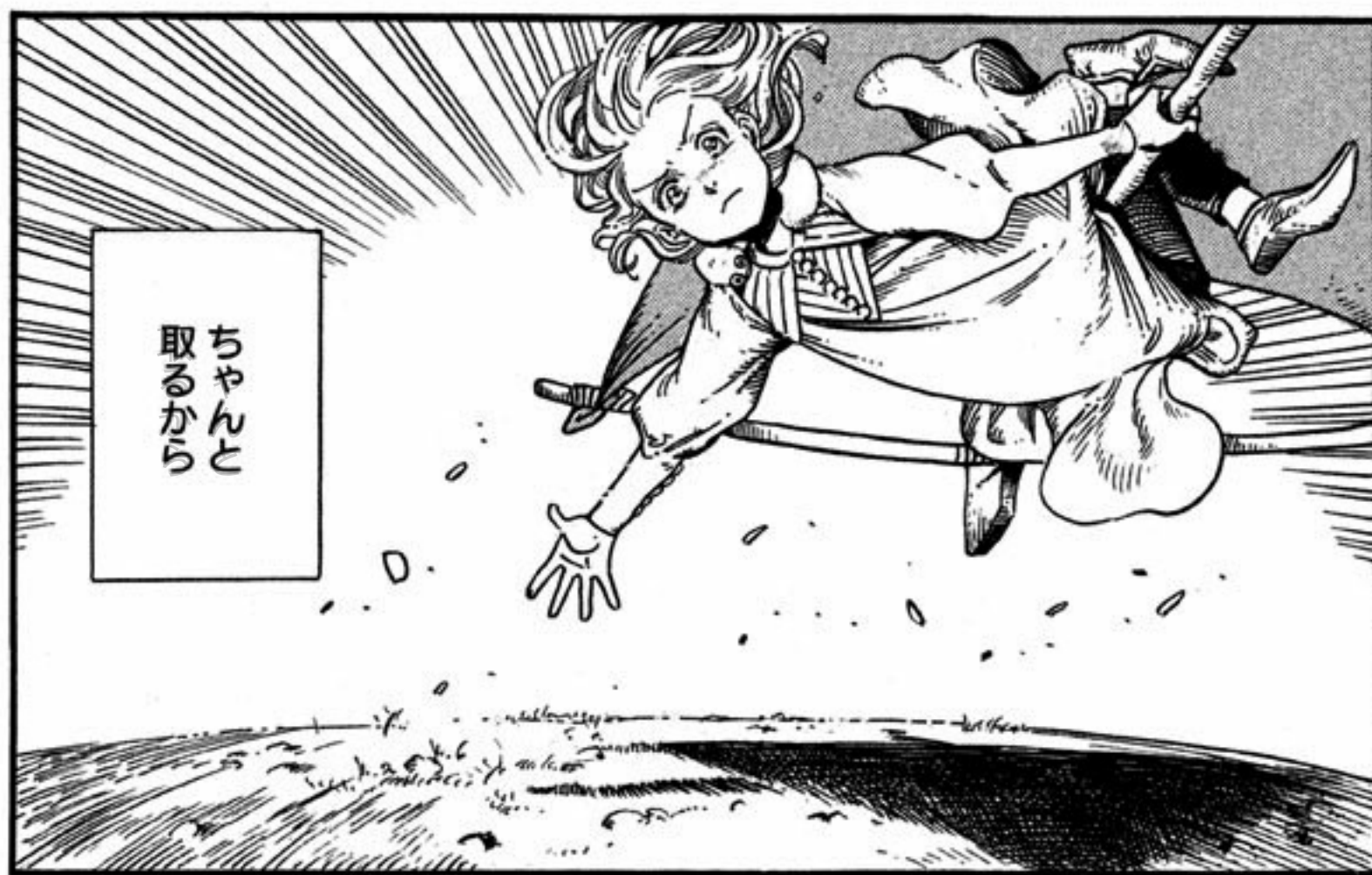
本物の
空飛ぶマントなんて
夢みたい！

お母さんの
手伝いで
覚えたことが

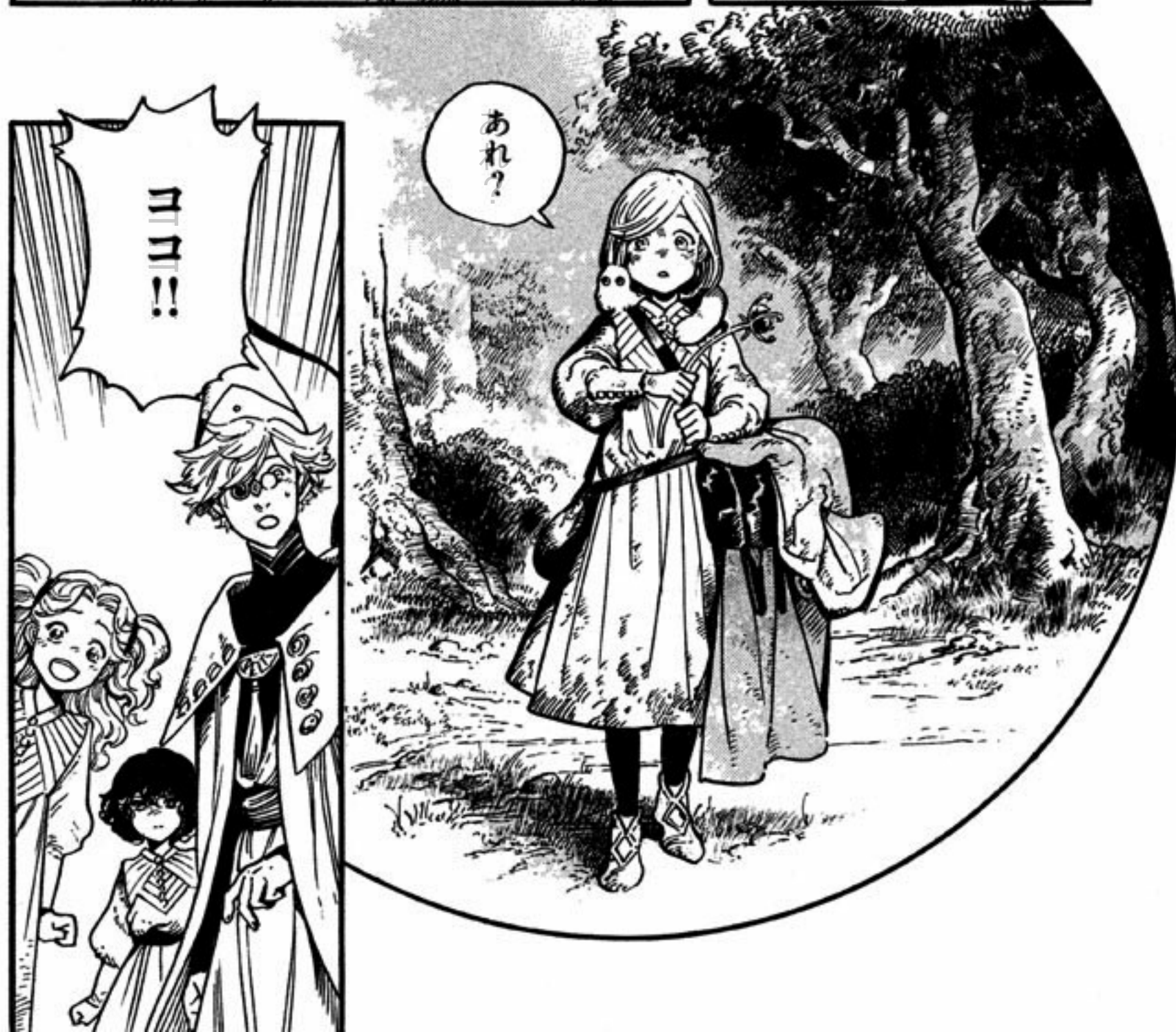
魔法の助けに
なるなんて
思わなかった



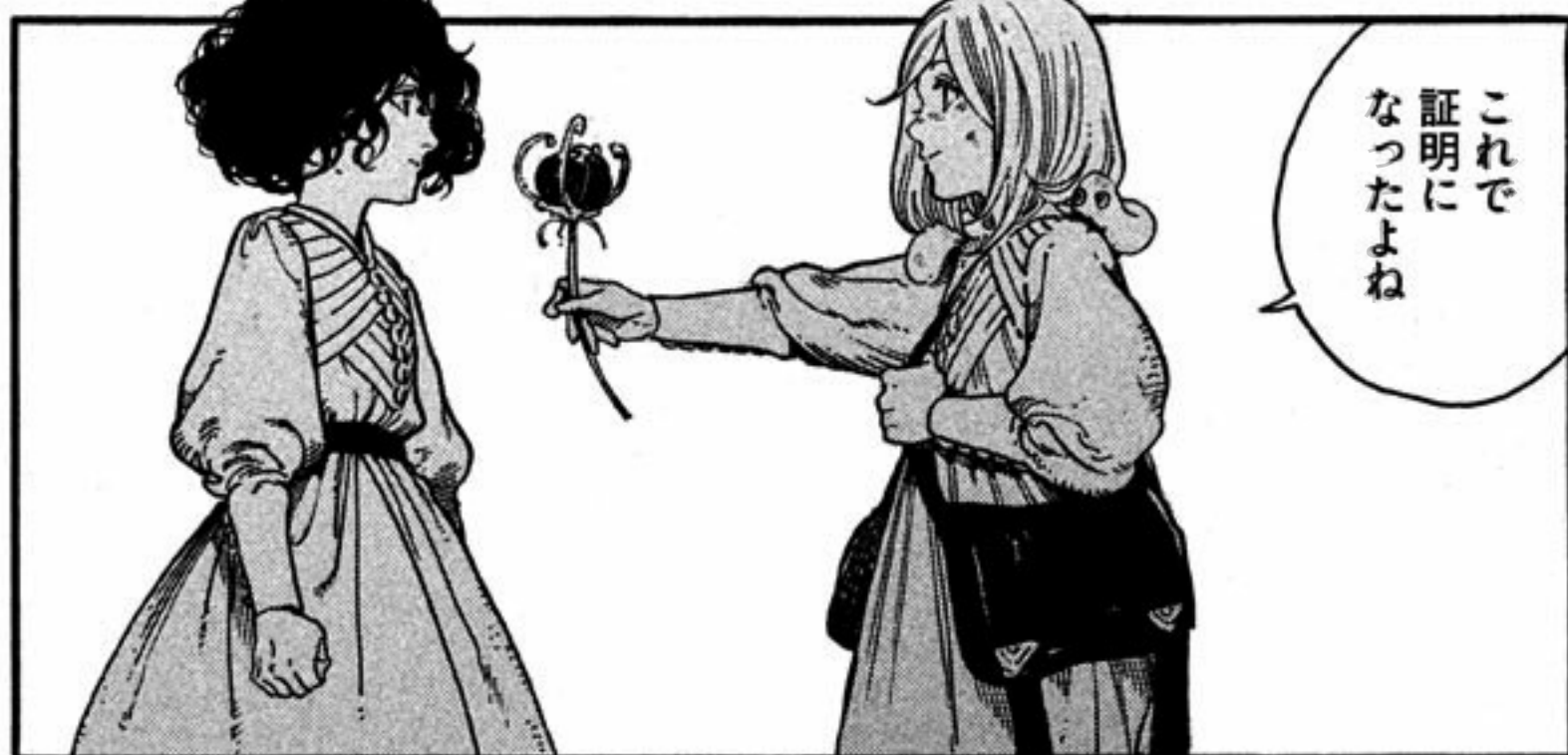
待っててね
お母さん





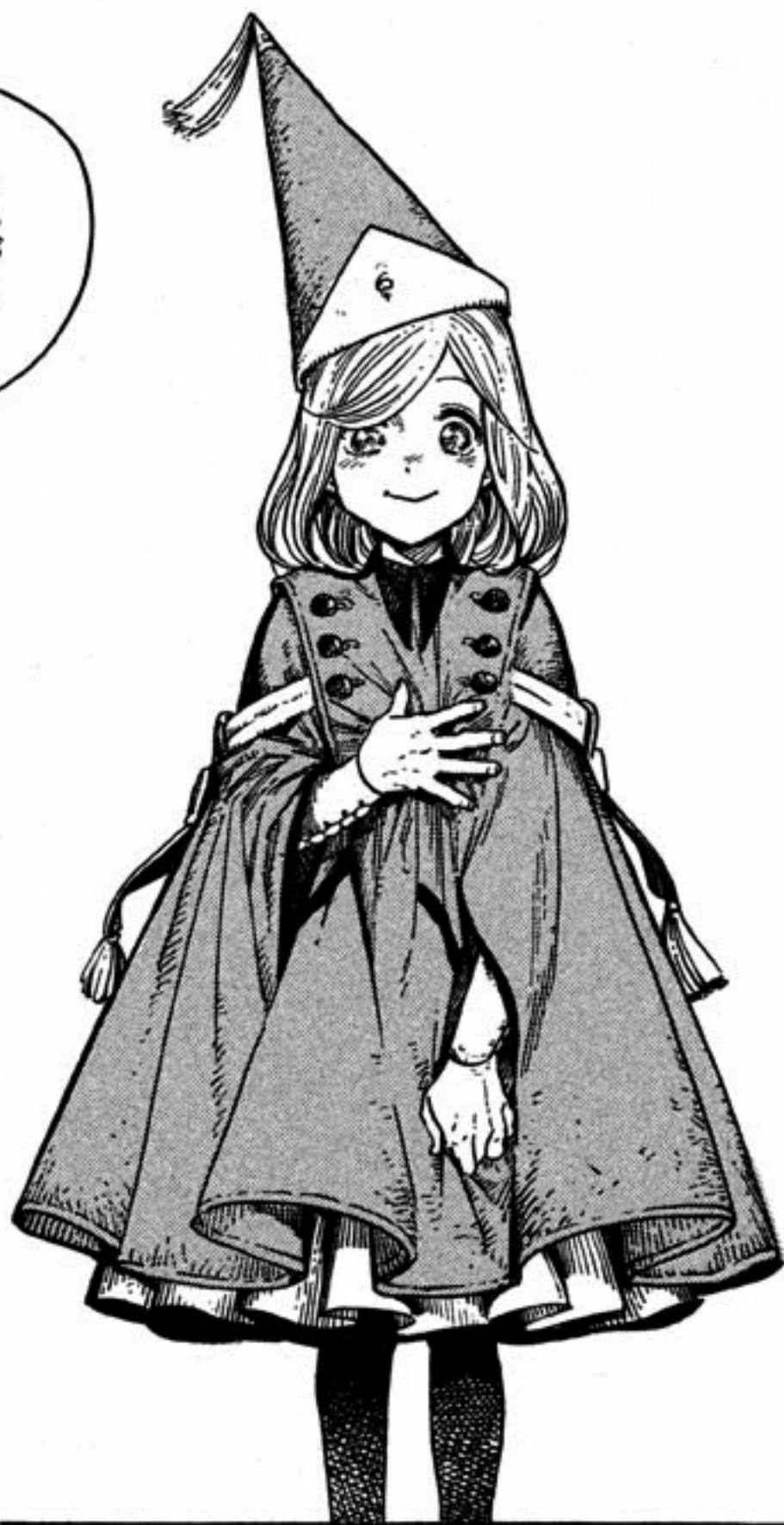












とんがり
帽子は

君の魔法を
見ている



はい！

大事に
するんだよ





とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT



数ある魔法の紋の中でも魔法使いたちは次の4つを四大基礎魔紋と呼んでいる

岩を砂へ砂を岩へ変化と移動を可能とする力の紋(旧・地の紋)

すべてを潤し命の源を制御できる水の紋

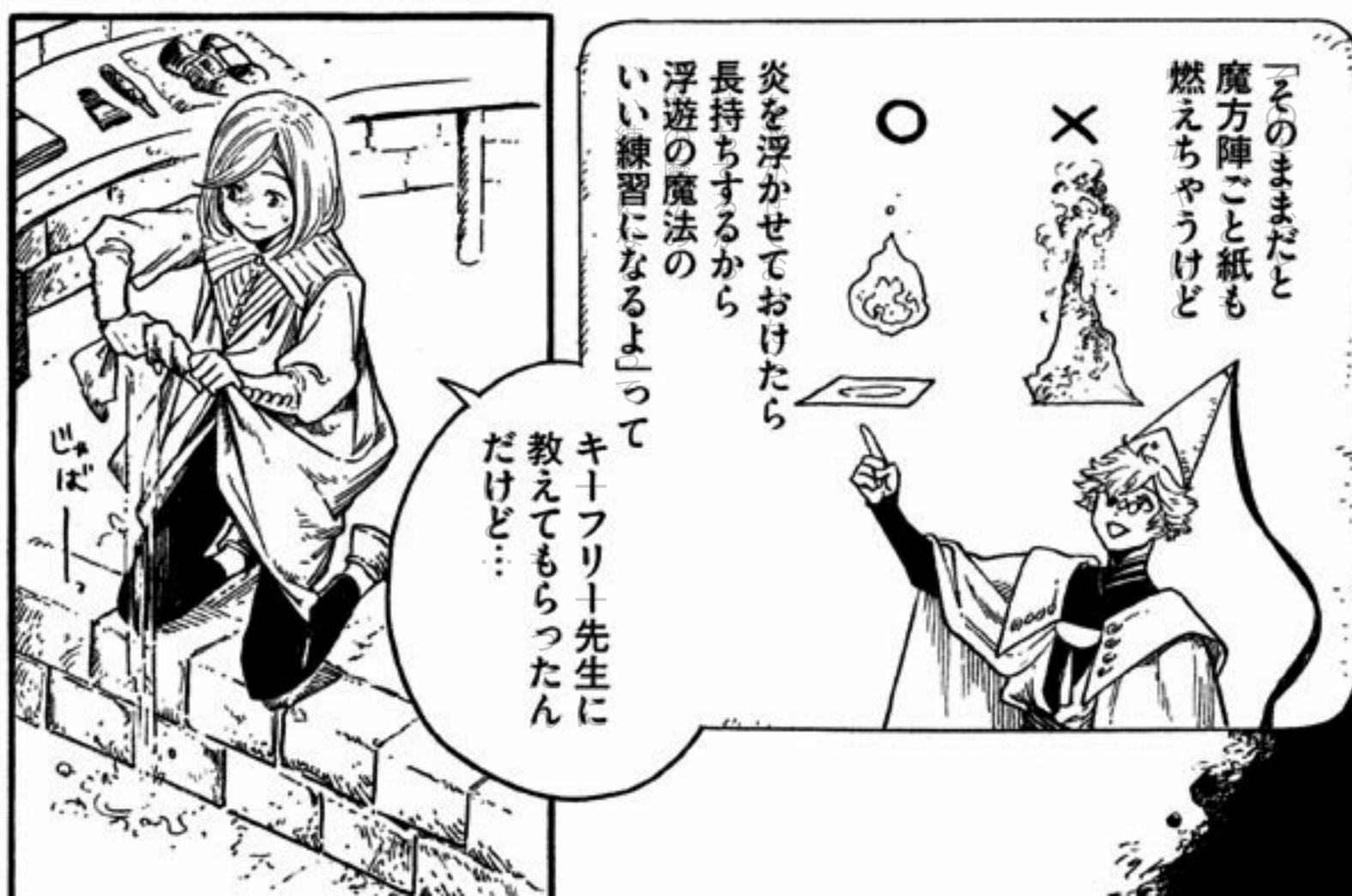
そして人々の剣となり盾となった炎の紋

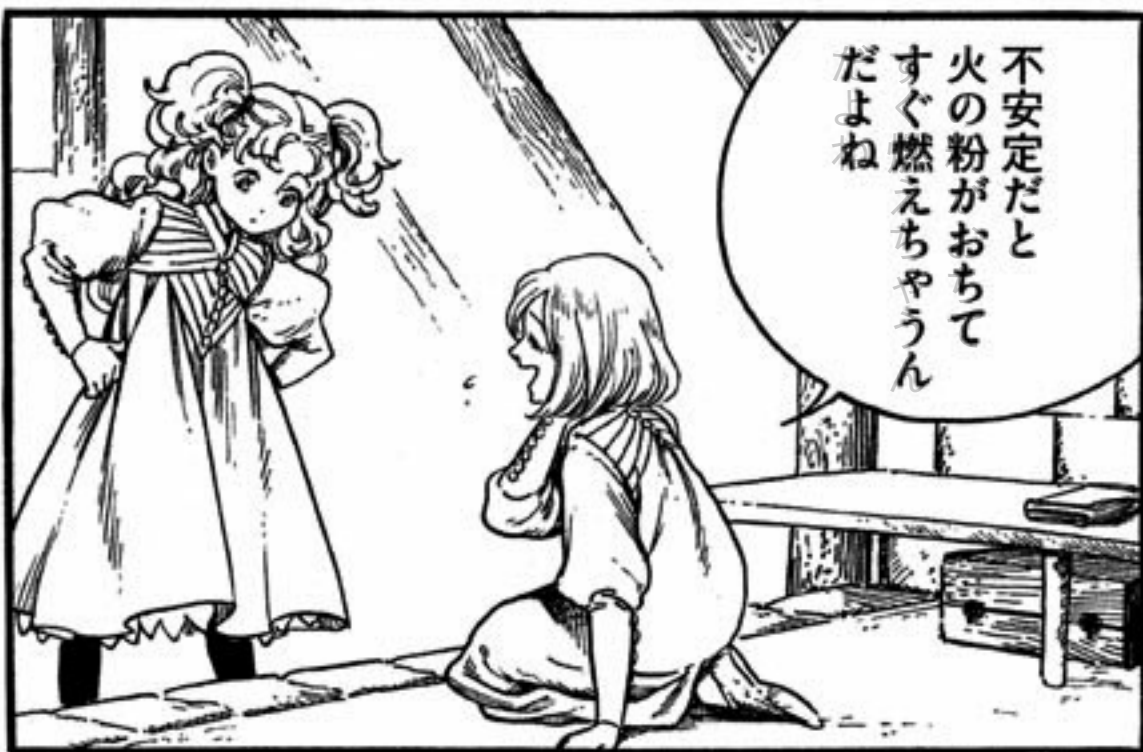
足を運べぬあらゆる地への旅の不可能をなくし進歩を生んだ浮遊の紋(旧・風の紋)

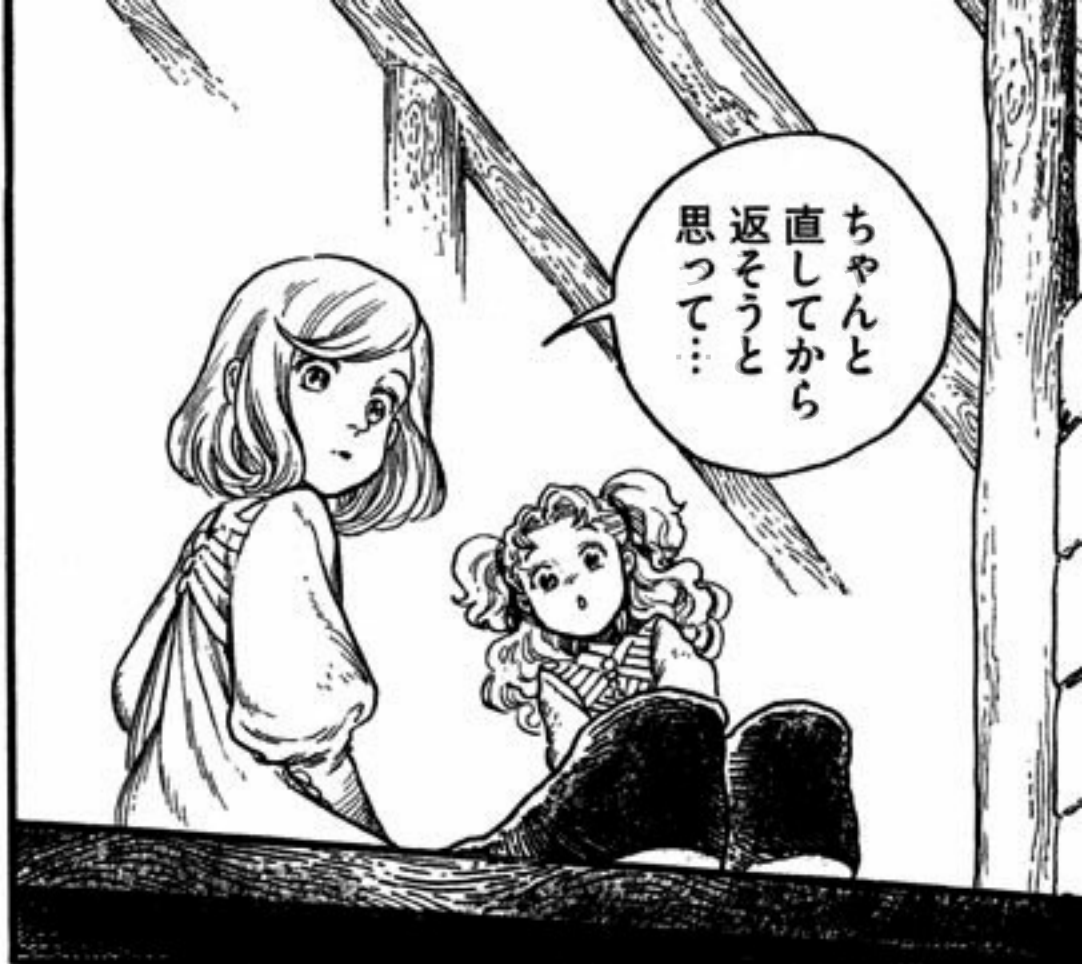
中でも炎の紋は実体のない現象を適度な大ききと正確なバランスで保たなければ危険なため

取り扱いは慎重さが求められる

燃えてる十っ!!



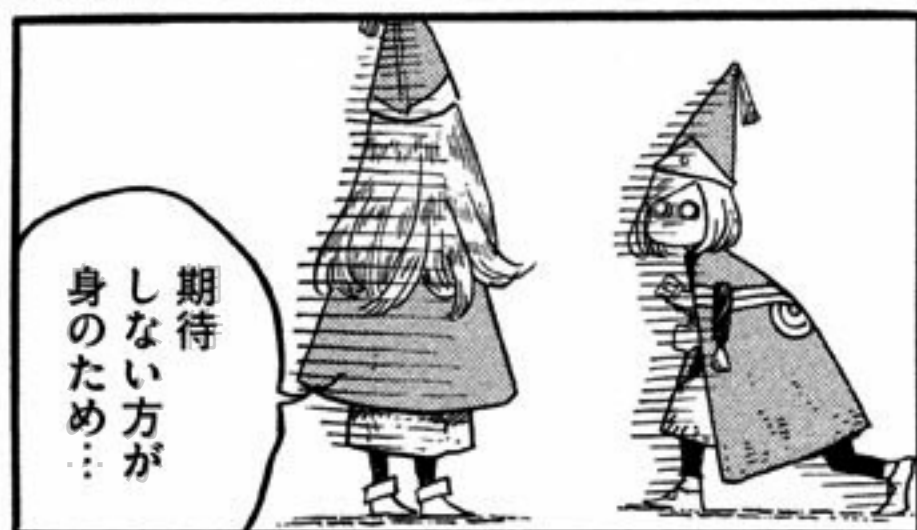


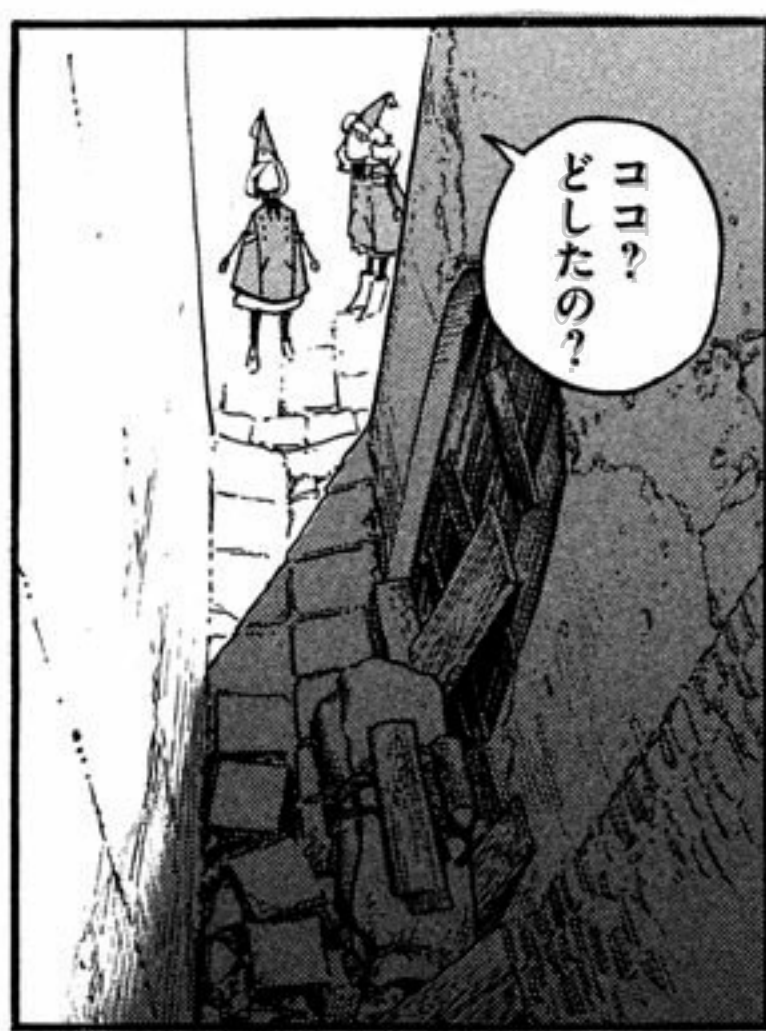
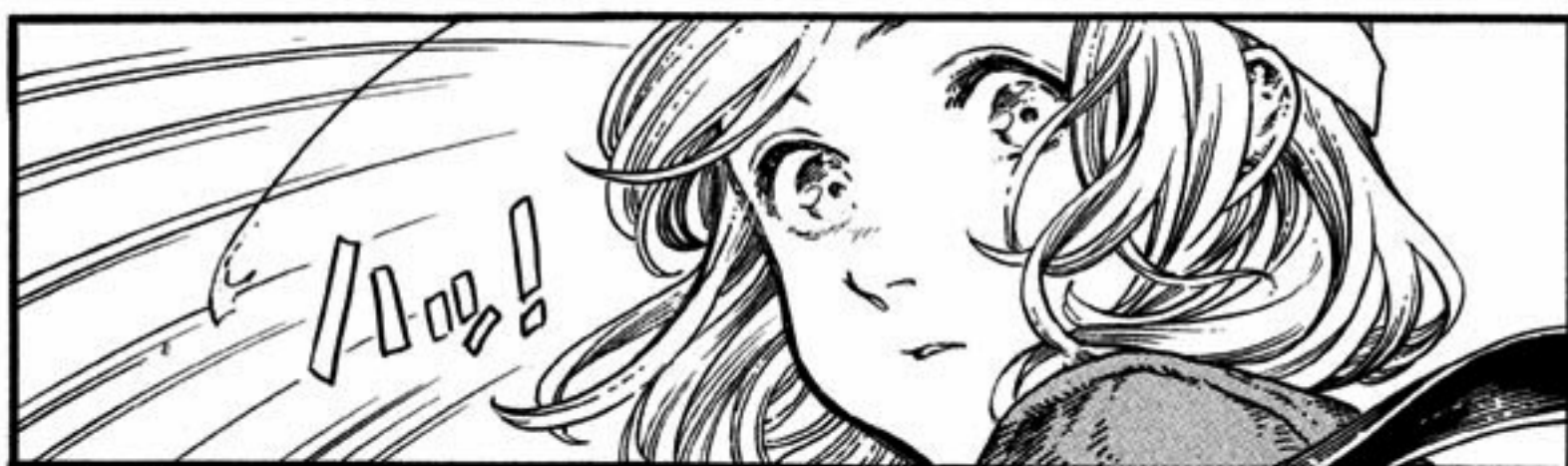










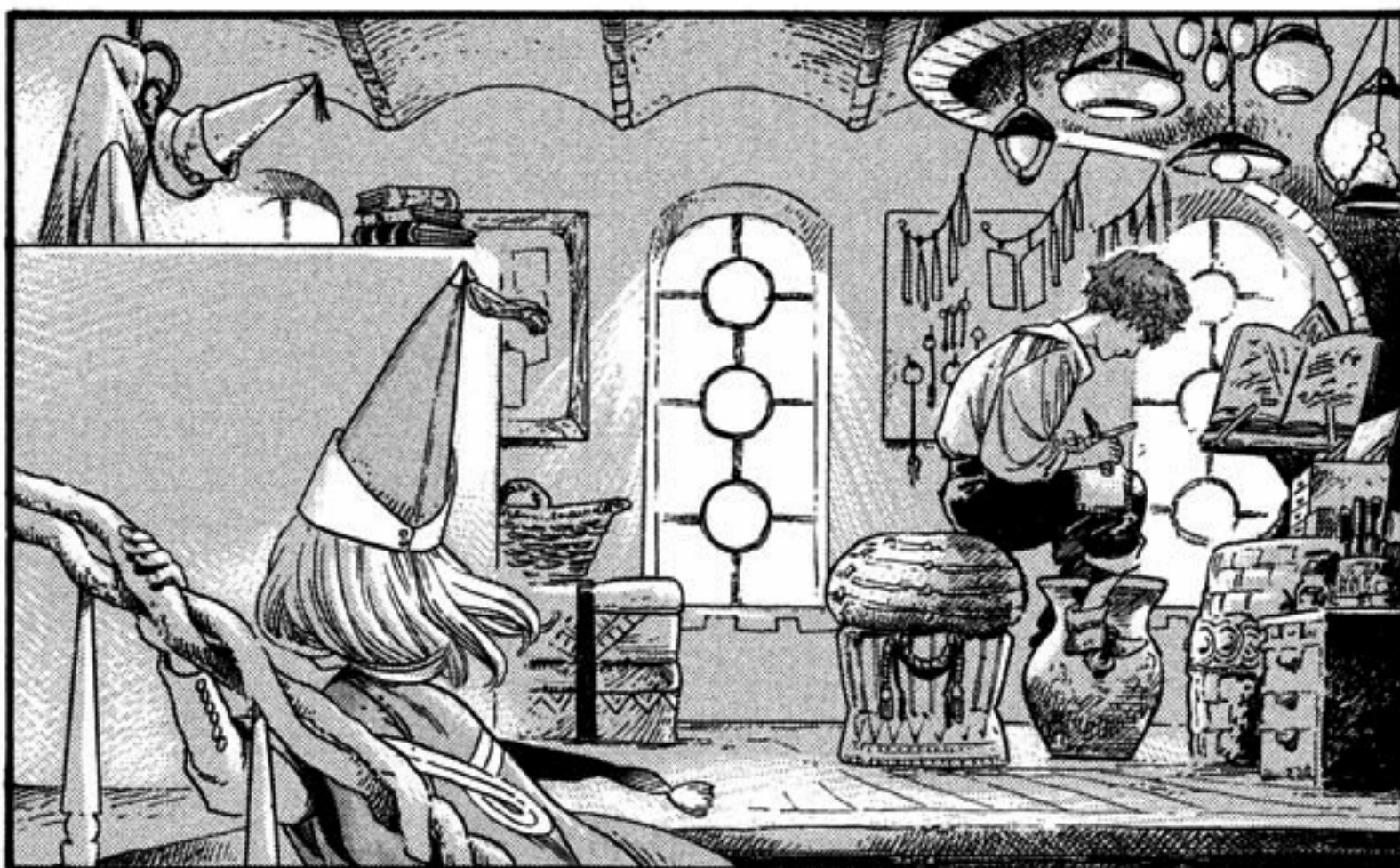








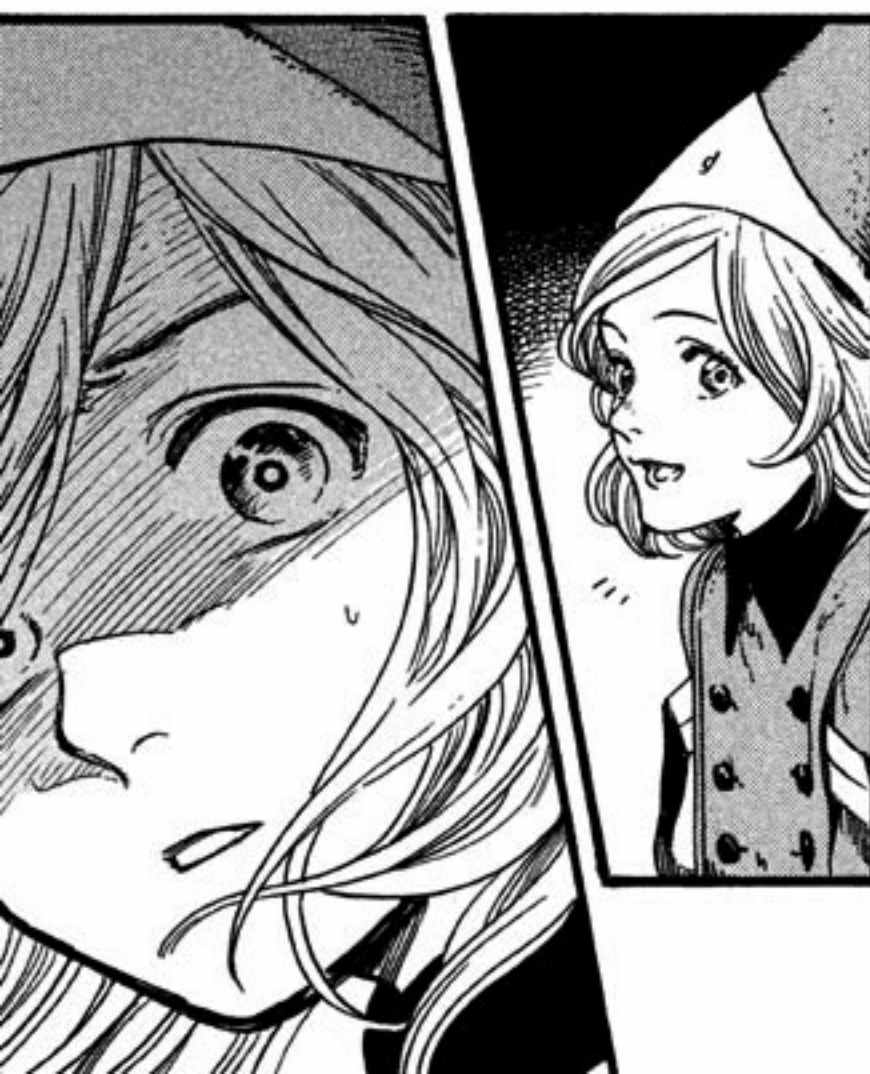
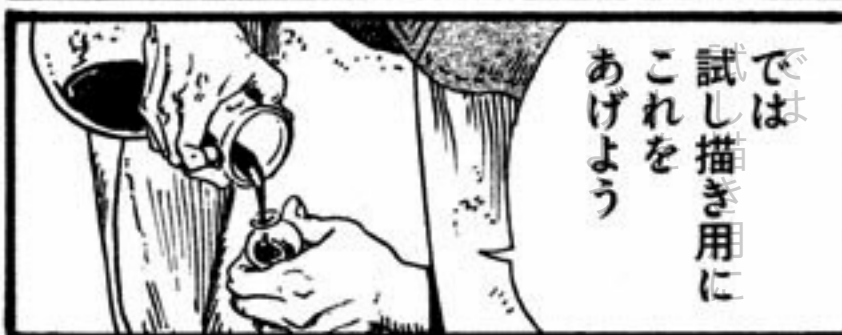


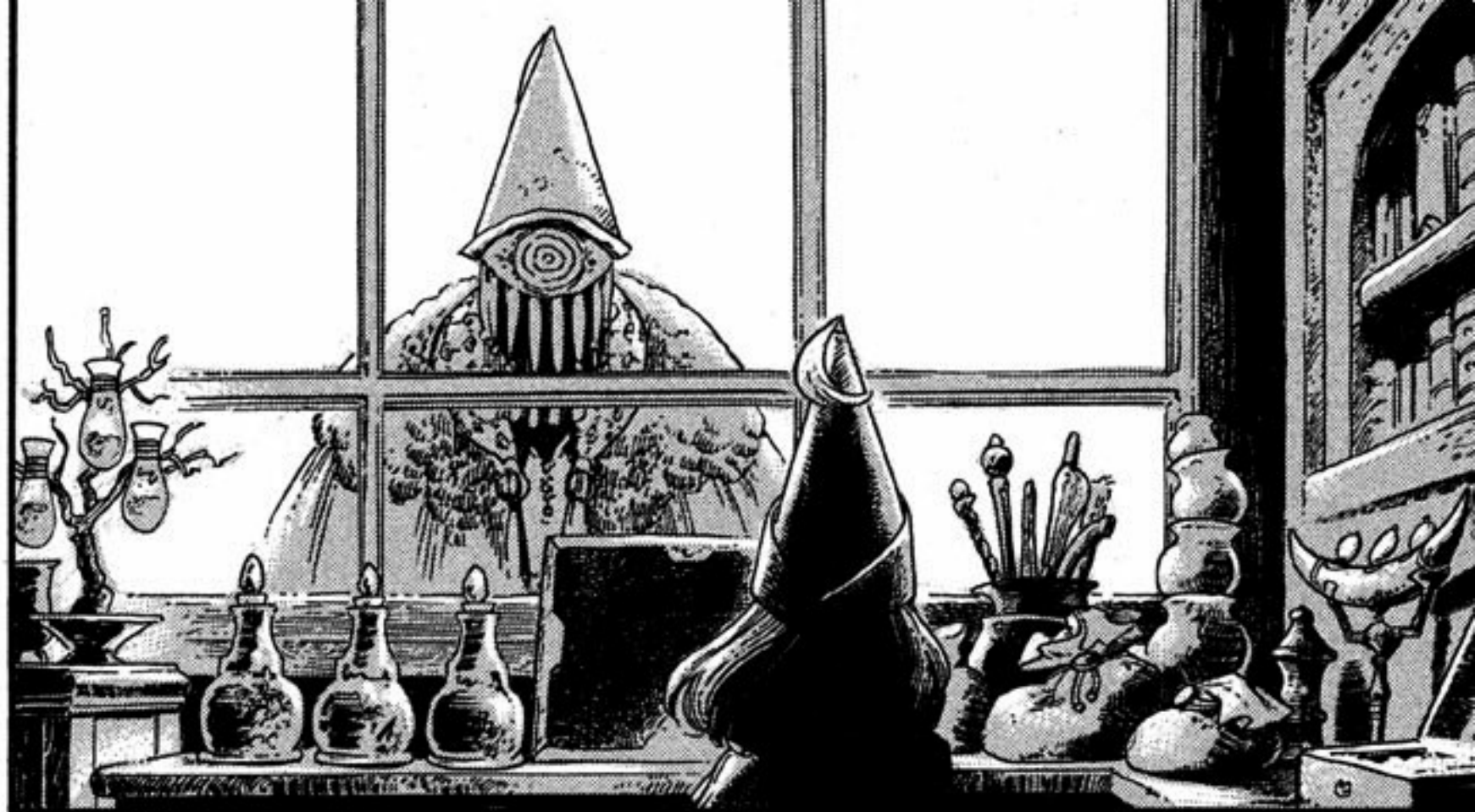




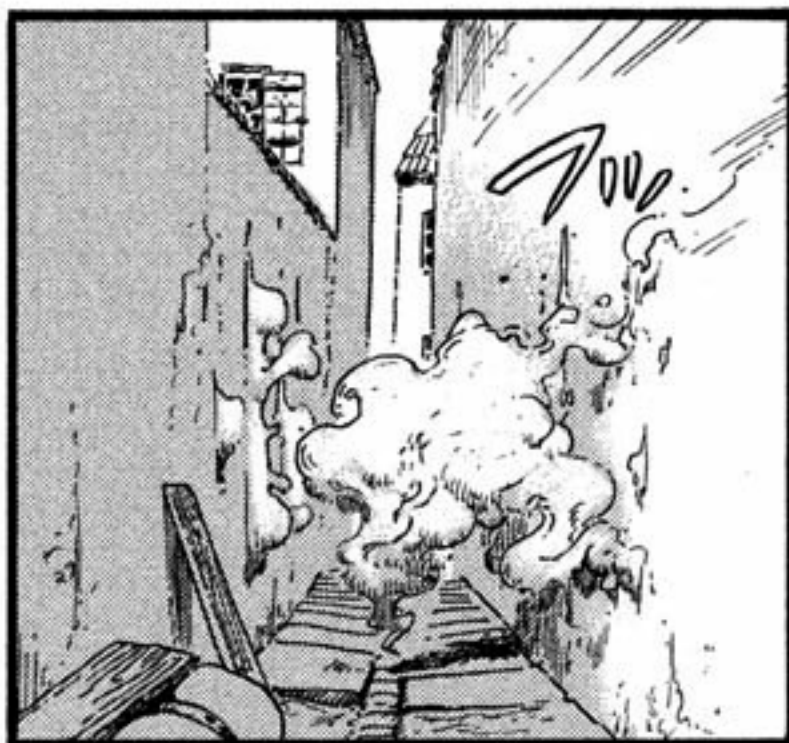
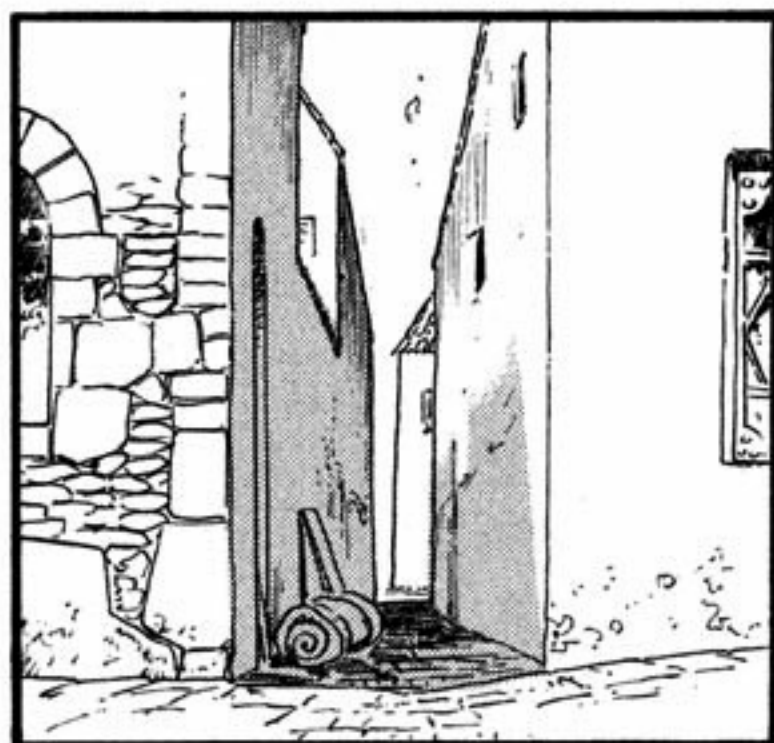


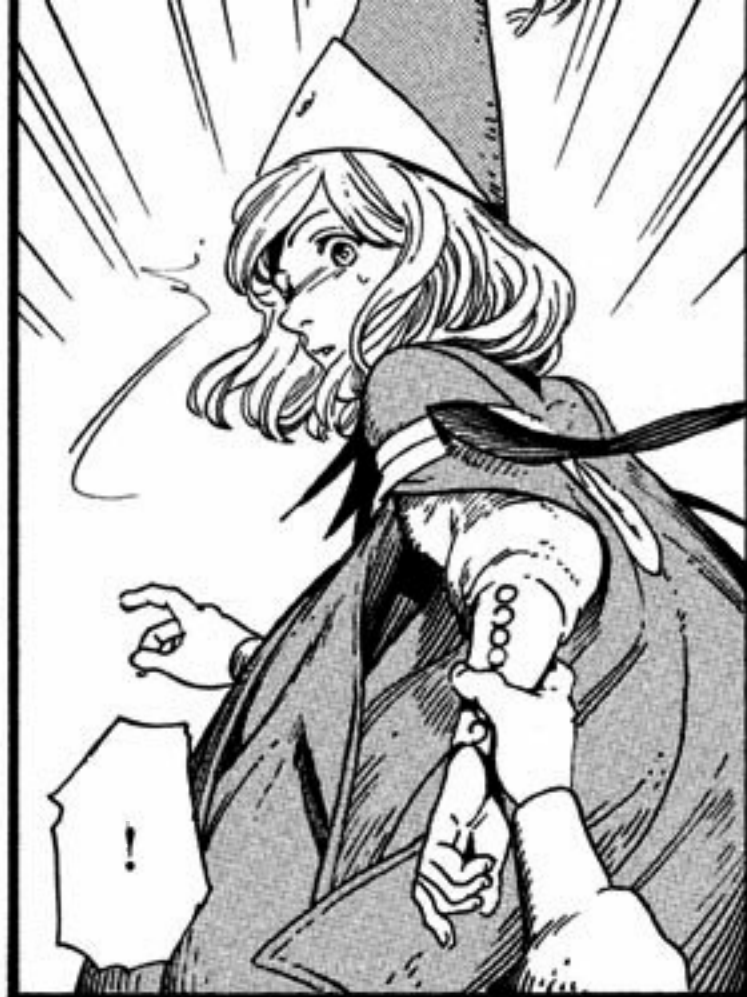










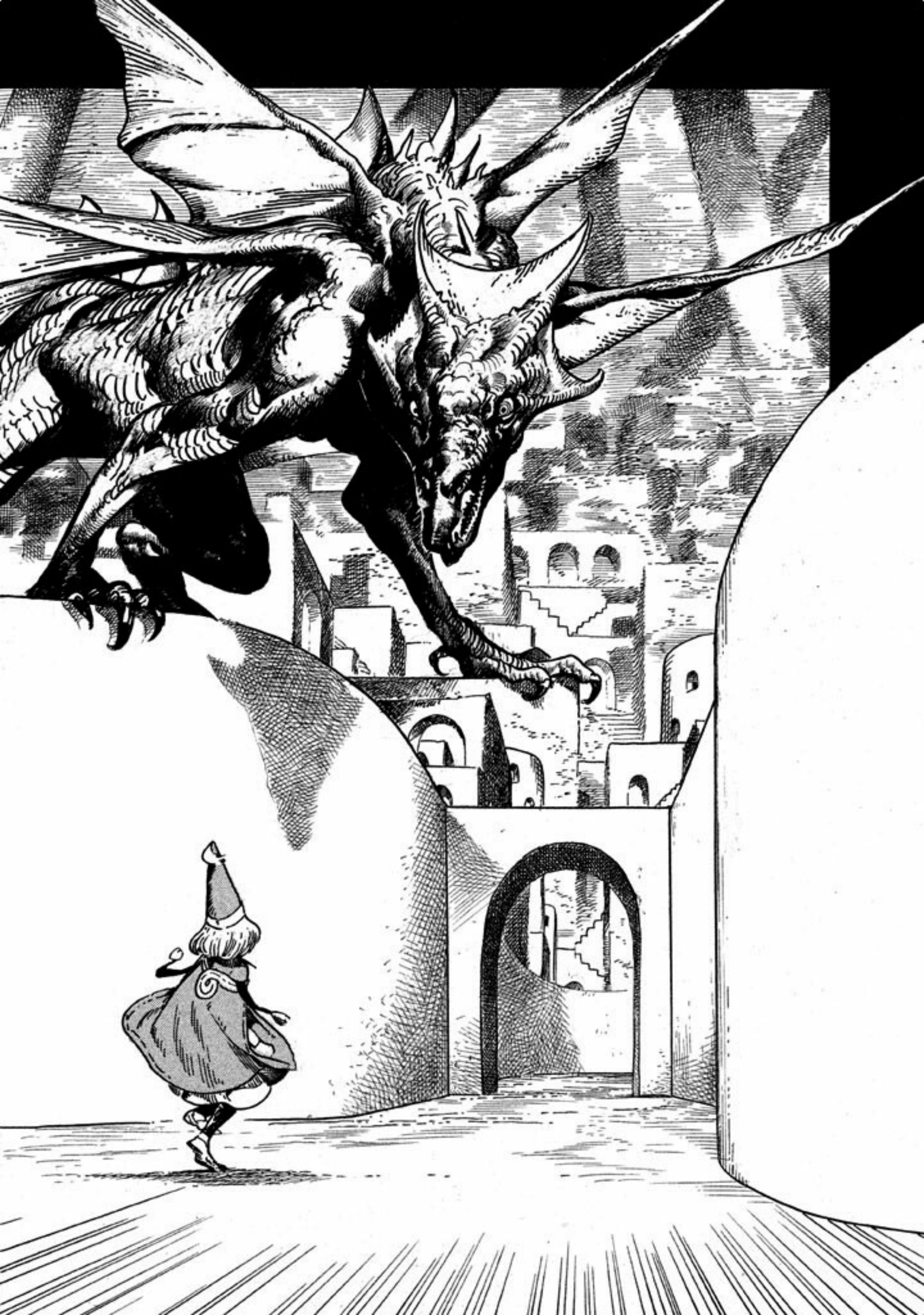


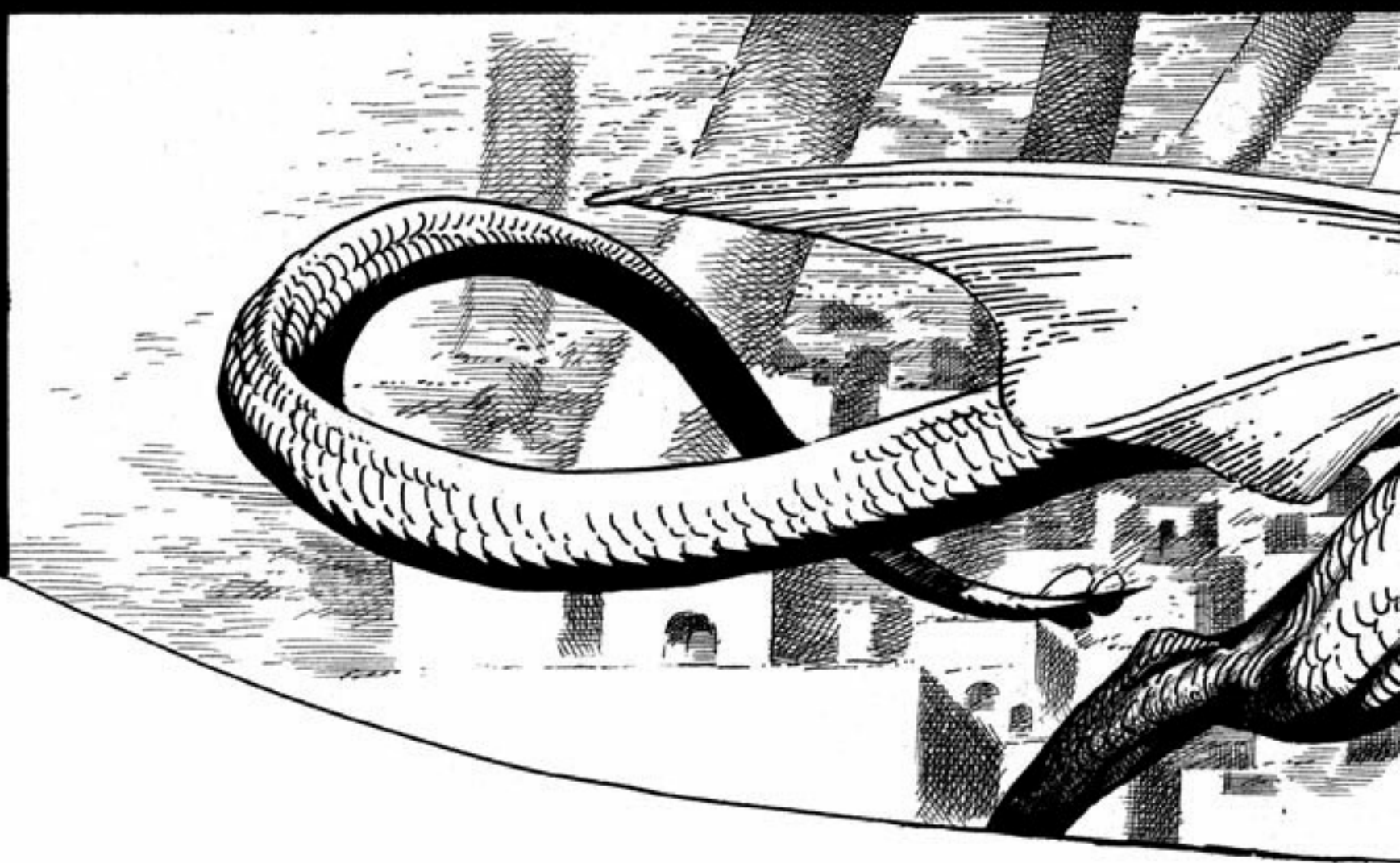














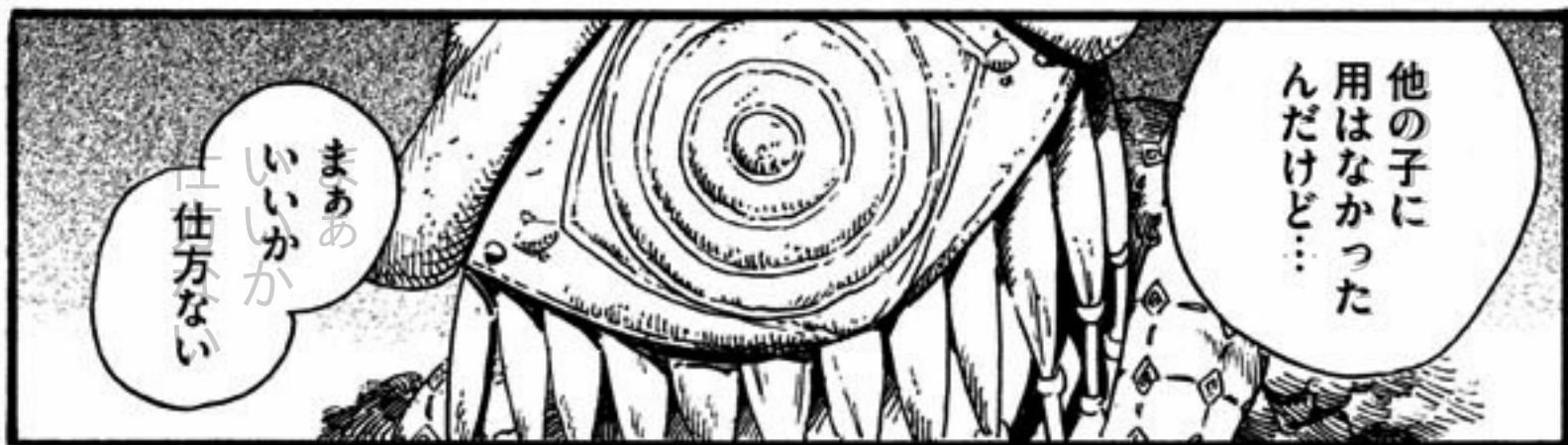


たしか

目玉みたいな
仮面の……

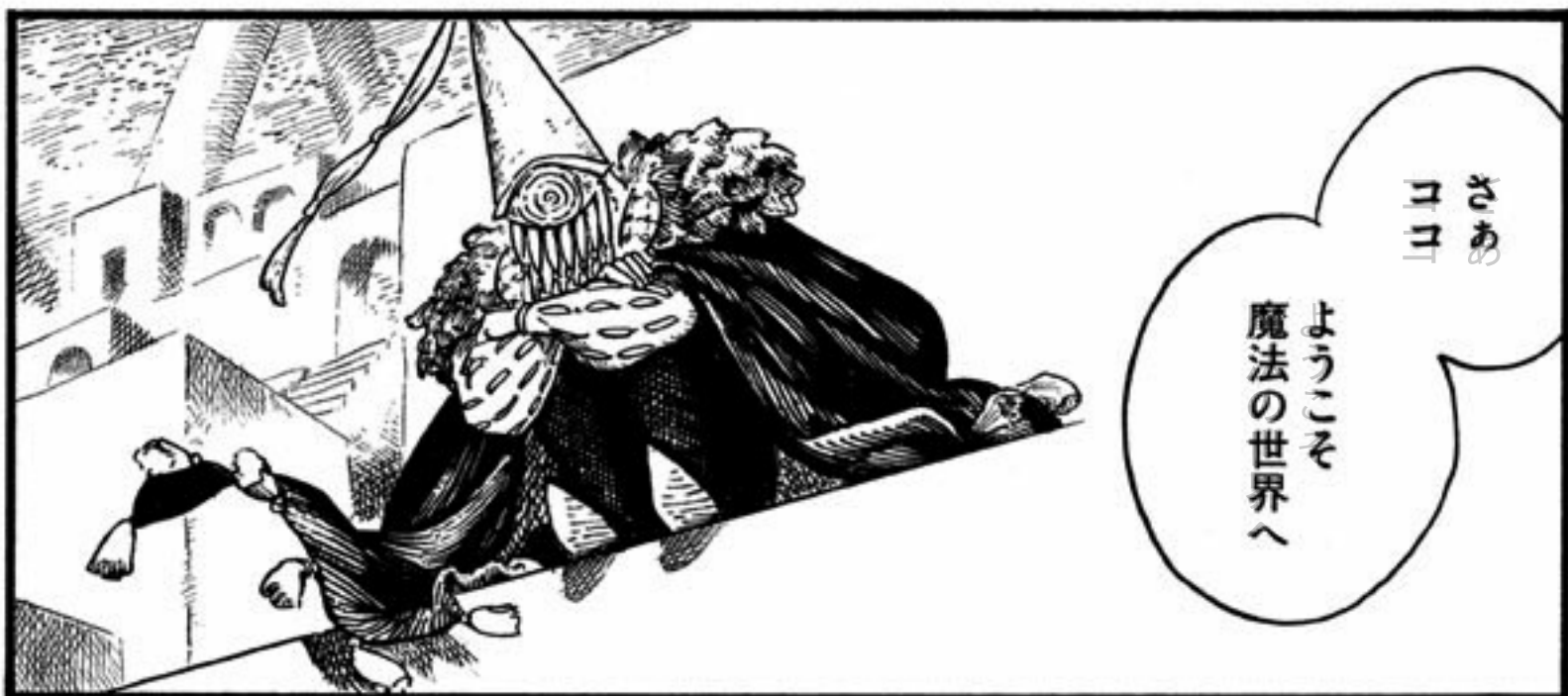


なんか
変なカッコの
魔法使いを
追いかけて
行っただけ



他の子に
用はなかった
んだけど……

まあ
いいか
仕方ない



さあ
ココ

ようこそ
魔法の世界へ



きみは

私たちの
希望だ

魔法陣入門

魔法陣のルールをまとめました。
わからなくなったらこのページを読んでみてください。

魔法陣を構成する3つの要素



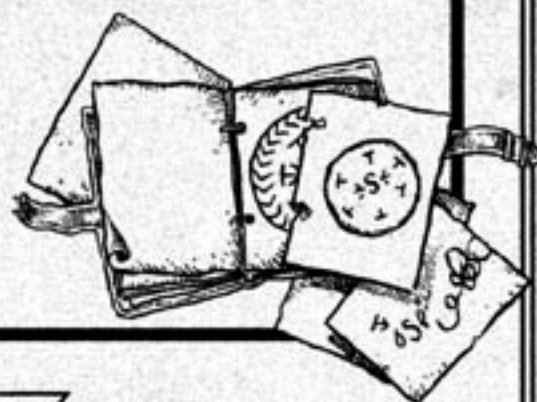
中央に描かれる。
紋の種類で魔法の
効果が決まる。



紋の周りに描かれる。
魔法が現れる形、
大きさ、方向を決める。



紋と矢を囲う円。
陣を閉じると
魔法が発動する。



具体的な魔法陣例

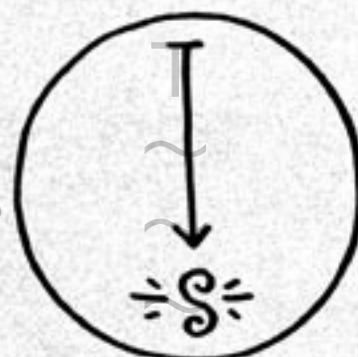


飛靴の裏の魔法陣

左右の靴裏を合わせると、
安定した状態で空を飛ぶことができる。

ダダ山脈で使った魔法陣

紋が中央からずれていて
一本の矢が長く描かれているので、
瞬間的に強い魔法を発動した。



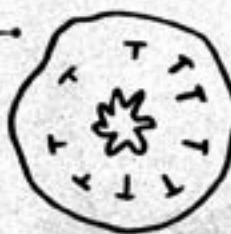
ココがアトリエで描いた魔法陣

一本だけ矢が長かったため、
アガットを水浸しにしまった。
ちなみに、キーフリーは
水の魔法が得意で、
「水の花」を作ったりもできる。



ココがはじめて描いた魔法陣

小さく明滅する光が発現した。
禁止魔法の書から
描き写したため、
本来の効果は謎。



雪とんがり帽子の世界

ココたちが住んでいる世界のことを、少しだけご紹介します。



ココのいた村

山のふもとにある、田舎の小さな村。魔法を利用した道具も多少はあるが、都会ほどではない。ココの家は住立屋を営んでおり、ココは幼少期から家業を手伝っていた。



キーフリーのアトリエ

ココの村から少し離れたところに、ポツンと建っている。大講堂に居を構える魔法使いも多いが、キーフリーはなぜか田舎に住んでいる。



大講堂

力のある魔法使いたちが集う魔法機関。海の底に建てられているので、たどり着くためには海上にある入り口から階段を降りて深く潜る必要がある。



ダダ山脈

魔法使いの弟子になるための試験が行われる場所。大昔に描かれた魔法で、山々が空中に浮いている。試験合格に必要な王冠草は、ここにしか生えていない。



カルン

キーフリーのアトリエからアクセスしやすい、魔法使いの街。小島の上にある、魔法の道具を作る職人など、魔法に従事する人間だけが住んでいる。



スレやすい、家庭の上には

いここにしかもない。

魔法使いに 選ばれし者

だけなのかな？

？



異常事態に不安と苛立ちを募らせるテティアとアガット。

そんな彼女たちを目の当たりにし、

巻き添えにしてしまった罪悪感で苦しむココ。

「『知らざる者』の自分が魔法使いになろうだなんて、

間違ってたのかな……？」

追い詰められた状況で、四人のとんがり帽子たちが出した答え——。

月額
500円^で

毎週モーニングが
読める!

読める

週刊

「ウェブでもアプリでも! 電子で読むモーニング。」

DE-NOVA

Dモーニングとは…

漫画雑誌「モーニング」が

丸ごと読める電子版。

2018年11月20日に開けて電子版。

毎週木曜0時に最新号を自動配信、

有料会員登録後の号は

すべてバックナンバーに保存されるなど

電子ならではの利点がたくさん!



スマホ

でも



タブ
レット

でも



PC

でも

あなたのお好きな端末で

毎週「モーニング」をお楽しみください!!

※一部、紙のモーニングとは内容が異なります。

今すぐ **Dモーニング**  で検索!

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

とんがり帽子のアトリエ (1)

2017年1月1日発行(01)

著 者 白浜 鷗

©KAMOME SHIRAHAMA 2017

発行者 清水保雅

発行所 株式会社 講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21